

MD801BC(1D)／MD802BC(2D)

ユーザーマニュアル

User Manual



3.3.3

2023年5月

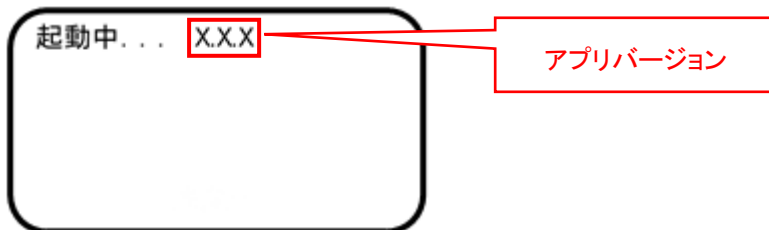
21503202

本書は以下のアプリバージョン以降を対象とします

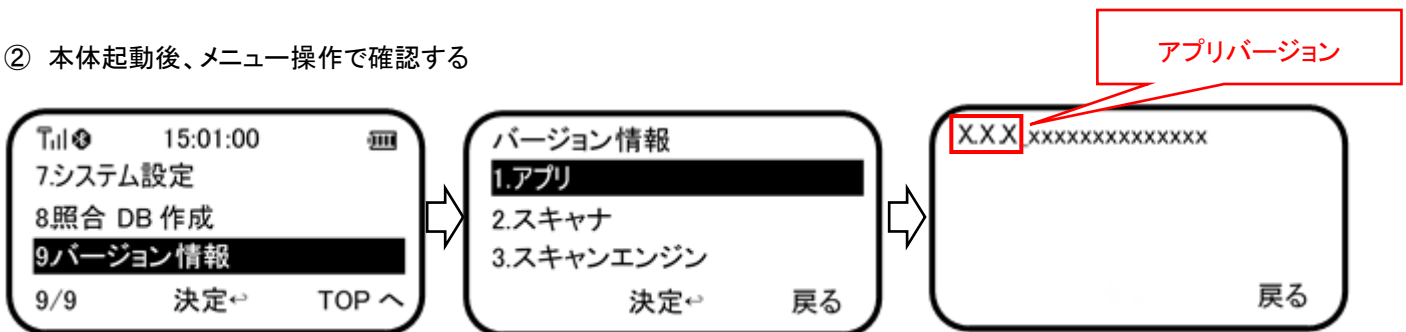
3.3.3

お使いのアプリバージョンは次のいずれかの方法で確認できます

- ① 本体起動中に表示される画面で確認する



- ② 本体起動後、メニュー操作で確認する



目 次

1	本体各部説明	8
2	使用を開始する	9
2.1	本体の電源 ON/OFF	9
2.2	本体バッテリーの充電	11
(1)	電源の入った PC に接続して充電	11
(2)	充電コネクタに接続して充電	11
2.3	スリープモードに入る／解除する	11
2.4	Bluetooth の ON/OFF	12
2.5	本体バッテリーの取り外し	13
3	画面説明	14
3.1	アイコン	14
3.2	メニュー構成	16
4	メニュー項目	22
5	コレクトモード	31
5.1	読み取りの操作	31
(1)	コレクトモードを開始する	31
(2)	画面説明	32
(3)	キー操作説明	33
5.2	読み取りデータを手入力する	34
5.3	コレクトモード設定	36
5.3.1	コレクトモード設定を開始する	36
5.3.2	リピート保存・個数付加の設定を行う	37
(1)	設定方法	37
(2)	画面説明	38
(3)	キー操作説明	39
(4)	保存回数あるいは個数設定を【↑】／【↓】キーで行う	40
(5)	リピート保存回数を手入力で行う	42
(6)	付加する個数を手入力で行う	44
5.3.3	照合DB参照の設定を行う	46
(1)	設定方法	46
(2)	画面説明	48
5.3.4	二重読み取り禁止の設定を行う	49
(1)	設定方法	49
(2)	画面説明	50
(3)	二重読み取り判定用データの消去	51
5.4	保存データ参照	52
5.4.1	保存データ一覧を表示する	52
5.4.2	データの全体を表示する	53
(1)	操作	53
(2)	画面説明	54
(3)	キー操作説明	54

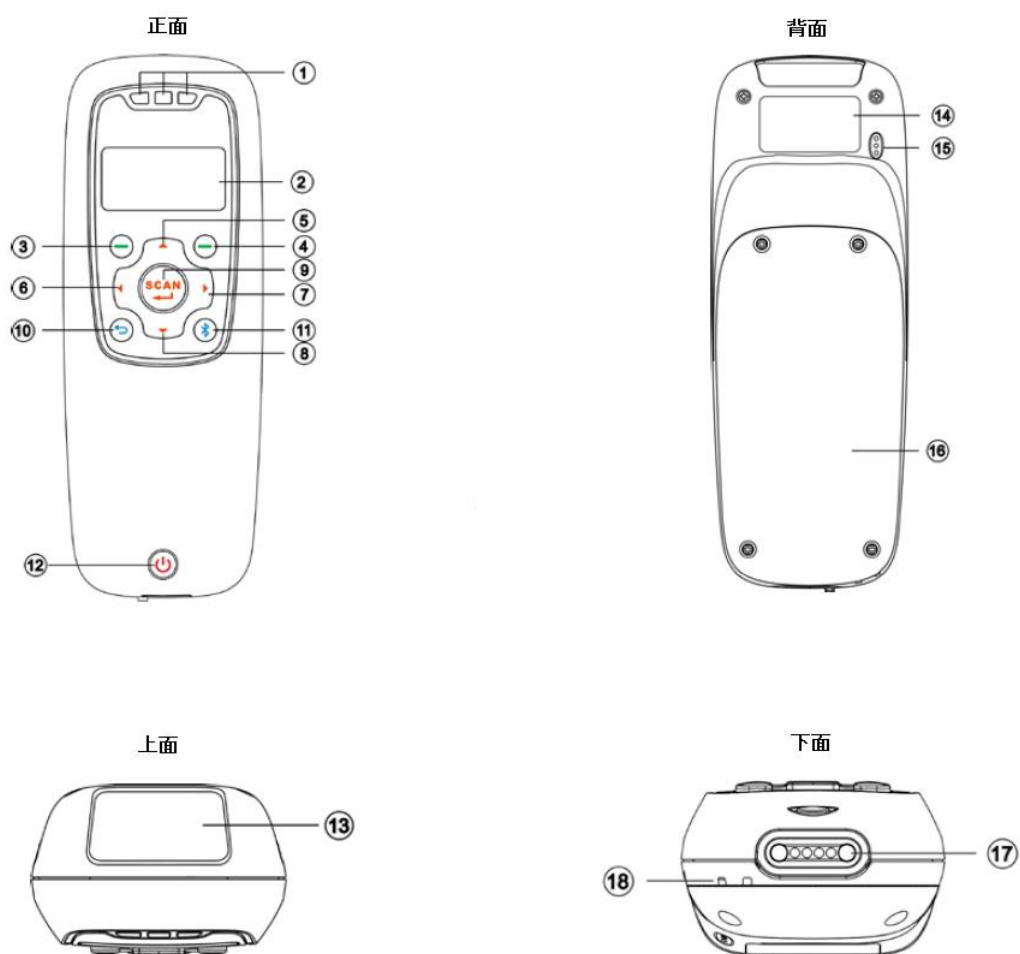
(4) 各種付加データの記録順について	56
6 照合モード	57
6.1 照合モード設定	58
6.1.1 照合モード設定を開始する	58
6.1.2 照合方法(1対1／1対N／DB／ピックアップ)を選択する	60
6.1.3 照合カラム(照合範囲)を設定する	64
(1) 照合カラム(照合範囲)設定を開始する	64
(2) 「開始桁指定」を行う	65
(3) 「開始桁」を指定する	66
(4) 「照合桁数」を指定する	67
(5) 初期状態に戻す	68
6.2 1対1照合の操作	69
(1) 照合モードを開始する	69
(2) 画面説明	70
(3) キー操作説明	72
6.3 1対N照合の操作	74
(1) 照合モードを開始する	74
(2) 画面説明	75
(3) キー操作説明	77
6.4 DB照合の操作	79
(1) 照合モードを開始する	79
(2) 画面説明	80
(3) キー操作説明	82
6.5 ピックアップ照合の操作	83
(1) 照合モードを開始する	83
(2) 画面説明	85
(3) キー操作説明	87
(4) ピックアップ照合の終了	88
6.6 保存データ参照	90
6.6.1 保存データ一覧を表示する	90
6.6.2 データの全体を表示する	91
7 送信設定	92
7.1 送信設定を開始する	94
7.2 データ送信先	95
7.3 データ送信方法	96
7.3.1 HID モード	97
・送信方法を設定する(HID)	97
・送信オプションの設定(HID)	98
(1) キーボードレイアウト	98
(2) 接続名変更	99
(3) 送信失敗データ保存	101
(5) 送信遅延(文字間)	102

(6)	送信遅延(コード間).....	104
7.3.2	SPP モード.....	106
•	送信方法を設定する(SPP).....	106
•	送信オプションの設定(SPP).....	107
(1)	接続名変更.....	107
(2)	送信失敗データ保存.....	109
(3)	送信遅延(コード間).....	110
7.3.3	専用ドングルモード.....	112
(1)	送信方法を専用ドングルに設定する.....	112
(2)	専用ドングルに手動で接続する.....	114
(3)	接続種別を変更(HID→SPP)する.....	115
(4)	接続種別を変更(SPP→HID)する.....	116
7.3.4	専用ドングル(HID)の送信オプション設定.....	117
(1)	送信オプション設定を開始する.....	117
(2)	キーボードレイアウト.....	118
(3)	通信ポートの速度.....	119
(4)	ALT+テンキー.....	120
(5)	送信失敗データ保存.....	121
(6)	送信遅延(コード間).....	122
7.3.5	専用ドングル(SPP)の送信オプション設定.....	124
(1)	送信オプション設定を開始する.....	124
(2)	送信失敗データ保存.....	125
(3)	送信遅延(コード間).....	126
7.4	送信失敗データ保存.....	128
7.5	自動再接続.....	129
7.6	送信遅延.....	130
(1)	送信遅延メニュー表示.....	130
(2)	送信遅延(文字間).....	131
(3)	送信遅延(コード間).....	133
7.7	末端文字.....	135
8	PC と通信.....	137
9	ファイル操作.....	139
9.1	ファイル操作を開始する.....	139
9.2	初期化.....	140
9.3	保存データ参照.....	141
9.3.1	保存データ一覧を表示する.....	141
9.3.2	データの全体を表示する.....	141
9.4	保存データ送信.....	142
9.4.1	保存データを全て送信する.....	142
9.4.2	送信失敗データのみ送信する.....	145
10	スキャン設定.....	147
10.1	設定項目一覧.....	148

10.2	スキャン設定を開始する	150
10.3	項目毎の設定方法	151
10.3.1	確認送信	151
	・承認操作方法	152
10.3.2	スキャン方法	154
(1)	1D モデルのとき	154
(2)	2D モデルのとき	155
10.3.3	付加データ	156
(1)	日付	156
(2)	時刻	157
(3)	本体番号	158
(4)	バーコードシンボル	160
(5)	バーコードを「”」(ダブルクォート)で囲む	162
(6)	送信結果	163
(7)	DB関連データ	164
10.3.4	区切り文字	165
10.3.5	末端文字	167
10.3.6	コレクトモード設定	169
10.3.7	照合モード設定	170
11	システム設定	171
11.1	設定項目一覧	171
11.2	システム設定を開始する	173
11.3	項目毎の設定方法	174
11.3.1	スリープ設定	174
11.3.2	バックライト点灯時間	176
11.3.3	ビープ音設定	178
11.3.4	パイプ設定	179
11.3.5	文字エンコード	180
11.3.6	時刻・日付設定	182
(1)	時刻を設定する	182
(2)	日付を設定する	184
11.3.7	初期化	187
(1)	初期化メニュー表示	187
(2)	本体を初期化する	188
(3)	Bluetooth を初期化する	189
(4)	専用 dongle を初期化する	190
12	照合DB作成	191
12.1	照合DBの作成方法(追加／新規)を決める	191
12.1.1	照合DBを追加で作成する	191
12.1.2	照合DBを新規に作成する	194
12.2	照合DBにデータを登録する	199
	・ピッキング照合用データの追加について	200

13	バージョン情報	201
----	---------------	-----

1 本体各部説明



番号	名称	番号	名称
①	LED	⑩	【リターン】キー
②	画面	⑪	Bluetooth キー
③	【左上】キー	⑫	電源／スリープキー
④	【右上】キー	⑬	スキャンウィンドウ
⑤	【↑】キー	⑭	ラベル
⑥	【←】キー	⑮	ビーブ
⑦	【→】キー	⑯	バッテリーカバー
⑧	【↓】キー	⑰	USB／充電ポート
⑨	【SCAN】キー	⑱	ネックストラップ取付口

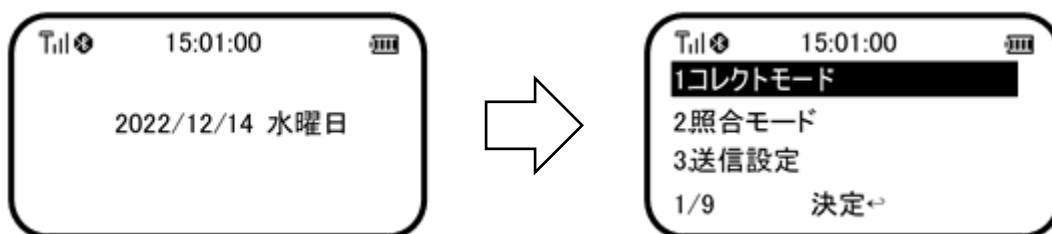
2 使用を開始する

2.1 本体の電源 ON/OFF

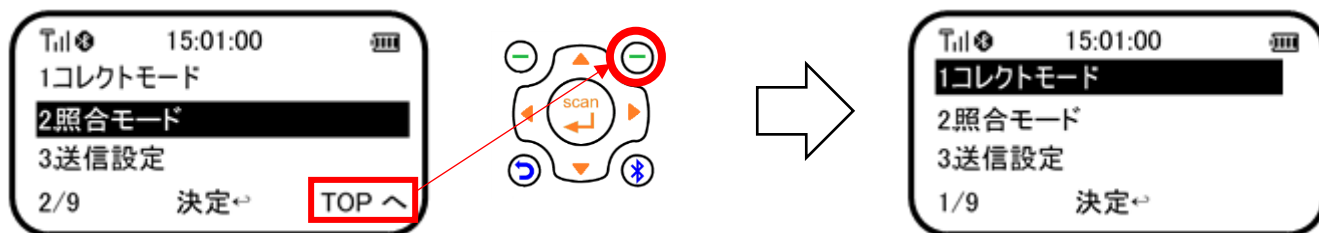
電源キーの長押し(2 秒ほど)で本体の電源 ON/OFF を行います。



電源を ON にすると本体に設定されている日時を表示後、メインメニューを表示します(注)。



メインメニューで「1. コレクトモード」以外の項目を選択しているときは画面右下に「TOP へ」と表示します。
現在選択中の項目がいずれであっても、【右上】(TOP へ)キーを押すと「1. コレクトモード」を選択状態にすることができます。



注: 電源 ON 時に読み取りデータの管理情報あるいはスキャン設定情報が壊れていたときはメインメニュー表示前に次のメッセージを表示します。

1. 読み取りデータの管理情報が壊れているとき

管理情報が壊れています！
「PC と通信」から PC にデータ
保存後、「ファイル操作」より
初期化を行って下さい

戻る

2. スキャン設定情報が壊れているとき

設定情報が壊れています！
「スキャン設定」→「設定の
初期化」より、初期化を行
って下さい

戻る

メッセージが表示されたときは表示内容に従い対応を行ってください。

メッセージが表示された画面で【右上】(戻る)キーを押すとメインメニューを表示します。

なお、これらのメッセージ表示は本体を PC に接続後、MD100Manager の【接続解除】ボタンで接続解除せずに USB ケーブルを抜き取る操作等が原因の場合があります。

※MD100Manager 操作方法等については、MD100Manager のマニュアルを参照してください

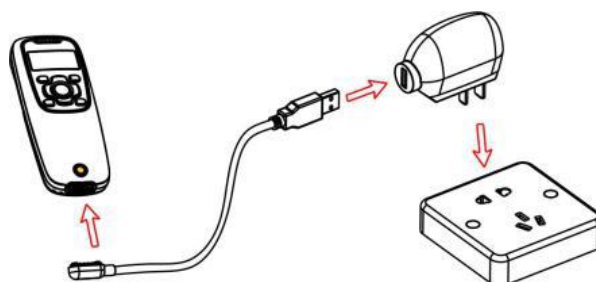
2.2 本体バッテリーの充電


バッテリーの充電を行うには、付属の USB ケーブルを使用し次のいずれかの方法で行うことができます。

(1) 電源の入った PC に接続して充電




(2) 充電コネクタに接続して充電




本体電源が ON の場合、画面の上部に本体が PC に USB 接続されたことを示すアイコン  を表示します。また充電中は本体の充電インジケータ(赤色の LED)が点灯します。充電が完了すると赤色の LED は消灯します(4 時間ほどでフル充電になります)。

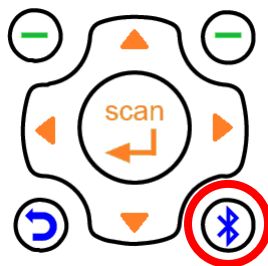


2.3 スリープモードに入る／解除する

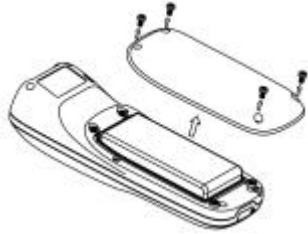

電源 ON のときに電源キー  を 0.5 秒ほど押すとスリープモードに入ります。またスリープ状態のときに電源キーを 0.5 秒ほど押すとスリープを解除します。ただし、スキャン方法が「ハンズフリー」のときはスリープモードを使えません。

2.4 Bluetooth の ON/OFF

Bluetooth キー  を押すことで Bluetooth の ON/OFF を行えます。



2.5 本体バッテリーの取り外し

項番	説明	図
1.	バッテリーカバーの 4 本のねじを外し、バッテリーカバーを取り外します	
2.	バッテリーパックを持ち上げ本体に接続しているケーブルを抜き、バッテリーパックを取り外します	

3 画面説明

3.1 アイコン

画面に表示するアイコンについて次に示します。

アイコン	説明
	Bluetooth は OFF です
	Bluetooth は ON です
	Bluetooth 接続中です
	バッテリー残量 10%未満です
	バッテリー残量 10%～25%です
	バッテリー残量 25%～50%です
	バッテリー残量 50%～75%です
	バッテリー残量 75%～100%です
	本体が USB ケーブルで PC に接続しています
	データ送信先が「本体のみ」です
	データ送信先が「Bluetooth のみ」です(※送信失敗データ保存が「無効」)
	データ送信先が「Bluetooth のみ」です(※送信失敗データ保存が「有効」)
	データ送信先が「本体と Bluetooth」です
	HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります
	データ送信方法が「HID モード」です
	データ送信方法が「SPP モード」です
	データ送信方法が「専用ドングル HID モード」です
	データ送信方法が「専用ドングル SPP モード」です
	キーボードレイアウトが「日本語版」です
	キーボードレイアウトが「日本語版」です ※「専用ドングル HID モード」で「ALT+テンキー」が「有効」です
	キーボードレイアウトが「英語版」です
	キーボードレイアウトが「英語版」です ※「専用ドングル HID モード」で「ALT+テンキー」が「有効」です
	コレクトモードにおいて、二重読み取り禁止が「有効」です
	コレクトモードにおいて、DB参照が「有効」です
	1対1照合モードです
	1対N照合モードです

アイコン	説明
D	DB照合モードです
P	ピッキング照合モードです
8	コレクトモードあるいは照合モードでバーコードを読み取るときの文字エンコードが「UTF-8」です ※本アイコン非表示のときの文字エンコードは「Shift-JIS」です

3.2 メニュー構成

メニューの構成を次に示します。

※項目名の左に (＊) が記載されている項目は初期値(「設定の初期化」で設定する値)です

1.コレクトモード	【→】キー ※コレクトモード設定	1.リピート保存・個数付加	1.無効(*) 2.リピート保存 3.個数付加	
		2.照合DB参照	1.無効(*) 2.有効	
		3.二重読み取り禁止	1.無効(*) 2.有効	
	【←】キー ※保存データ参照			
2.照合モード	【→】キー ※照合モード設定	1.照合方法	1.1 対 1 照合(*) 2.1 対 N 照合 3.DB 照合 4.ピッキング照合	
		2.照合カラム設定	1.照合元	開始桁指定(*コード左から) 開始桁(*1) 照合桁数(*0)
			2.照合先	開始桁指定(*コード左から) 開始桁(*1) 照合桁数(*0)
	【←】キー ※保存データ参照			
3.通信設定	1.データ送信先	1.本体のみ(*) 2.Bluetooth のみ 3.本体と Bluetooth		

2.データ送信方法	1.HID(*) ※【左上】(設定)キー	1.キーボードレイアウト	1.日本語版
			2.英語版
		2.接続名変更	
		3.送信失敗データ保存	1.無効(*)
			2.有効
		4.送信遅延	1.文字間
			1.0ms(*)
			2.8ms
			3.16ms
			4.カスタム
			2.コード間
			1.0ms(*)
		2.100ms	
		3.300ms	
		4.カスタム	
	2.SPP ※【左上】(設定)キー	1.接続名変更	
		2.送信失敗データ保存	1.無効(*)
			2.有効
		3.送信遅延(コード間)	1.0ms(*)
			2.100ms
		3.300ms	
	4.カスタム		
3.専用 dongle ※【左上】(設定)キー	1.HID	1.キーボードレイアウト	1.日本版
			2.英語版
		2.通信ポートの速度	1.高速
			2.中速
			3.低速
		3.ALT+テンキー	1.無効(*)
			2.有効
		4.送信失敗データ保存	1.無効(*)
			2.有効

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3.付加データ	1.日付	1.無効(*) 2.有効
	2.時刻	1.無効(*) 2.有効
	3.本体番号	1.無効(*) 2.有効 ※本体番号入力画面表示
	4.バーコードシンボル	1.無効(*) 2.有効
	5.バーコードを「」で囲む	1.無効(*) 2.有効
	6.送信結果	1. 有効 (*) 2. 無効
	7.DB関連データ	1.無効(*) 2.有効
4.区切り文字	1.カンマ(*) 2.タブ 3.なし	
5.末端文字	1.改行 2.タブ 3.空白 4.なし	
6.コレクトモード設定	1.リピート保存・個数付加	1.無効(*) 2.リピート保存 3.個数付加
	2.照合DB参照	1.無効(*) 2.有効
	3.二重読み取り禁止	1.無効(*) 2.有効

7.照合モード設定	1.照合方法	1.1 対 1 照合(*)
		2.1 対 N 照合
		3.DB 照合
		4.ピッキング照合
	2.照合カラム設定	1.照合元
		開始桁指定(*コード左から)
		開始桁(*1)
		照合桁数(*0)
	2.照合先	開始桁指定(*コード左から)
		開始桁(*1)
		照合桁数(*0)
7.システム設定	1.スリープ設定	1.1 分
		2.5 分(*)
		3.10 分
		4.なし
	2.バックライト点灯時間	1.10 秒
		2.30 秒(*)
		3.60 秒
		4.常時点灯
	3.ビープ音設定	1.大
		2.中(*)
		3.小
		4.なし
	4.パイプ設定	1.有効(*)
		2.無効
	5.文字エンコード	1.Shift-JIS(*)
		2.UTF-8
	6.時刻・日付設定	設定(左上キー)
		1.時刻
		2.日付
	7.初期化	1.本体
		2.Bluetooth
		3.専用 dongle

8.照合DB作成	1.既存照合 DB に追加
	2.照合 DB を新規作成
9.バージョン情報	1.アプリ
	2.スキャナ
	3.スキャンエンジン

4 メニュー項目

項番	大項目	中項目	説明
1.	コレクトモード	—	読み取ったバーコードデータの本体保存や、Bluetooth 経由で送信を行うことができます ※操作方法については「 <u>5 コレクトモード</u> 」を参照してください
2.	照合モード	—	読み取ったバーコードデータの照合結果の本体保存や、Bluetooth 経由で送信を行うことができます 照合方法には次のものがあります (1) 1 対 1 照合 (2) 1 対 N 照合 (3) DB 照合 (4) ピッキング照合 ※操作方法については「 <u>6 照合モード</u> 」を参照してください
3.	送信設定	データ送信先	次のいずれかでデータ送信先を設定します (1) 本体のみ (2) Bluetooth のみ (3) 本体と Bluetooth ※操作方法については「 <u>7.2 データ送信先</u> 」を参照してください
4.		データ送信方法	次のいずれかでデータ送信方法を設定します (1) HID (2) SPP (3) 専用 dongle (HID) (4) 専用 dongle (SPP) ※操作方法については「 <u>7.3 データ送信方法</u> 」を参照してください

項番	大項目	中項目	説明
5.		送信失敗データ保存	送信失敗データを本体に保存するかどうか(無効/有効)を設定します ※操作方法については「 7.4 送信失敗データ保存 」を参照してください
6.		自動再接続	Bluetooth の自動再接続を行うかどうか(有効/無効)を設定します ※操作方法については「 7.5 自動再接続 」を参照してください
7.		送信遅延	送信遅延の時間を指定します 送信遅延項目には次のものがあります (1) 文字間 (2) コード間 ※操作方法については「 7.6 送信遅延 」を参照してください
8.		末端文字	Bluetooth 送信時に付加する末端文字を設定します 設定可能な末端文字には次のものがあります (1) 改行 (2) タブ (3) 空白 (4) なし(※何も付加しない) ※操作方法については「 7.7 末端文字 」を参照してください

項番	大項目	中項目	説明
9.	PC と通信	—	<p>USB ケーブルで本体を PC に接続し事前にインストールした添付 CD 付属の MD100Manager 経由で PC と通信を行います</p> <p>ここで通信する項目は次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 本体に保存したデータを csv ファイルとして PC へ転送 (2) MD100Manager で指定した本体設定内容を本体に転送 (3) PC 側で準備した csv ファイルの内容を照合DBおよびピックアップ照合用データとして本体に転送 (4) 本体に格納している照合DBの内容を PC 側で参照 <p>※操作方法については「<u>8 PC と通信</u>」を参照してください</p>
10.	ファイル操作	—	<p>本体に保存しているデータ(ファイル)に対し操作することができます</p> <p>ここで操作する項目は次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 初期化 (2) 保存データ参照 (3) 保存データ送信(※保存データを Bluetooth 経由で送信) <p>※操作方法については「<u>9 ファイル操作</u>」を参照してください</p>
11.	スキャン設定	確認送信	<p>確認送信を行うかどうか(有効／無効)を設定します</p> <p>※操作方法については「<u>10.3.1 確認送信</u>」を参照してください</p>

項番	大項目	中項目	説明
12.		スキャン方法	<p>スキャン方法を設定します 次のスキャン方法を設定することができます</p> <p>(1) トリガー 【SCAN】ボタン押下で照射を開始し、【SCAN】ボタンの押下をやめることで照射を終了する</p> <p>(2) グッドリード 【SCAN】ボタンを押すと一定時間照射する</p> <p>(3) オートスキャン(1D のみ) 連続照射する(【SCAN】ボタンを押す必要なし)</p> <p>(4) ハンズフリー(2D のみ) スキャンウィンドウの前にバーコードをかざすと自動で一定時間照射する(【SCAN】ボタンを押す必要なし)</p> <p>※操作方法については「10.3.2 スキャン方法」を参照してください</p>

項番	大項目	中項目	説明
13.		付加データ	<p>読み取ったバーコードデータに付加する項目を設定します</p> <p>次の項目を付加することができます</p> <p>(1) 日付 送信するバーコードに現在の日付を付加します</p> <p>(2) 時刻 送信するバーコードに現在の時刻を付加します</p> <p>(3) 本体番号 送信するバーコードに本体番号を付加します</p> <p>(4) バーコードシンボル 送信するバーコードにバーコードシンボル(「JAN-13」等)を付加します</p> <p>(5) バーコードを「”」で囲む 送信するバーコードを「”」で囲んで送信します 指定すると改行コードなどを含むデータをスキャンしたときに、送信したバーコードの範囲が明確になります</p> <p>(6) 送信結果 Bluetooth 送信結果を付加します(送信成功時は「O」、送信失敗時は「X」) ※データ送信先が「本体のみ」のときは送信成功を示す「O」を付加します</p> <p>※操作方法については「<u>10.3.3 付加データ</u>」を参照してください</p>

項番	大項目	中項目	説明
14.		区切り文字	<p>読み取ったバーコードデータと付加データとの区切り文字を設定します</p> <p>次の区切り文字を設定することができます</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) カンマ (2) タブ (3) なし(※区切り文字を使用しない) <p>※操作方法については「<u>10.3.4 区切り文字</u>」を参照してください</p>
15.		末端文字	<p>Bluetooth 送信時に送信データの末端に付加する文字を設定します</p> <p>次の末端文字を設定することができます</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 改行 (2) タブ (3) 空白 (4) なし(※末端文字を付加しない) <p>※操作方法については「<u>10.3.5 末端文字</u>」を参照してください</p>
16.		コレクトモード設定	<p>コレクトモードの設定を行います</p> <p>次の項目を設定することができます</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) リピート保存・個数付加 (2) 照合DB参照 (3) 二重読み取り禁止 <p>※操作方法については「<u>10.3.6 コレクトモード設定</u>」を参照してください</p>
17.		照合モード設定	<p>照合モードの設定を行います</p> <p>次の項目を設定することができます</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 照合方法 (2) 照合カラム設定 <p>※操作方法については「<u>10.3.7 照合モード設定</u>」を参照してください</p>

項番	大項目	中項目	説明
18.	システム設定	スリープ設定	<p>スリープまでの時間を次の中から設定します</p> <p>(1) 1 分 (2) 5 分 (3) 10 分 (4) なし(※スリープしません)</p> <p>※操作方法については「<u>11.3.1 スリープ設定</u>」を参照してください</p>
19.		バックライト点灯時間	<p>バックライト点灯の時間を次の中から設定します</p> <p>無操作状態が設定時間を超えるとバックライトを消灯します</p> <p>(1) 10 秒 (2) 30 秒 (3) 60 秒 (4) 常時点灯(※消灯しません)</p> <p>※操作方法については「<u>11.3.2 バックライト点灯時間</u>」を参照してください</p>
20.		ビープ音設定	<p>ビープ音の設定を行います</p> <p>次の項目を設定することができます</p> <p>(1) 大 (2) 中 (3) 小 (4) なし(※ビープ音なし)</p> <p>※操作方法については「<u>11.3.3 ビープ音設定</u>」を参照してください</p>
21.		バイブ設定	<p>バイブの「有効」/「無効」を設定します</p> <p>※操作方法については「<u>11.3.4 バイブ設定</u>」を参照してください</p>

項番	大項目	中項目	説明
22.		文字エンコード	<p>スキャンするデータの文字エンコードを指定します</p> <p>設定できる文字エンコードは次のものがあります</p> <p>(1) Shift-JIS</p> <p>(2) UTF-8</p> <p>※操作方法については「<u>11.3.5 文字エンコード</u>」を参照してください</p>
23.		時刻・日付設定	<p>本体の時刻や日付の設定を行います</p> <p>※操作方法については「<u>11.3.6 時刻・日付設定</u>」を参照してください</p>
24.		初期化	<p>次の項目の初期化を行うことができます</p> <p>(1) 本体</p> <p>初期化後の内容は「<u>3.2 メニュー構成</u>」に記載している初期値を参照してください</p> <p>(2) Bluetooth</p> <p>初期化後の Bluetooth の内容を以下に変更します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ転送方法: HID ・接続名: mdbc <p>(3) 専用 dongle</p> <p>初期化後の専用 dongle の内容を以下に変更します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ転送方法: 専用 dongle (HID) ・キーボードレイアウト: 日本語版 ・通信ポートの速度: 高速 <p>※操作方法については「<u>11.3.7 初期化</u>」を参照してください</p>

項番	大項目	中項目	説明
25.	照合DB作成	—	<p>次の方法で本体に照合DBを作成することができます</p> <p>(1) 既存照合DBに追加</p> <p>(2) 照合DBを新規作成</p> <p>※操作方法については「<u>12 照合DB作成</u>」を参照してください</p>
26.	バージョン情報	—	<p>次に関するバージョンを調べることができます</p> <p>(1) アプリ</p> <p>(2) スキャナ</p> <p>(3) スキャンエンジン</p> <p>※操作方法については「<u>13 バージョン情報</u>」を参照してください</p>

5 コレクトモード

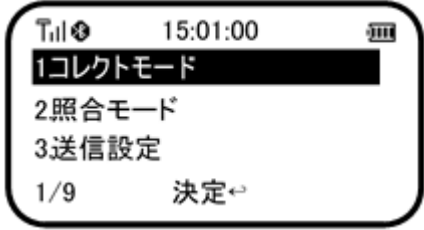
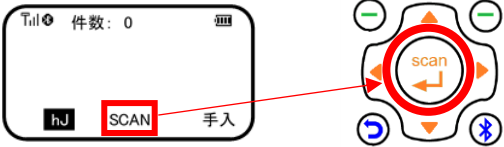
コレクトモードではバーコードを読み取り、読み取ったバーコードデータを本体に保存あるいは Bluetooth 送信することができます。

バーコード読み取りは最大 999 バイト可能です。

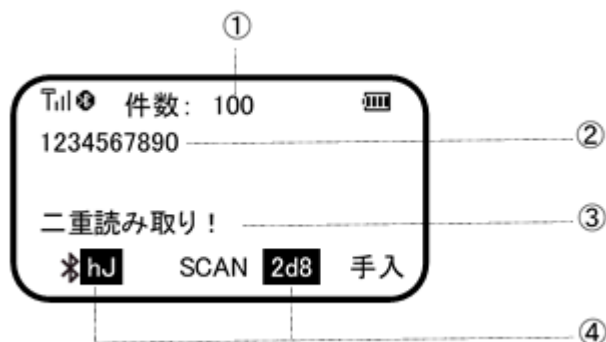
5.1 読み取りの操作

(1) コレクトモードを開始する

コレクトモードを開始するには、次のように行います。

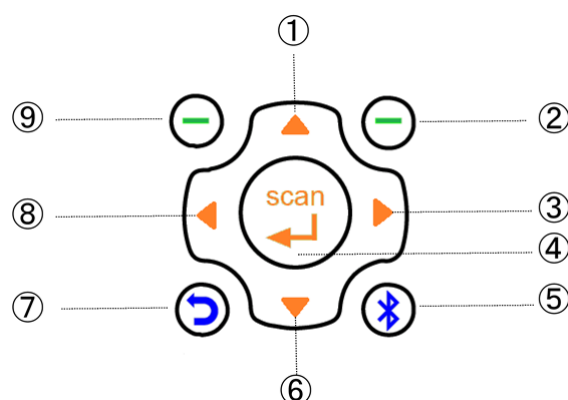
項番	説明	画面
1.	メインメニューで「1. コレクトモード」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	 The screenshot shows a handheld device screen with a status bar at the top displaying signal strength, time (15:01:00), and battery level. The main menu lists three options: '1コレクトモード' (highlighted with a black bar), '2照合モード', and '3送信設定'. At the bottom, it shows '1/9' and a '決定' (Enter) button.
2.	コレクトモード画面を表示します 【SCAN】キーを押すとバーコードを読み取ることができます	 This block contains two images. On the left is a screenshot of the 'Collect Mode' screen, showing '件数: 0' (Count: 0) at the top, a 'hJ' icon, a 'SCAN' button (highlighted with a red box), and '手入' (Manual Entry) at the bottom. On the right is a diagram of the physical button layout, showing a central 'scan' button with a red circle and arrows, surrounded by other function buttons like back, forward, and Bluetooth.

(2) 画面説明



項番	説明																														
①	本体に保存しているデータ件数を表示します																														
②	読み取ったバーコードデータを表示します																														
③	読み取り時メッセージを表示します ※二重読み取り時やデータベース参照時のメッセージを表示します																														
④	アイコンでコレクトモードにおける各種設定状態を画面最下行に表示します <table border="1"> <thead> <tr> <th>アイコン</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>データ送信先が「本体のみ」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「Bluetooth のみ」です (※送信失敗データ保存が「無効」)</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「Bluetooth のみ」です (※送信失敗データ保存が「有効」)</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「本体と Bluetooth」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「HID モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「SPP モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>キーボードレイアウトが「日本語版」です</td></tr> <tr> <td></td><td>キーボードレイアウトが「英語版」です</td></tr> <tr> <td></td><td>HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります</td></tr> <tr> <td></td><td>二重読み取り禁止が「有効」です</td></tr> <tr> <td></td><td>DB 参照が「有効」です</td></tr> <tr> <td></td><td>バーコードを読み取る時の文字エンコードが「UTF-8」です (非表示のときは「Shift-JIS」です)</td></tr> </tbody> </table>	アイコン	説明		データ送信先が「本体のみ」です		データ送信先が「Bluetooth のみ」です (※送信失敗データ保存が「無効」)		データ送信先が「Bluetooth のみ」です (※送信失敗データ保存が「有効」)		データ送信先が「本体と Bluetooth」です		データ送信方法が「HID モード」です		データ送信方法が「SPP モード」です		データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です		データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です		キーボードレイアウトが「日本語版」です		キーボードレイアウトが「英語版」です		HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります		二重読み取り禁止が「有効」です		DB 参照が「有効」です		バーコードを読み取る時の文字エンコードが「UTF-8」です (非表示のときは「Shift-JIS」です)
アイコン	説明																														
	データ送信先が「本体のみ」です																														
	データ送信先が「Bluetooth のみ」です (※送信失敗データ保存が「無効」)																														
	データ送信先が「Bluetooth のみ」です (※送信失敗データ保存が「有効」)																														
	データ送信先が「本体と Bluetooth」です																														
	データ送信方法が「HID モード」です																														
	データ送信方法が「SPP モード」です																														
	データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です																														
	データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です																														
	キーボードレイアウトが「日本語版」です																														
	キーボードレイアウトが「英語版」です																														
	HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります																														
	二重読み取り禁止が「有効」です																														
	DB 参照が「有効」です																														
	バーコードを読み取る時の文字エンコードが「UTF-8」です (非表示のときは「Shift-JIS」です)																														

(3) キー操作説明



項番	説明
①	バーコードを上スクロールします 表示しているバーコードが 2 行以上の場合、上スクロールするときに使用します
②	バーコードの読み取りを手入力で行います 本キーを押すと英数字および記号のバーコード手入力画面を表示し、手入力した内容を読み取りバーコードとすることができます
③	コレクトモード設定画面を表示します コレクトモード設定では次の設定を行うことができます 1) リピート保存・個数付加 ・リピート保存または個数付加の有効／無効を指定します 2) 照合DB参照 3) 二重読み取り禁止
④	バーコードを読み取ります(※オートスキャン(連続照射)／ハンズフリー時は除きます)
⑤	押すごとに Bluetooth の ON／OFF を切り換えます
⑥	バーコードを下スクロールします 表示しているバーコードが 2 行以上の場合、下スクロールするときに使用します
⑦	コレクトモードを終了しメインメニューに戻ります
⑧	保存データ一覧画面を表示します
⑨	スキャン方法がオートスキャン(連続照射)のときは【リターン】キーを除き他のキー操作を受けつけませんが、本キーを押した状態で他のキーを押すことで希望する操作を行うことができるようになります

5.2 読み取りデータを手入力する

バーコードの読み取りを手入力で行うことができます。

バーコードをスキャンし読み取ったデータ同様、手入力したデータを本体に保存あるいは Bluetooth 送信することができます。

入力可能文字は、次のとおりです。

0	1	2	3	4	5	6	7	8
9	A	B	C	D	E	F	G	H
I	J	K	L	M	N	O	P	Q
R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
a	b	c	d	e	f	g	h	i
j	k	l	m	n	o	p	q	r
s	t	u	v	w	x	y	z	sp
!	"	#	\$	%	&	'	()
*	+	,	-	.	/	:	;	<
=	>	?	@	[\]	^	_
`	{		}	~				

※注意 1

「sp」は画面上何も表示されませんが、半角スペースとして入力されます

※注意 2

画面上「\」（バックスラッシュ）で表示される記号は、「¥」記号として入力されます

次の操作で手入力を行います。


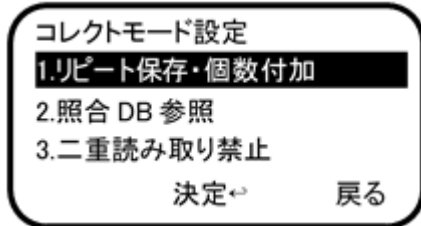
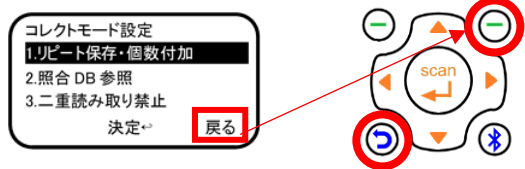
項番	説明	画面
1.	メインメニューで「1. コレクトモード」選択後【SCAN】（決定）キーを押し、コレクトモード画面を表示します	
2.	コレクトモード画面で【右上】（手入力）キーを押します	
3.	手入力画面を表示します	

項番	説明	画面
4.	<p>手入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字あるいは文字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します</p> <p>※入力可能最大文字数は <u>30</u> です</p>	
5.	<p>a) 手入力データを確定する</p> <p>手入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、データを確定しコレクトモード画面に戻ります</p>	
6.	<p>b) 最後に入力した数字を取り消す</p> <p>手入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に入力した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すと手入力を中止しコレクトモード画面に戻ります</p>	

5.3 コレクトモード設定

5.3.1 コレクトモード設定を開始する

コレクトモード設定を開始するには、コレクトモード画面で次のように行います。

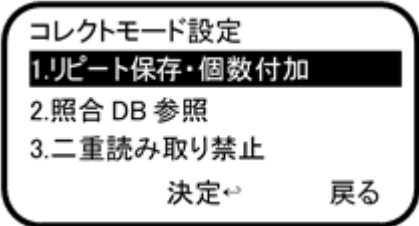
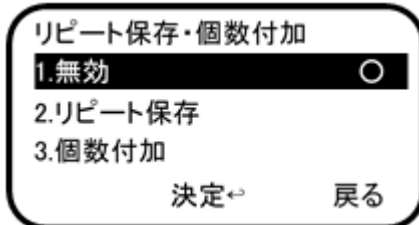
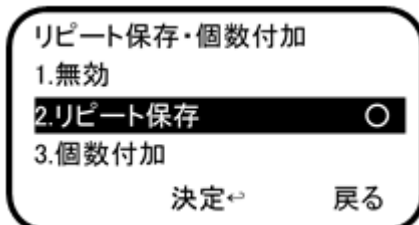
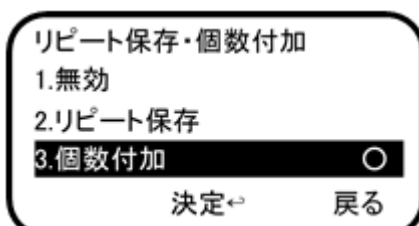
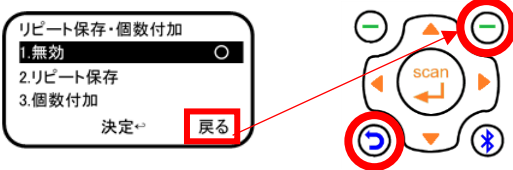
項番	説明	画面
1.	コレクトモード画面で【→】キーを押します ※次のメニュー操作でも行えます 【6.スキャン設定】→【6.コレクトモード設定】	
2.	コレクトモード設定画面を表示します ここでは次の設定を行うことができます 1) リポート保存・個数付加 2) 照合DB参照 3) 二重読み取り禁止	
3.	コレクトモード設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、ひとつ前の画面に戻ります	

5.3.2 リピート保存・個数付加の設定を行う

読み取ったバーコードのリピート保存（指定された個数分同一データを保存あるいは Bluetooth 送信）や、読み取ったバーコードに指定した個数を付加し保存あるいは Bluetooth 送信することができます。

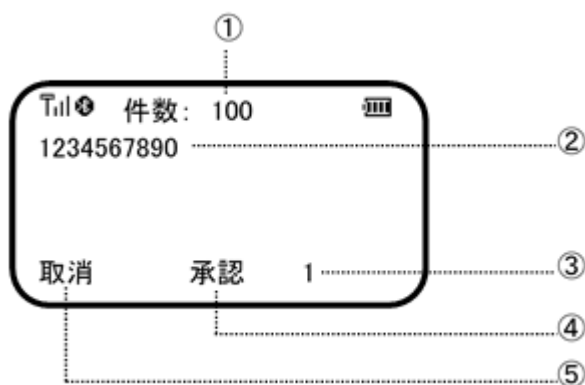
(1) 設定方法

リピート保存・個数付加の設定は、コレクトモード設定画面で次のように行います。

項番	説明	画面
1.	コレクトモード設定画面で「 1. リピート保存・個数付加 」選択後【SCAN】（決定）キーを押し、リピート保存・個数付加画面を表示します	
2.	a) 無効にする 「 1.無効 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
3.	b) リピート保存を行う 「 2. リピート保存 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します ※指定可能な保存回数は <u>1～255</u> です	
4.	c) 個数付加を行う 「 3. 個数付加 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します ※指定可能な個数は <u>-99999～99999</u> です ※個数の記録順については「5.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください	
5.	リピート保存・個数付加画面で【右上】（戻る）キーあるいは【リターン】キーを押すとコレクトモード設定画面に戻ります	

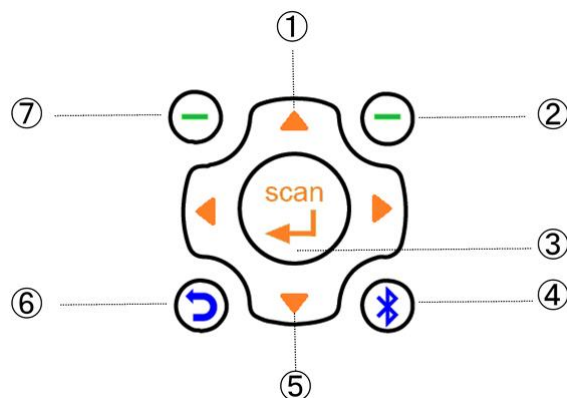
(2) 画面説明

リピート保存回数あるいは個数付加設定時、バーコード読み取り直後の画面は次のとおりです。



項番	説明
①	本体に保存しているデータ件数を表示します
②	読み取ったバーコードデータを表示します
③	リピート保存回数あるいは付加する個数を表示します ※初期値は「1」です
④	【SCAN】(承認)キーを示します 本キーを押すとリピート保存回数あるいは付加個数を確定し本体にデータを保存あるいは Bluetooth 送信します
⑤	【左上】(取消)キーを示します 本キーを押すと今回のバーコード読み取りを取り消します


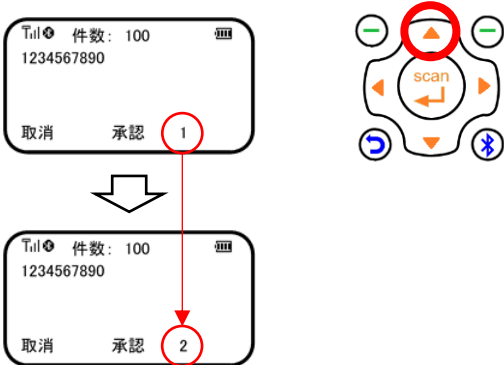
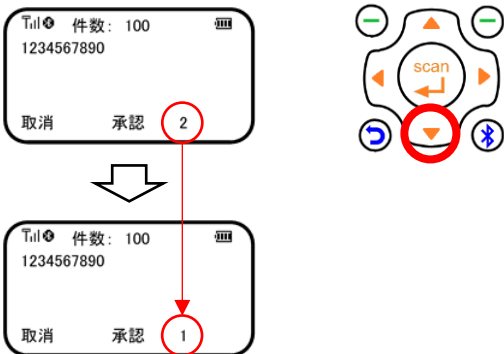
(3) キー操作説明



項番	説明
①	リピート保存回数あるいは付加個数を「+1」します
②	手入力でリピート保存回数あるいは付加個数を指定します 本キーを押すと手入力画面を表示し、手入力でリピート保存回数あるいは付加個数を指定できます
③	・リピート保存指定時： 指定した回数分、データを保存あるいは Bluetooth 送信します ・個数付加指定時： 指定した個数を付加しデータを保存あるいは Bluetooth 送信します
④	押すごとに Bluetooth の ON／OFF を切り換えます
⑤	リピート保存回数あるいは付加個数を「-1」します
⑥	読み取ったバーコードデータを破棄します（本体に保存あるいは Bluetooth 送信しません）
⑦	読み取ったバーコードデータを破棄します（本体に保存あるいは Bluetooth 送信しません）

(4) 保存回数あるいは個数設定を【↑】／【↓】キーで行う


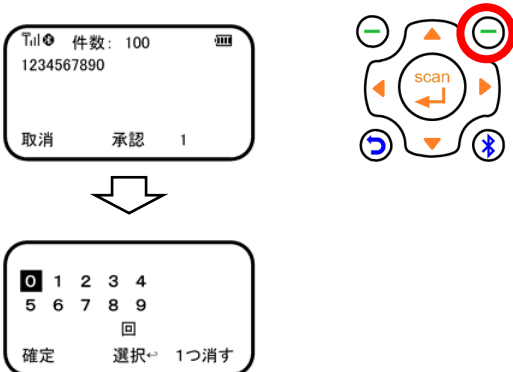
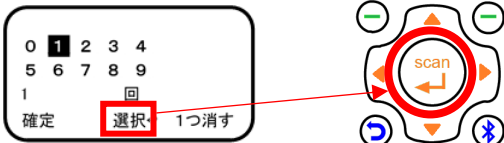
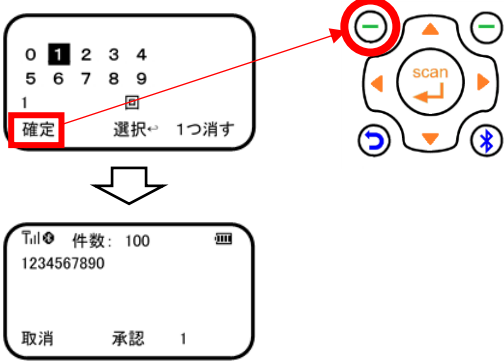
リピート保存回数あるいは付加する個数の設定を【↑】／【↓】キーで行うには、回数あるいは個数入力画面で次のように行います。

項番	説明	画面
1.	リピート保存あるいは個数付加設定時にバーコードを読み取ると回数あるいは個数入力画面を表示します	
2.	a) 回数あるいは個数を「+1」する 【↑】キーを押します	
3.	b) 回数あるいは個数を「-1」する 【↓】キーを押します	

項番	説明	画面
4.	<p>c) 回数あるいは個数を確定する</p> <p>【SCAN】(承認)キーを押します</p>	
5.	<p>回数あるいは個数入力画面で【左上】(取消)キーあるいは【リターン】キーを押すとコレクトモード画面に戻ります</p>	

(5) リピート保存回数を手入力で行う


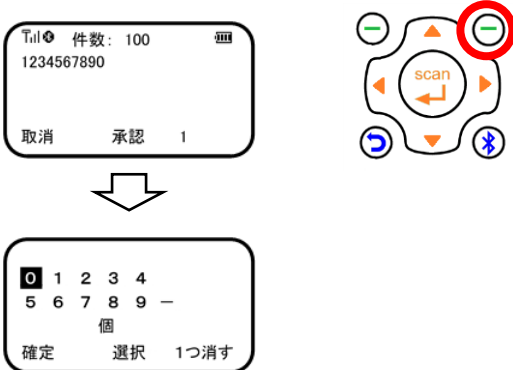
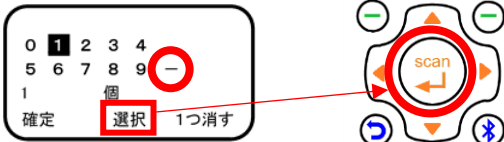
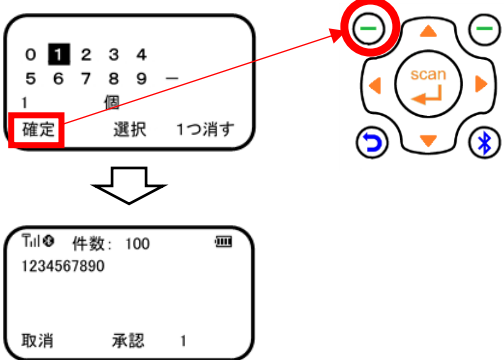
リピート保存回数を手入力で行うには、回数入力画面で次のように行います。

項番	説明	画面
1.	リピート保存設定時にバーコードを読み取ると回数入力画面を表示します	
2.	回数入力画面で【右上】キーを押すと、回数の手入力画面を表示します	
3.	<p>回数の手入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し、回数を指定します</p> <p>※指定可能な保存回数は <u>1～255</u> です</p>	
4.	<p>a) 回数を確定する</p> <p>回数の手入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、回数を確定し回数入力画面に戻ります</p>	

項番	説明	画面
5.	<p>b) 最後に入力した数字を取り消す</p> <p>回数の手入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すと回数の手入力を中止し回数入力画面に戻ります</p>	

(6) 付加する個数を手入力で行う

付加する個数を手入力で行うには、個数入力画面で次のように行います。

項番	説明	画面
1.	個数付加設定時にバーコードを読み取ると個数入力画面を表示します	
2.	個数入力画面で【右上】キーを押すと、個数の手入力画面を表示します	
3.	<p>個数の手入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字またはマイナス記号(－)を選択後、【SCAN】(選択)キーを押して個数を指定します</p> <p>※指定可能な個数は-99999～99999です ※マイナスの個数を入力したいときは、最初にマイナス記号(－)を入力した後に数字を入力してください</p>	
4.	<p>a) 手入力値を確定する</p> <p>個数の手入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、個数を確定し個数入力画面に戻ります</p>	

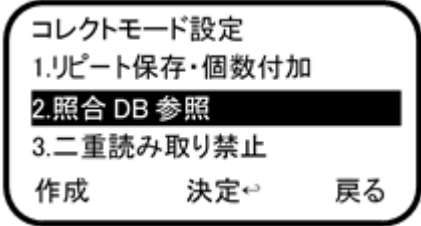
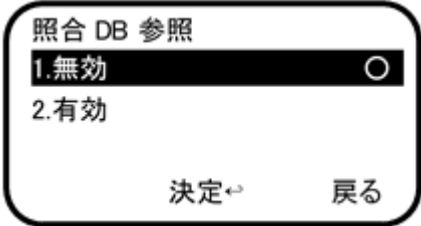

項番	説明	画面
5.	<p>b) 最後に入力した文字を取り消す</p> <p>個数の手入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した文字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すと個数の手入力を中止し、個数入力画面に戻ります</p>	
6.	<p>c) 個数を承認する</p> <p>個数入力のスキャン画面で【SCAN】(承認)キーを押すと、データを送信しスキャン画面に戻ります</p>	
7.	<p>d) バーコード読み取りをキャンセルする</p> <p>個数入力のスキャン画面で【左上】(取消)キーあるいは【リターン】キーを押すと、読み取りをキャンセルしスキャン画面に戻ります</p>	

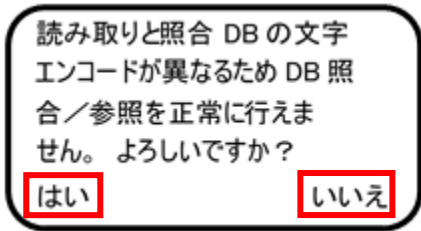
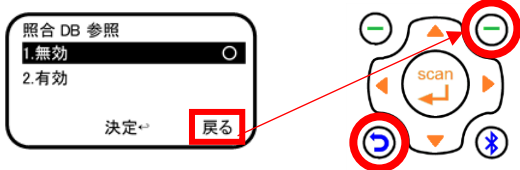
5.3.3 照合DB参照の設定を行う

読み取ったバーコードが事前に本体に作成しているデータベース(照合DB)に登録されているか確認することができます。

(1) 設定方法

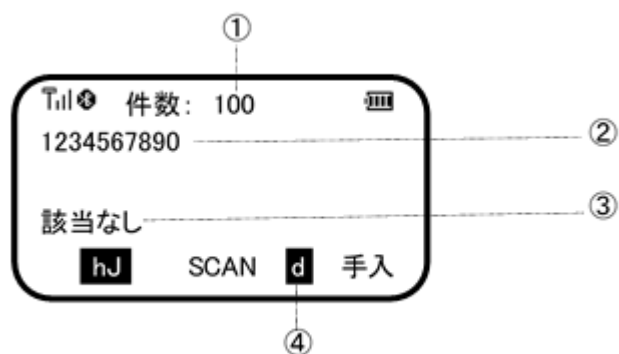
データベース参照の設定は、コレクトモード設定画面で次のように行います。

項番	説明	画面
1.	コレクトモード設定画面で「 2. 照合DB参照 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、照合DB参照画面を表示します ※【左上】(作成)キーを押すと照合DB作成を行うことができます 詳しくは「 <u>12 照合DB作成</u> 」を参照してください	
2.	a) 無効にする 「 1. 無効 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	b) 有効にする 「 2. 有効 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
	<p>※注意 バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なる設定のときは、確認メッセージを表示します</p> <p>※バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なると、漢字等を含むデータを正常に扱えません</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと「有効」に設定します</p> <p>【右上】(いいえ)キーを押すと照合DB参照設定を中止します</p> <p>※照合DBの文字エンコードについては「<u>12.1 照合DBの作成方法(追加／新規)を決める</u>」を参照してください</p> <p>※読み取り時の文字エンコードについては「<u>11.3.5 文字エンコード</u>」を参照してください</p>	
4.	<p>照合DB参照画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとコレクトモード設定画面に戻ります</p>	

(2) 画面説明

照合DB参照を「有効」に設定した時のバーコード読み込み直後の画面は次のとおりです。



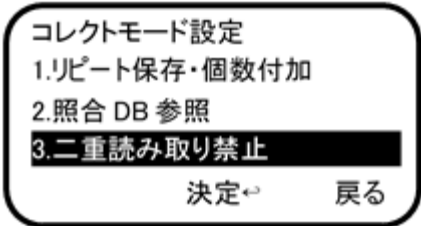
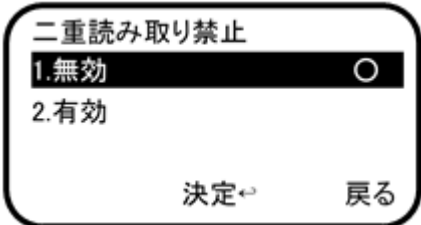
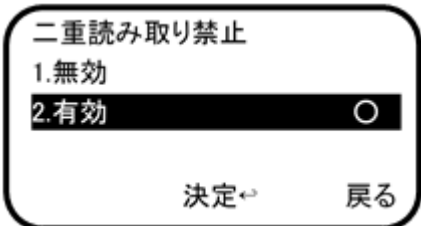
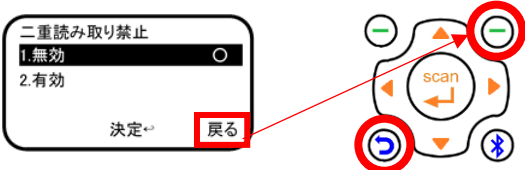
項番	説明
①	本体に保存しているデータ件数を表示します
②	読み取ったバーコードデータを表示します
③	照合DB参照結果を表示します 照合DBに登録済み: データベースに登録されている内容を表示 照合DBに未登録: 該当なし
④	コレクトモード設定状態をアイコンで表示します d : 照合DB参照が「有効」であることを示します

5.3.4 二重読み取り禁止の設定を行う

二重読み取り禁止を「有効」に設定した状態で読み取ったバーコードと同じバーコードの読み取りを禁止することができます。

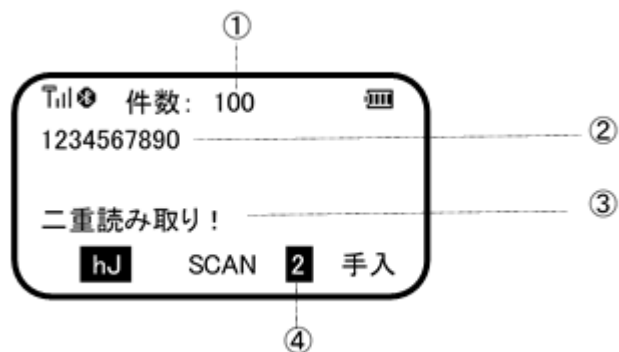
(1) 設定方法

二重読み取り禁止の設定は、コレクトモード設定画面で次のように行います。

項番	説明	画面
1.	コレクトモード設定画面で「 3. 二重読み取り禁止 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押し、二重読み取り禁止画面を表示します	
2.	a) 無効にする 「 1. 無効 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	b) 有効にする 「 2. 有効 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	二重読み取り禁止画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとコレクトモード設定画面に戻ります	

(2) 画面説明

二重読み取り禁止設定時、バーコード読み込み直後の画面は次のとおりです。



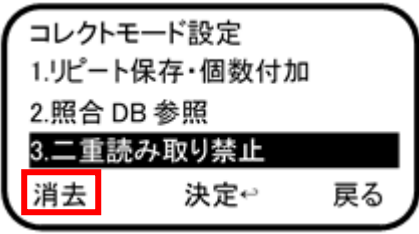
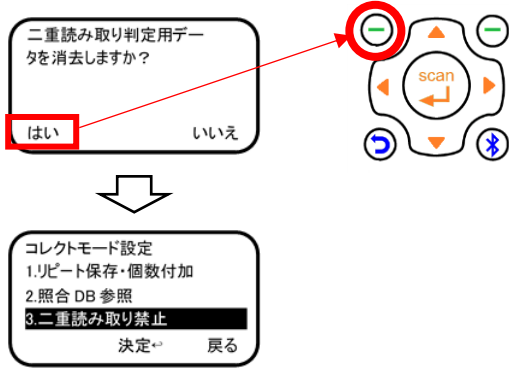
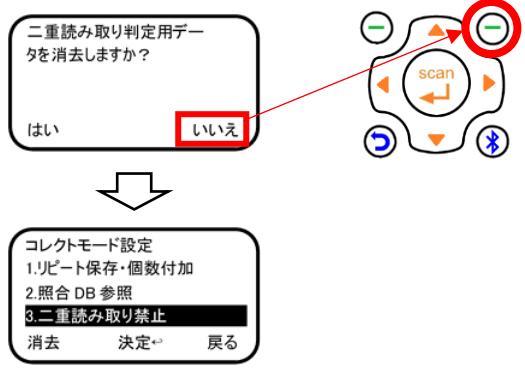
項番	説明
①	本体に保存しているデータ件数を表示します
②	読み取ったバーコードデータを表示します
③	二重読み取り判定結果を表示します 二重読み取りではない: 何も表示しない 二重読み取りである: 二重読み取り!
④	コレクトモード設定状態をアイコンで表示します 2 : 二重読み取り禁止が「有効」であることを示します

(3) 二重読み取り判定用データの消去

二重読み取り禁止の判定で使用するデータを消去するには、コレクトモード設定画面で次のように行います。

なお二重読み取り判定用データはファイルの初期化でも消去できます。


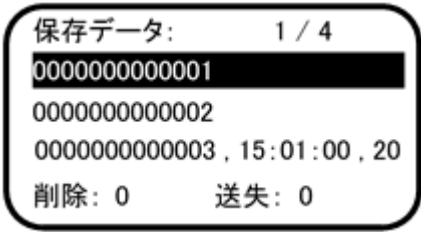
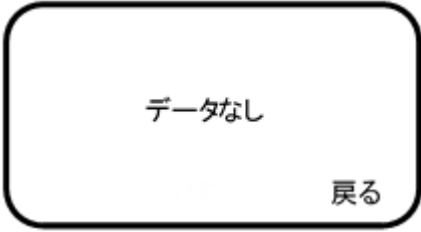

※ファイルの初期化については「[9.2 初期化](#)」を参照してください

項番	説明	画面
1.	<p>コレクトモード設定画面で「3. 二重読み取り禁止」を選択し【左上】(消去)キーを押します</p> <p>※二重読み取り判定用データが存在しないと画面左下の「消去」は表示されません</p>	
2.	<p>a) 消去する</p> <p>消去確認画面で【左上】(はい)キーを押すと消去を実行しコレクトモード設定画面に戻ります</p>	
3.	<p>b) 消去を中止する</p> <p>消去確認画面で【右上】(いいえ)キーを押すと消去を中止しコレクトモード設定画面に戻ります</p>	

5.4 保存データ参照

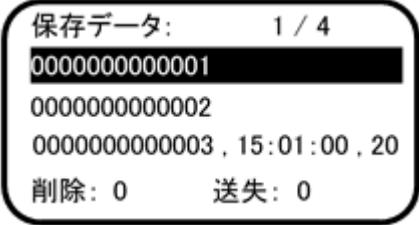
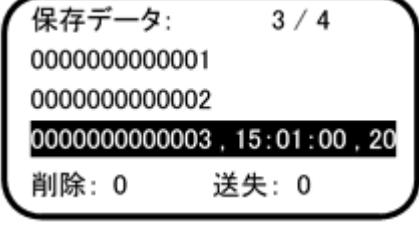
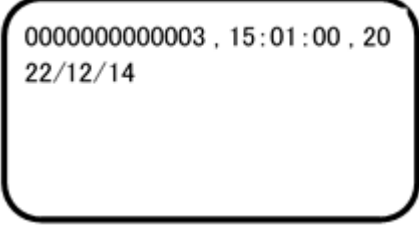
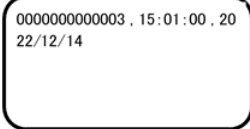

5.4.1 保存データ一覧を表示する

保存データの一覧を表示するには、コレクトモード画面で次のように行います。

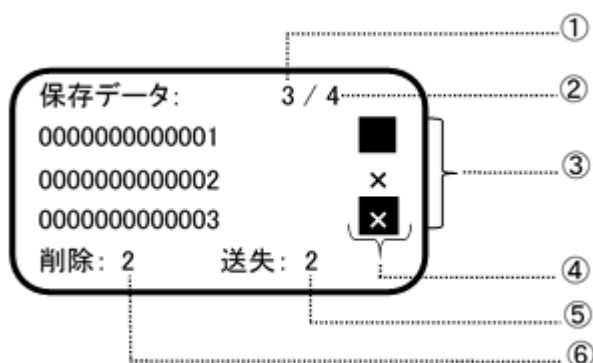
項番	説明	画面
1.	コレクトモード画面で【←】キーを押します ※次のメニュー操作でも行えます 【5.ファイル操作】→【2.保存データ参照】	
2.	保存データ一覧画面を表示します	
3.	※保存データが1件も存在しなかったときは 「データなし」のメッセージを表示します 【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、コレクトモード画面に戻ります	
4.	保存データ一覧画面で【リターン】キーを押すと、ひとつ前の画面に戻ります	

5.4.2 データの全体を表示する

(1) 操作

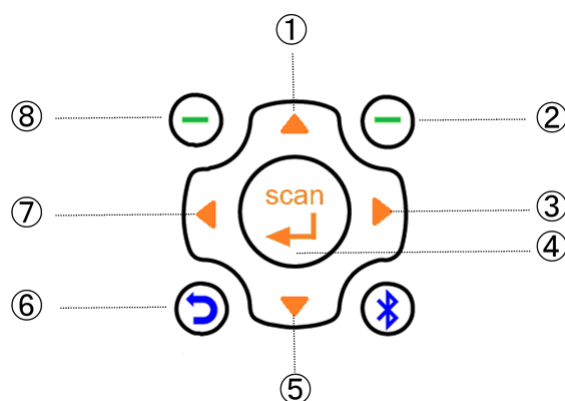
項番	説明	画面
1.	保存データ一覧画面で【↑】／【↓】キーを押すと画面をスクロールすることができます	 <p>保存データ: 1 / 4 00000000000001 00000000000002 00000000000003, 15:01:00, 20 削除: 0 送失: 0</p>
2.	1 行に表示しきれないデータの場合、当該データを選択し【SCAN】キーを押すと全体を表示することができます	 <p>保存データ: 3 / 4 00000000000001 00000000000002 00000000000003, 15:01:00, 20 削除: 0 送失: 0</p>
3.	選択したデータの全体を表示します 1画面にすべて表示できないときは【↑】／【↓】キーを押し画面を上下スクロールすることで全体を確認することができます	 <p>00000000000003, 15:01:00, 20 22/12/14</p>
4.	全体表示画面で【リターン】キーを押すと保存データ一覧画面に戻ります	 

(2) 画面説明

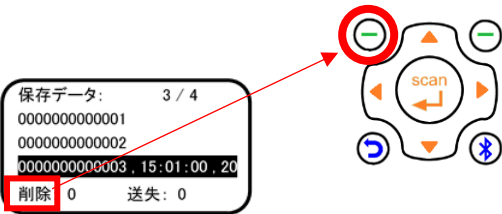


項番	説明
①	現在選択(反転)しているデータの通番(1～)を表示します
②	保存しているデータの全件数(削除予約したデータを含みます)を表示します
③	保存しているデータを表示します(1行に1データ表示)
④	行の右端に、削除予約したデータ(■)、Bluetooth 送信に失敗したデータ(X)、あるいはその両方のデータ(X)であることを示します ※削除予約したデータはファイル出力あるいは Bluetooth 送信の対象外になります
⑤	Bluetooth 送信に失敗したデータの件数を表示します
⑥	削除予約したデータの件数を表示します

(3) キー操作説明



項番	説明
①	押す毎に選択行を前のデータに移動します 長押しすると移動を加速します
②	a) 先頭ページを表示する : 【右上】キーを押しながら【↑】キーを押します b) 最終ページを表示する : 【右上】キーを押しながら【↓】キーを押します

項番	説明
③	次ページを表示します
④	選択(反転)したデータの全体を表示します ※全体表示中に【リターン】キーを押すと保存データー一覧画面に戻ります
⑤	押す毎に選択行を次のデータに移動します 長押しすると移動を加速します
⑥	保存データー一覧表示を終了しひとつ前の画面に戻ります
⑦	前ページを表示します
⑧	 <p>a) <u>選択したデータが削除予約されていない</u>ならば、削除確認画面を表示します</p> <div data-bbox="630 875 1054 1104"> <p>削除しますか？</p> <p>0000000000003, 15:01:00, 20</p> <p>はい いいえ</p> </div> <p>削除するときは【左上】(はい)キーを、操作を中止するときは【右上】(いいえ)キーを押します</p> <p>b) <u>選択したデータが削除予約されている</u>らば、削除取り消し画面を表示します</p> <div data-bbox="630 1323 1054 1552"> <p>削除を取り消しますか</p> <p>0000000000003, 15:01:00, 20</p> <p>はい いいえ</p> </div> <p>削除を取り消すときは【左上】(はい)キーを、操作を中止するときは【右上】(いいえ)キーを押します</p>

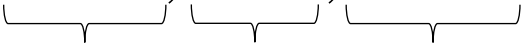
(4) 各種付加データの記録順について

データ保存あるいは Bluetooth 送信時に付加可能な各種データの記録順は次のとおりです。

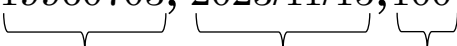
順位	項目名
1.	バーコードデータ(必須)
2.	時刻
3.	日付
4.	個数(コレクトモード時に付加可能)
5.	本体番号
6.	照合情報(照合モード時必須)
7.	バーコードシンボル
8.	照合結果
9.	DB関連データ(コレクトモード時に照合DB参照を「有効」に設定したときやDB照合あるいはピッキング照合時に付加可能)

※付加データは指定されたもののみを記録します。以下に例を示します。

例 1) 時刻と日付を指定した場合：

19930603,15:01:00,2022/12/14

バーコードデータ 時刻 日付

例 2) 日付と個数(100 個)を付加指定した場合：

19960703, 2023/11/15,100

バーコードデータ 日付 個数

6 照合モード

照合モードでは、1対1照合／1対N照合／DB照合／ピッキング照合の4種類の照合を行うことができます。
バーコード読み取りは最大 999 バイト可能です。

・1対1照合／1対N照合

1対1照合／1対N照合では照合元／照合先の2つのバーコードを読み取り、同じバーコードだったか否かの照合結果を本体に保存あるいは Bluetooth 送信します。

・DB照合

DB照合は、照合元の情報を事前に照合DBとして作成しておき、読み取ったバーコードを照合DBに登録してあるデータと照合し、照合結果を本体に保存あるいは Bluetooth 送信します。

なお、DB照合で使用する照合DBは、本体で作成する方法と MD100Manager を使用して作成する2つの方法があります。

MD100Manager を使用して照合DBを作成する方法については、MD100Manager のマニュアルを参照してください。

・ピッキング照合

ピッキング照合を行うには、事前に MD100Manager で照合DB作成のオプション「ピッキング照合用データを作成する」を指定し照合DBとピッキング照合用データを作成しておく必要があります。

MD100Manager を使用して照合DBおよびピッキング照合用データを作成する方法については、MD100Manager のマニュアルを参照してください。

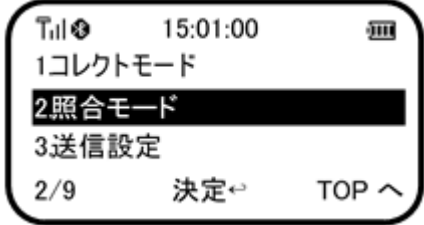


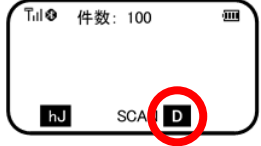


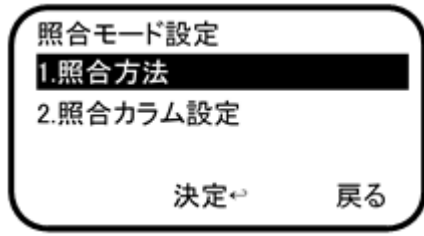
ピッキング照合は照合DB作成時に使用した CSV ファイルの内容をピッキング対象とします。CSV ファイルに同一データが複数個登録されていれば、その個数分ピッキング照合の対象になります。

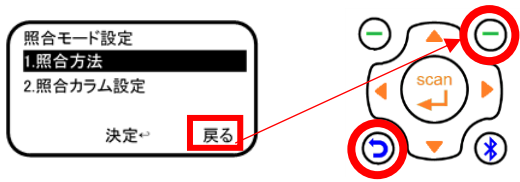
照合結果は本体に保存あるいは Bluetooth 送信し、ピッキング対象のすべての照合を行うとピッキング照合は終了します。

6.1 照合モード設定

6.1.1 照合モード設定を開始する

照合モード設定を開始するには、照合モード画面で次のように行います。

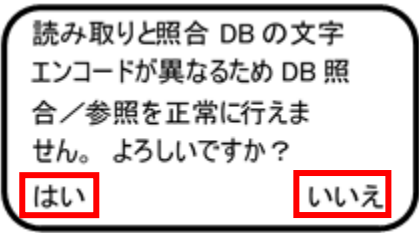
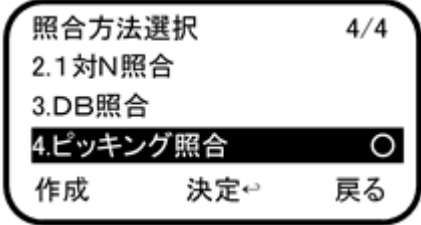
項番	説明	画面
1.	メインメニューで「2. 照合モード」選択後 【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	照合モード画面で【→】キーを押します ※設定中の照合モードにより表示する画面は異なります ※次のメニュー操作でも照合モード設定画面を表示することができます 【6. スキャン設定】→【7. 照合モード設定】	<div> <div>▼1対1照合のとき</div>  </div> <div> <div>▼1対N照合のとき</div>  </div> <div> <div>▼DB照合のとき</div>  </div> <div> <div>▼ピッキング照合のとき</div>  </div> <div>  </div>
3.	照合モード設定画面を表示します ここでは次の設定を行うことができます 1) 照合方法 2) 照合カラム設定	

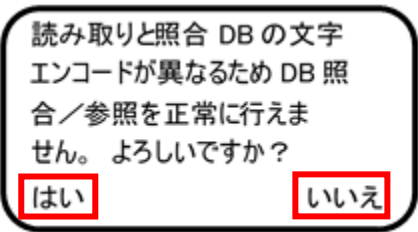
項番	説明	画面
4.	照合モード設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとひとつ前の画面に戻ります	

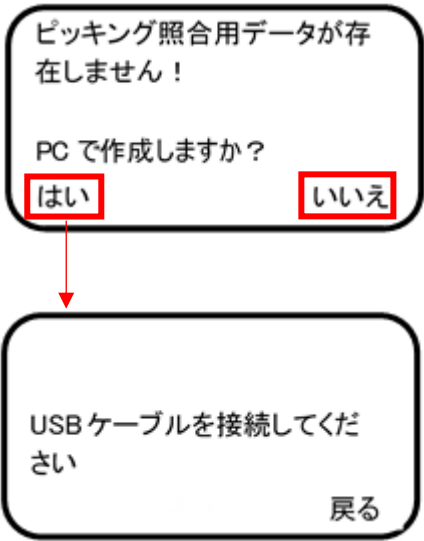
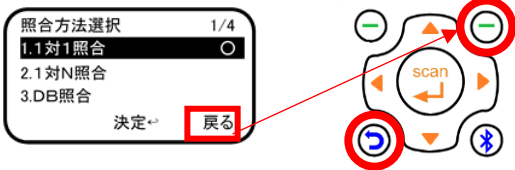
6.1.2 照合方法(1対1／1対N／DB／ピッキング)を選択する

照合方法(1対1照合／1対N照合／DB照合／ピッキング照合)を選択するときは、照合モード設定画面で次のように行います。

項番	説明	画面
1.	照合モード設定画面で「 1. 照合方法 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、照合方法選択画面を表示します	
2.	<p>a) <u>1対1照合を選択する</u></p> <p>「1. 1対1照合」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p>b) <u>1対N照合を選択する</u></p> <p>「2. 1対N照合」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	<p>c) <u>DB照合を選択する</u></p> <p>「3. DB照合」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※「3. DB照合」を選択(反転)した状態で【左上】(作成)キーを押すと、照合DBの「作成方法選択画面」を表示します(照合DBの作成を行うことができます)</p> <p>照合DBの作成方法については「<u>12 照合DB作成</u>」を参照してください</p>	

項番	説明	画面
	<p>※注意 バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なる設定のときは、確認メッセージを表示します</p> <p>※バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なると、漢字等を含むデータを正常に扱えません</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと「DB照合」に設定します</p> <p>【右上】(いいえ)キーを押すと設定せずに照合方法選択画面に戻ります</p> <p>※照合DBの文字エンコードについては「<u>12.1 照合DBの作成方法(追加／新規)を決める</u>」を参照してください</p> <p>※読み取り時の文字エンコードについては「<u>11.3.5 文字エンコード</u>」を参照してください</p>	
5.	<p>d) ピッキング照合を選択する</p> <p>「4. ピッキング照合」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※「4. ピッキング照合」を選択(反転)した状態で【左上】(作成)キーを押すと、照合DBの「作成方法選択画面」を表示します(照合DBの作成を行うことができます)</p> <p>照合DBの作成方法については「<u>12 照合DB作成</u>」を参照してください</p>	

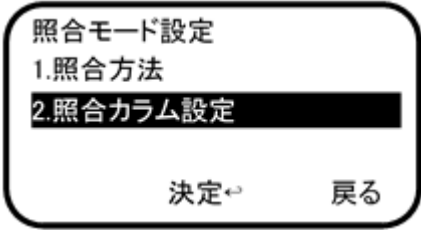
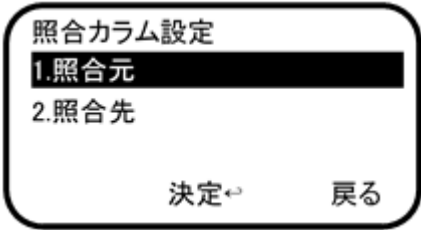
項番	説明	画面
	<p>※注意 1</p> <p>バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なる設定のときは、確認メッセージを表示します</p> <p>※バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なると、漢字等を含むデータを正常に扱えません</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと「ピッキング照合」に設定します</p> <p>【右上】(いいえ)キーを押すと設定せずに照合方法選択画面に戻ります</p> <p>※照合DBの文字エンコードについては「<u>12.1 照合DBの作成方法(追加／新規)を決める</u>」を参照してください</p> <p>※読み取り時の文字エンコードについては「<u>11.3.5 文字エンコード</u>」を参照してください</p>	

項番	説明	画面
	<p>※注意 2 ピッキング照合用データが作成されていないときは、作成要求メッセージを表示します</p> <p>・PCで作成する 【左上】(はい)キーを押すと「USB ケーブルを接続してください」のメッセージを表示します USBケーブルでPCに接続しMD100Managerでピッキング照合用データを作成してください</p> <p>※MD100Manager でピッキング照合用データを作成しないと再度作成要求メッセージを表示します MD100Manager でピッキング照合用データを作成する方法については MD100Manager のマニュアルを参照してください</p> <p>・本体で作成する 本体でピッキング照合用データを作成したいときは、【右上】(いいえ)キーを押した後、本体でピッキング照合用データを作成してください</p> <p>※本体でピッキング照合用データを作成する方法については「<u>12 照合DB作成</u>」を参照してください</p>	
6.	<p>照合方法選択画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと照合モード設定画面に戻ります</p>	

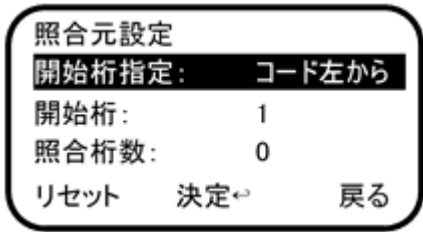
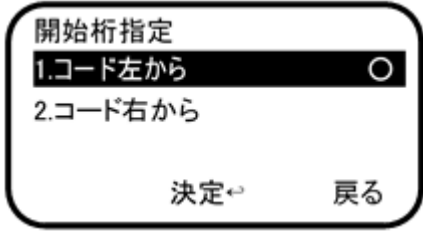
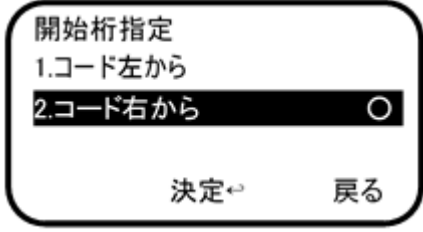
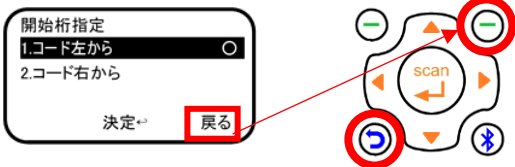
6.1.3 照合カラム(照合範囲)を設定する

1対1照合／1対N照合で使用する照合カラム(照合範囲)を設定するには、次のように行います。

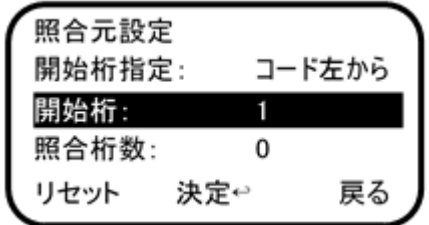
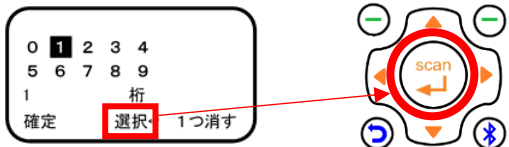
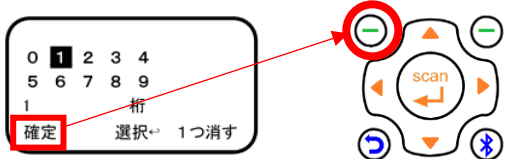
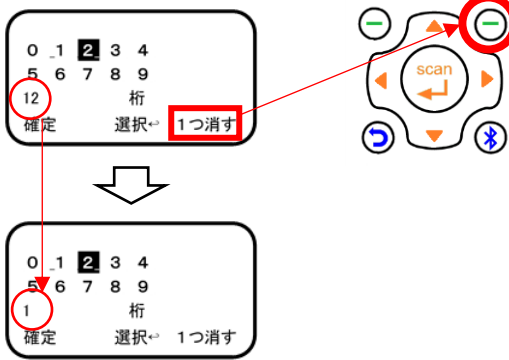
(1) 照合カラム (照合範囲) 設定を開始する

項番	説明	画面
1.	照合モード設定画面で「 2. 照合カラム設定 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、照合カラム設定画面を表示します	
2.	<p>照合カラムの設定は、照合元／照合先のそれぞれで行います 「1. 照合元」／「2. 照合先」のいずれかを選択後【SCAN】(決定)キーを押し、照合元(先)設定画面を表示します</p> <p>※以降では「1. 照合元」を指定した場合の画面を使用し説明します(「2. 照合先」を指定しても操作方法に変わりはありません)</p>	

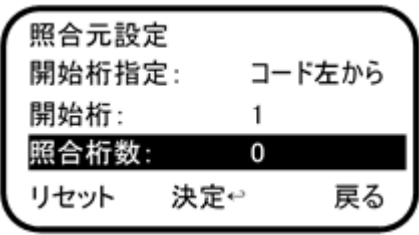
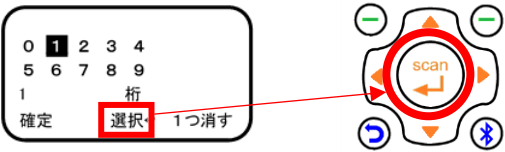
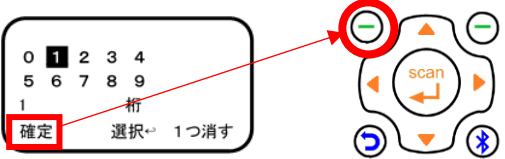
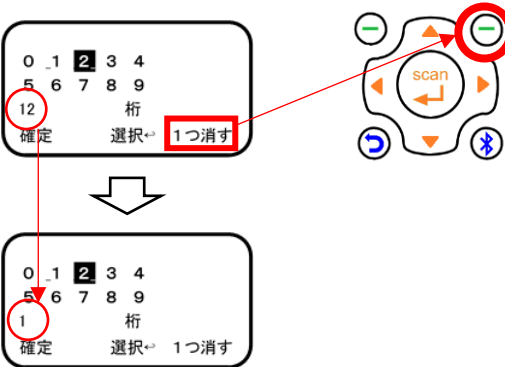
(2) 「開始桁指定」を行う

項番	説明	画面
1.	<p>「開始桁指定」では、開始桁がバーコードの左側から数えた桁位置なのか右側から数えた桁位置なのか指定します</p> <p>照合元(先)設定画面で「開始桁指定:」を選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
2.	<p>開始桁指定画面を表示します</p> <p>開始桁をバーコードの左側から数えた桁位置で指定するときは「1. コード左から」を選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p>開始桁をバーコードの右側から数えた桁位置で指定するときは「2. コード右から」を選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	<p>開始桁指定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと照合元(先)設定画面に戻ります</p>	

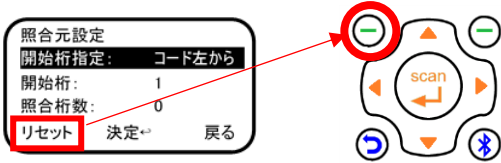
(3) 「開始桁」を指定する

項番	説明	画面
1.	照合を行う開始桁を指定します 照合元(先)設定画面で「 開始桁: 」を選択後【SCAN】(決定)キーを押し、開始桁入力画面を表示します	
2.	開始桁入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し、開始桁を入力します ※指定可能な開始桁は <u>1～999</u> です	
3.	a) 開始桁を確定する 開始桁入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、開始桁を確定し照合元(先)設定画面に戻ります	
4.	b) 最後に入力した数字を取り消す 開始桁入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます ※【リターン】キーを押すと開始桁入力を中止し照合元(先)設定画面に戻ります	

(4) 「照合桁数」を指定する

項番	説明	画面
1.	照合を行う桁数を指定します 照合元(先)設定画面で「 照合桁数: 」を選択後【SCAN】(決定)キーを押し、照合桁数入力画面を表示します	
2.	照合桁数入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し、照合桁数を入力します ※指定可能な照合桁数 <u>0～999</u> です ※照合桁数に「0」を指定すると、開始桁で指定した桁以降すべてのデータが照合対象になります	
3.	a) 照合桁数を確定する 照合桁数入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、照合桁数を確定し照合元(先)設定画面に戻ります	
4.	b) 最後に入力した数字を取り消す 照合桁数入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます ※【リターン】キーを押すと照合桁数入力を中止し照合元(先)設定画面に戻ります	

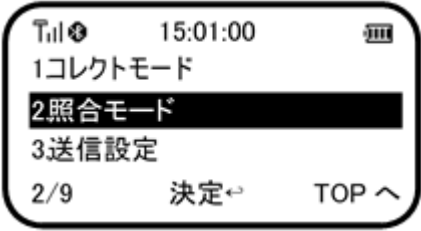

(5) 初期状態に戻す

項番	説明	画面
1.	<p>照合元(先)設定画面で【左上】(リセット)キーを押すと、照合元(先)設定の内容を初期値に戻します</p> <p>※初期値は次のとおりです</p> <p>開始桁指定: コード左から</p> <p>開始桁: 1</p> <p>照合桁数: 0</p>	

6.2 1対1照合の操作

(1) 照合モードを開始する








































1対1照合を開始するには、次のように行います(※事前に照合方法として「1対1」に設定しておく必要があります。
設定方法については「6.1 照合モード設定」を参照してください)。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで「2. 照合モード」選択後 【SCAN】(決定)キーを押します	 The screenshot shows a handheld device screen with a menu. At the top, it displays 'Till' with a signal icon, the time '15:01:00', and a battery icon. The menu items are '1コレクトモード', '2照合モード' (which is highlighted with a black bar), and '3送信設定'. At the bottom, it shows '2/9', '決定' with a right arrow, and 'TOP' with a left arrow.
2.	照合モード画面を表示します 照合方法が「1対1」のときは、画面下部に「1」 のアイコンを表示します	 The screenshot shows the comparison mode screen. At the top, it displays 'Till' with a signal icon, '件数: 100', and a battery icon. Below this, it says '照合元:' and '照合先:'. At the bottom, there is an 'hJ' icon, the word 'SCAN', and a '1' icon which is circled in red.

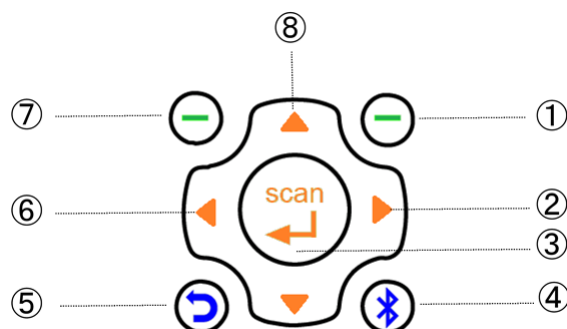
(2) 画面説明

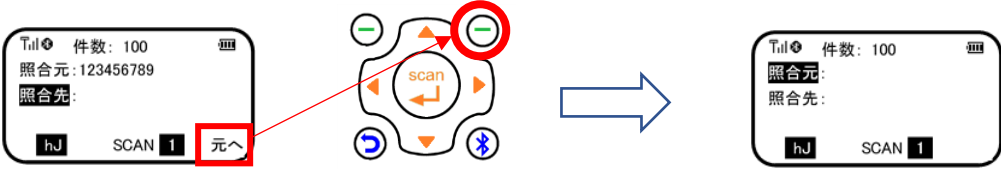
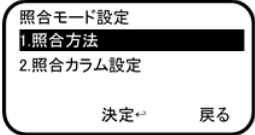
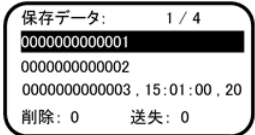


項番	説明
①	<p>読み取った照合元のバーコードデータを表示します タイトル文字「照合元」が反転表示のときは、照合元読み取り待ち状態を示します</p> <p>照合元データを読み取ると照合情報として「:s」をバーコードデータに付加して保存します</p> <p>※照合情報の記録順については「5.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください</p>
②	<p>読み取った照合先のバーコードデータを表示します タイトル文字「照合先」が反転表示のときは、照合先読み取り待ち状態を示します</p> <p>照合先データを読み取ると照合情報として「:y」(照合一致のとき)あるいは「:n」(照合不一致のとき)をバーコードデータに付加して保存します</p> <p>※照合情報の記録順については「5.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください</p>
③	<p>照合結果を表示します</p> <p>一致のとき: データ一致</p> <p>不一致のとき: ◆◆不一致◆◆</p>

項番	説明																												
④	<p>アイコンで1対1照合時における各種設定状態を画面最下行に表示します</p> <table> <tr> <th>アイコン</th><th>説明</th></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「本体のみ」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「無効」）</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「有効」）</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「本体と Bluetooth」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「HID モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「SPP モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>キーボードレイアウトが「日本語版」です</td></tr> <tr> <td></td><td>キーボードレイアウトが「英語版」です</td></tr> <tr> <td></td><td>HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります</td></tr> <tr> <td></td><td>1対1照合であることを示します</td></tr> <tr> <td></td><td>バーコードを読み取る際の文字エンコードが「UTF-8」です（非表示のときは「Shift-JIS」です）</td></tr> </table>	アイコン	説明		データ送信先が「本体のみ」です		データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「無効」）		データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「有効」）		データ送信先が「本体と Bluetooth」です		データ送信方法が「HID モード」です		データ送信方法が「SPP モード」です		データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です		データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です		キーボードレイアウトが「日本語版」です		キーボードレイアウトが「英語版」です		HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります		1対1照合であることを示します		バーコードを読み取る際の文字エンコードが「UTF-8」です（非表示のときは「Shift-JIS」です）
アイコン	説明																												
	データ送信先が「本体のみ」です																												
	データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「無効」）																												
	データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「有効」）																												
	データ送信先が「本体と Bluetooth」です																												
	データ送信方法が「HID モード」です																												
	データ送信方法が「SPP モード」です																												
	データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です																												
	データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です																												
	キーボードレイアウトが「日本語版」です																												
	キーボードレイアウトが「英語版」です																												
	HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります																												
	1対1照合であることを示します																												
	バーコードを読み取る際の文字エンコードが「UTF-8」です（非表示のときは「Shift-JIS」です）																												

(3) キー操作説明



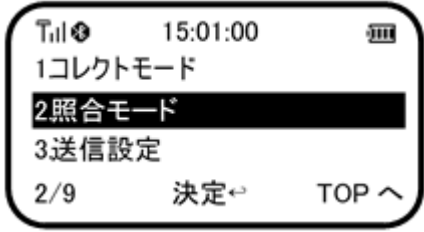
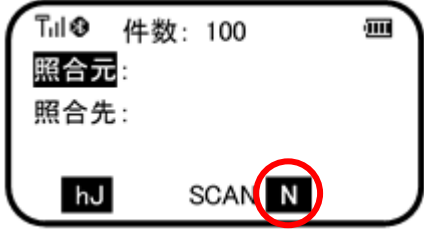
項番	説明
①	 <p>読み取り待ち状態を、「照合先」から「照合元」に変更します</p>
②	<p>照合モード設定画面を表示します</p>  <p>照合モード設定では次のことを行うことができます</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 照合方法 <ul style="list-style-type: none"> ・照合方法を、1対1、1対N、DB照合、ピッキング照合の何れかに切り替えることができます 2) 照合カラム設定 <ul style="list-style-type: none"> ・照合元および照合先の照合カラム(照合範囲)指定を行います
③	<p>バーコードを読み取ります(※オートスキャン(連続照射)／ハンズフリー時は除きます)</p> <p>「照合元」のバーコードを読み取ると、「照合先」バーコードの読み取り待ち状態になります</p> <p>「照合先」のバーコードを読み取り照合結果が一致すると、「照合元」バーコードの読み取り待ち状態になり、不一致だと「照合先」バーコードの読み取り待ち状態になります</p>
④	<p>押すごとに Bluetooth の ON／OFF を切り換えます</p>
⑤	<p>照合モードを終了しメインメニューに戻ります</p>
⑥	<p>保存データ一覧画面を表示します</p> 
⑦	<p>スキャン方法がオートスキャン(連続照射)のときは【リターン】キーを除き他のキー操作を受けつけませんが、本キーを押した状態で他のキーを押すことで希望する操作を行うことができるようになります</p>

項番	説明
⑧	<p>現在設定している、照合カラムの内容を表示します</p> <div data-bbox="272 271 526 407"><div>Ttl 件数: 100</div><div>照合元: 左: 1~0</div><div>照合先: 左: 1~0</div><div>hJ SCAN 1</div></div>

6.3 1対N照合の操作

(1) 照合モードを開始する








































1対N照合を開始するには、次のように行います（※事前に照合方法として「1対N」に設定しておく必要があります。
設定方法については「6.1 照合モード設定」を参照してください）。

項番	説明	画面
1.	たメインメニューで「2. 照合モード」選択後 【SCAN】(決定)キーを押します	 The screenshot shows a handheld device screen with a menu. At the top, it displays signal strength, time (15:01:00), and battery level. The menu items are: 1コレクトモード, 2照合モード (highlighted with a black bar), 3送信設定, and 2/9. At the bottom, there are buttons for 決定 (Decision) and TOP (Top).
2.	照合モード画面を表示します 照合方法が「1対N」のときは、画面下部に「N」 のアイコンを表示します	 The screenshot shows the 1-to-N matching mode screen. It displays '件数: 100' (Number of items: 100). Below that are labels for '照合元:' (Matching source) and '照合先:' (Matching destination). At the bottom, there is a button labeled 'hJ' and a 'SCAN' button. Next to the 'SCAN' button is a small black square containing the letter 'N', which is circled in red.

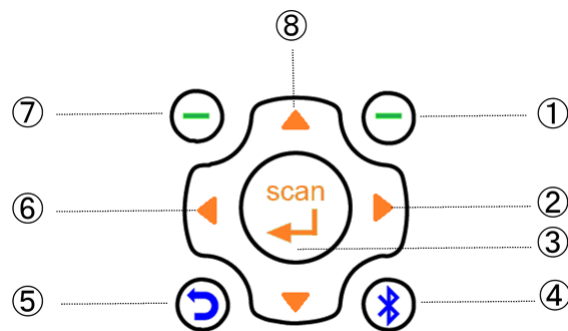
(2) 画面説明

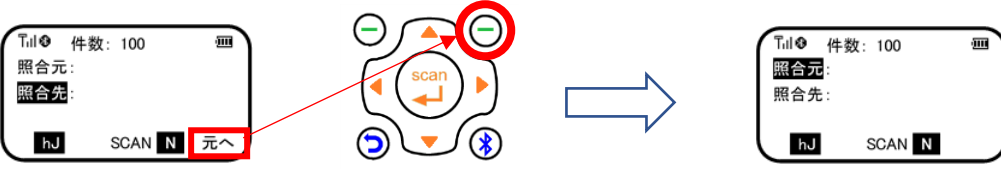
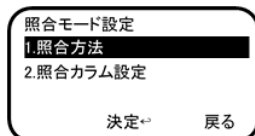
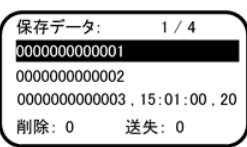


項番	説明
①	<p>読み取った照合元のバーコードデータを表示します タイトル文字「照合元」が反転表示のときは、照合元読み取り待ち状態を示します</p> <p>照合元データを読み取ると照合情報として「:s」をバーコードデータに付加して保存します</p> <p>※照合情報の記録順については「5.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください</p>
②	<p>読み取った照合先のバーコードデータを表示します タイトル文字「照合先」が反転表示のときは、照合先読み取り待ち状態を示します</p> <p>照合先データを読み取ると照合情報として「:y」(照合一致のとき)あるいは「:n」(照合不一致のとき)をバーコードデータに付加して保存します</p> <p>※照合情報の記録順については「5.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください</p>
③	<p>照合結果を表示します</p> <p>一致のとき: データ一致</p> <p>不一致のとき: ◆◆不一致◆◆</p>

項番	説明																												
④	<p>アイコンで1対N照合時における各種設定状態を画面最下行に表示します</p> <table> <tr> <th>アイコン</th><th>説明</th></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「本体のみ」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「無効」）</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「有効」）</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「本体と Bluetooth」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「HID モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「SPP モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>キーボードレイアウトが「日本語版」です</td></tr> <tr> <td></td><td>キーボードレイアウトが「英語版」です</td></tr> <tr> <td></td><td>HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります</td></tr> <tr> <td></td><td>1対N照合であることを示します</td></tr> <tr> <td></td><td>バーコードを読み取るときの文字エンコードが「UTF-8」です（非表示のときは「Shift-JIS」です）</td></tr> </table>	アイコン	説明		データ送信先が「本体のみ」です		データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「無効」）		データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「有効」）		データ送信先が「本体と Bluetooth」です		データ送信方法が「HID モード」です		データ送信方法が「SPP モード」です		データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です		データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です		キーボードレイアウトが「日本語版」です		キーボードレイアウトが「英語版」です		HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります		1対N照合であることを示します		バーコードを読み取るときの文字エンコードが「UTF-8」です（非表示のときは「Shift-JIS」です）
アイコン	説明																												
	データ送信先が「本体のみ」です																												
	データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「無効」）																												
	データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「有効」）																												
	データ送信先が「本体と Bluetooth」です																												
	データ送信方法が「HID モード」です																												
	データ送信方法が「SPP モード」です																												
	データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です																												
	データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です																												
	キーボードレイアウトが「日本語版」です																												
	キーボードレイアウトが「英語版」です																												
	HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります																												
	1対N照合であることを示します																												
	バーコードを読み取るときの文字エンコードが「UTF-8」です（非表示のときは「Shift-JIS」です）																												

(3) キー操作説明



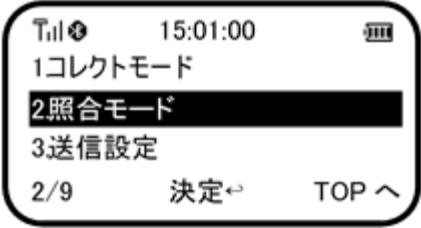

項番	説明
①	 <p>読み取り待ち状態を、「照合先」から「照合元」に変更します</p>
②	<p>照合モード設定画面を表示します</p>  <p>照合モード設定では次のことを行うことができます</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 照合方法 <ul style="list-style-type: none"> ・照合方法を、1対1、1対N、DB照合、ピッキング照合の何れかに切り替えることができます 2) 照合カラム設定 <ul style="list-style-type: none"> ・照合元および照合先の照合カラム(照合範囲)指定を行います
③	<p>バーコードを読み取ります(※オートスキャン(連続照射)／ハンズフリー時は除きます)</p> <p>「照合元」のバーコードを読み取ると、「照合先」バーコードの読み取り待ち状態になります</p> <p>「照合先」のバーコードを読み取ると、次に照合する「照合先」バーコードの読み取り待ち状態になります</p>
④	<p>押すごとに Bluetooth の ON／OFF を切り換えます</p>
⑤	<p>照合モードを終了しメインメニューに戻ります</p>
⑥	<p>保存データ一覧画面を表示します</p> 
⑦	<p>スキャン方法がオートスキャン(連続照射)のときは【リターン】キーを除き他のキー操作を受けつけませんが、本キーを押した状態で他のキーを押すことで希望する操作を行うことができます</p>

項番	説明
⑧	<p>現在設定している、照合カラムの内容を表示します</p> <div><div>Ttl件数: 100</div><div>照合元: 左: 1~0</div><div>照合先: 左: 1~0</div><div>hJSCANN</div></div>

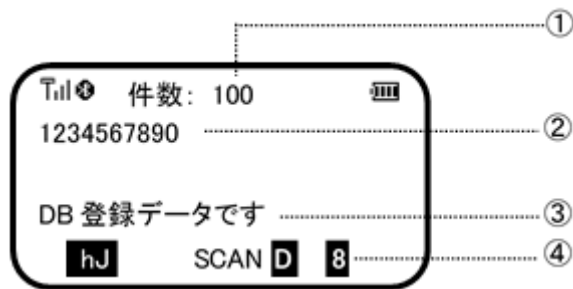
6.4 DB照合の操作

(1) 照合モードを開始する








































DB照合を開始するには、次のように行います（※事前に照合方法として「DB照合」に設定しておく必要があります。
設定方法については「6.1 照合モード設定」を参照してください）。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで「2. 照合モード」選択後 【SCAN】(決定)キーを押します	 The screenshot shows a handheld device screen with a menu. At the top, it displays signal strength, time (15:01:00), and battery level. The menu items are: 1. コレクトモード, 2. 照合モード (highlighted with a black bar), 3. 送信設定. At the bottom, it shows '2/9', a left arrow, '決定' (Determination), and 'TOP' with a right arrow.
2.	照合モード画面を表示します 照合方法が「DB照合」のときは、画面下部に 「D」のアイコンを表示します	 The screenshot shows the DB comparison mode screen. At the top, it displays signal strength, time, and battery level, along with '件数: 100' (Number of items: 100). At the bottom, there is a label 'hJ', the word 'SCAN', and a 'D' icon which is circled in red.

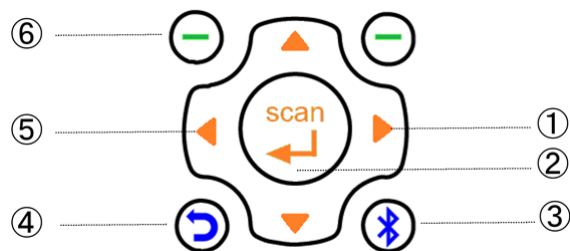
(2) 画面説明

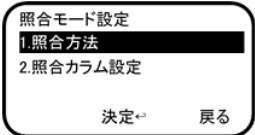
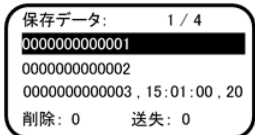


項番	説明
①	本体に保存しているデータ件数を表示します
②	<p>読み取ったバーコードデータを表示します</p> <p>バーコードを読み取ると照合情報として「:y」(照合一致のとき)あるいは「:n」(照合不一致のとき)をバーコードデータに付加して保存します</p> <p>※照合情報の記録順については「5.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください</p>
③	<p>照合結果を表示します</p> <p>一致のとき: 照合DBに登録されている内容を表示</p> <p>不一致のとき: ◆◆不一致◆◆</p>

項番	説明																												
④	<p>アイコンでDB照合時における各種設定状態を画面最下行に表示します</p> <table> <tr> <th>アイコン</th><th>説明</th></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「本体のみ」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「無効」）</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「有効」）</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「本体と Bluetooth」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「HID モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「SPP モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>キーボードレイアウトが「日本語版」です</td></tr> <tr> <td></td><td>キーボードレイアウトが「英語版」です</td></tr> <tr> <td></td><td>HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります</td></tr> <tr> <td></td><td>DB照合であることを示します</td></tr> <tr> <td></td><td>バーコードを読み取るときの文字エンコードが「UTF-8」です（非表示のときは「Shift-JIS」です）</td></tr> </table>	アイコン	説明		データ送信先が「本体のみ」です		データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「無効」）		データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「有効」）		データ送信先が「本体と Bluetooth」です		データ送信方法が「HID モード」です		データ送信方法が「SPP モード」です		データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です		データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です		キーボードレイアウトが「日本語版」です		キーボードレイアウトが「英語版」です		HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります		DB照合であることを示します		バーコードを読み取るときの文字エンコードが「UTF-8」です（非表示のときは「Shift-JIS」です）
アイコン	説明																												
	データ送信先が「本体のみ」です																												
	データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「無効」）																												
	データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「有効」）																												
	データ送信先が「本体と Bluetooth」です																												
	データ送信方法が「HID モード」です																												
	データ送信方法が「SPP モード」です																												
	データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です																												
	データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です																												
	キーボードレイアウトが「日本語版」です																												
	キーボードレイアウトが「英語版」です																												
	HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります																												
	DB照合であることを示します																												
	バーコードを読み取るときの文字エンコードが「UTF-8」です（非表示のときは「Shift-JIS」です）																												

(3) キー操作説明



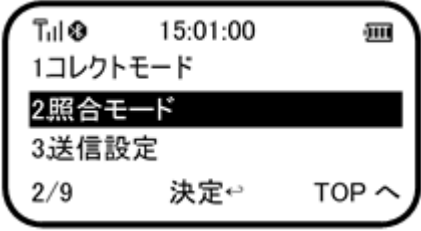
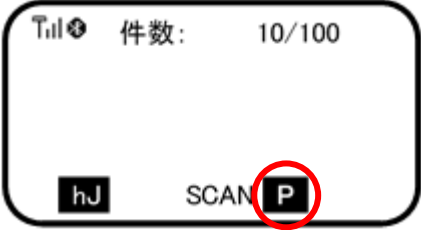
項番	説明
①	<p>照合モード設定画面を表示します</p>  <p>照合モード設定では次のことを行うことができます</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 照合方法 <ul style="list-style-type: none"> ・照合方法を、1対1、1対N、DB照合、ピッキング照合の何れかに切り替えることができます 2) 照合カラム設定 <ul style="list-style-type: none"> ・照合元および照合先の照合カラム(照合範囲)指定を行います
②	バーコードを読み取ります(※オートスキャン(連続照射)／ハンズフリー時は除きます)
③	押すごとに Bluetooth の ON／OFF を切り換えます
④	照合モードを終了しメインメニューに戻ります
⑤	<p>保存データー一覧画面を表示します</p> 
⑥	<p>スキャン方法がオートスキャン(連続照射)のときは【リターン】キーを除き他のキー操作を受けつけませんが、本キーを押した状態で他のキーを押すことで希望する操作を行うことができます</p>

6.5 ピッキング照合の操作

(1) 照合モードを開始する

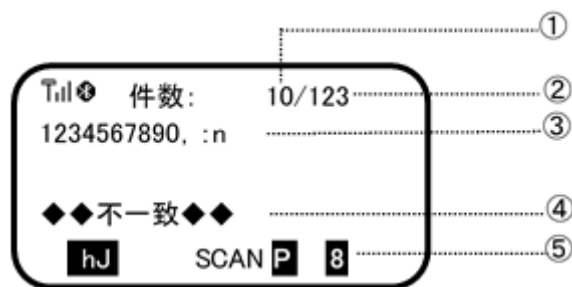
ピッキング照合を開始するには、次のように行います（※事前に照合方法として「ピッキング照合」に設定しておく必要があります）。

設定方法については「6.1 照合モード設定」を参照してください）。








































項番	説明	画面
1.	メインメニューで「2. 照合モード」選択後 【SCAN】(決定)キーを押します	 The screenshot shows a handheld device screen with a menu. At the top, it displays 'Til' with a signal icon, the time '15:01:00', and a battery icon. The menu items are '1コレクトモード', '2照合モード' (which is highlighted with a black bar), and '3送信設定'. At the bottom, it shows '2/9', '決定' with a left arrow, and 'TOP' with a right arrow.
2.	照合モード画面を表示します 照合方法が「ピッキング照合」のときは、画面下部に「P」のアイコンを表示します	 The screenshot shows the verification mode screen. It displays 'Til' with a signal icon and '件数: 10/100'. At the bottom, there are three icons: 'hJ', 'SCAN', and 'P'. The 'P' icon is circled in red.

項番	説明	画面
	<p>※注意 ピッキング照合が完了した状態でピッキング照合を開始しようとすると、全件照合済みメッセージを表示します</p> <p>・PC でピッキング照合用データを新規作成する 【左上】(はい)キーを押すと「USB ケーブルを接続してください」のメッセージを表示します 新しくピッキング照合を始めるには、USB ケーブルで PC に接続し MD100Manager でピッキング照合用データを作成してください</p> <p>※MD100Manager でピッキング照合用データを作成する方法については MD100Manager のマニュアルを参照してください</p> <p>・本体でピッキング照合用データを作成する 【右上】(いいえ)キーを押した後、本体でピッキング照合用データを作成してください</p> <p>※本体でピッキング照合用データを作成する方法については「<u>12 照合DB作成</u>」を参照してください</p> <p>・ピッキング照合用データを作成しない 【右上】(いいえ)キーを押すと、ピッキング照合が終了した状態で照合モード画面を表示します</p>	<p>全件照合済みです！ 新しくピッキング照合用データを PC で作成しますか？</p> <p>はい いいえ</p> <p>USB ケーブルを接続してください 戻る</p> <p>Til 件数: 100/100</p> <p>hJ SCAN P</p>

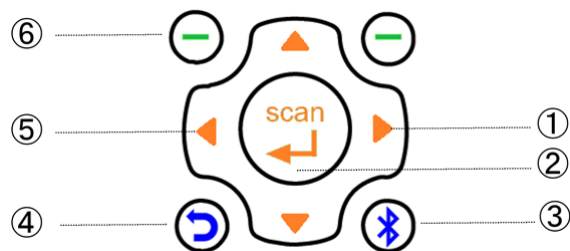
(2) 画面説明

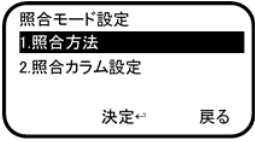
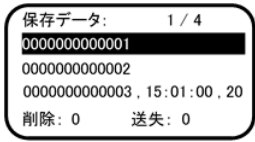


項番	説明
①	ピッキング照合が終了したデータ件数を表示します
②	ピッキング照合対象の件数を表示します
③	<p>読み取ったバーコードデータを表示します</p> <p>バーコードを読み取ると照合情報として「:y」(照合一致のとき)あるいは「:n」(照合不一致のとき)をバーコードデータに付加して保存します</p> <p>※照合情報の記録順については「5.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください</p>
④	<p>照合結果を表示します</p> <p>一致のとき(ピッキング未データ): 照合DBに登録されている内容を表示</p> <p>一致のとき(ピッキング済みデータ): 照合済みです！</p> <p>不一致のとき: ◆◆不一致◆◆</p>

項番	説明																												
⑤	<p>アイコンでピッキング照合時における各種設定状態を画面最下行に表示します</p> <table> <tr> <th>アイコン</th><th>説明</th></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「本体のみ」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「無効」）</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「有効」）</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信先が「本体と Bluetooth」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「HID モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「SPP モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です</td></tr> <tr> <td></td><td>キーボードレイアウトが「日本語版」です</td></tr> <tr> <td></td><td>キーボードレイアウトが「英語版」です</td></tr> <tr> <td></td><td>HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります</td></tr> <tr> <td></td><td>ピッキング照合であることを示します</td></tr> <tr> <td></td><td>バーコードを読み取る際の文字エンコードが「UTF-8」です（非表示のときは「Shift-JIS」です）</td></tr> </table>	アイコン	説明		データ送信先が「本体のみ」です		データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「無効」）		データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「有効」）		データ送信先が「本体と Bluetooth」です		データ送信方法が「HID モード」です		データ送信方法が「SPP モード」です		データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です		データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です		キーボードレイアウトが「日本語版」です		キーボードレイアウトが「英語版」です		HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります		ピッキング照合であることを示します		バーコードを読み取る際の文字エンコードが「UTF-8」です（非表示のときは「Shift-JIS」です）
アイコン	説明																												
	データ送信先が「本体のみ」です																												
	データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「無効」）																												
	データ送信先が「Bluetooth のみ」です（※送信失敗データ保存が「有効」）																												
	データ送信先が「本体と Bluetooth」です																												
	データ送信方法が「HID モード」です																												
	データ送信方法が「SPP モード」です																												
	データ送信方法が「専用 dongle HID モード」です																												
	データ送信方法が「専用 dongle SPP モード」です																												
	キーボードレイアウトが「日本語版」です																												
	キーボードレイアウトが「英語版」です																												
	HID モードで接続中です ※iOS 接続時【左上】キーを押すとソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります																												
	ピッキング照合であることを示します																												
	バーコードを読み取る際の文字エンコードが「UTF-8」です（非表示のときは「Shift-JIS」です）																												


(3) キー操作説明

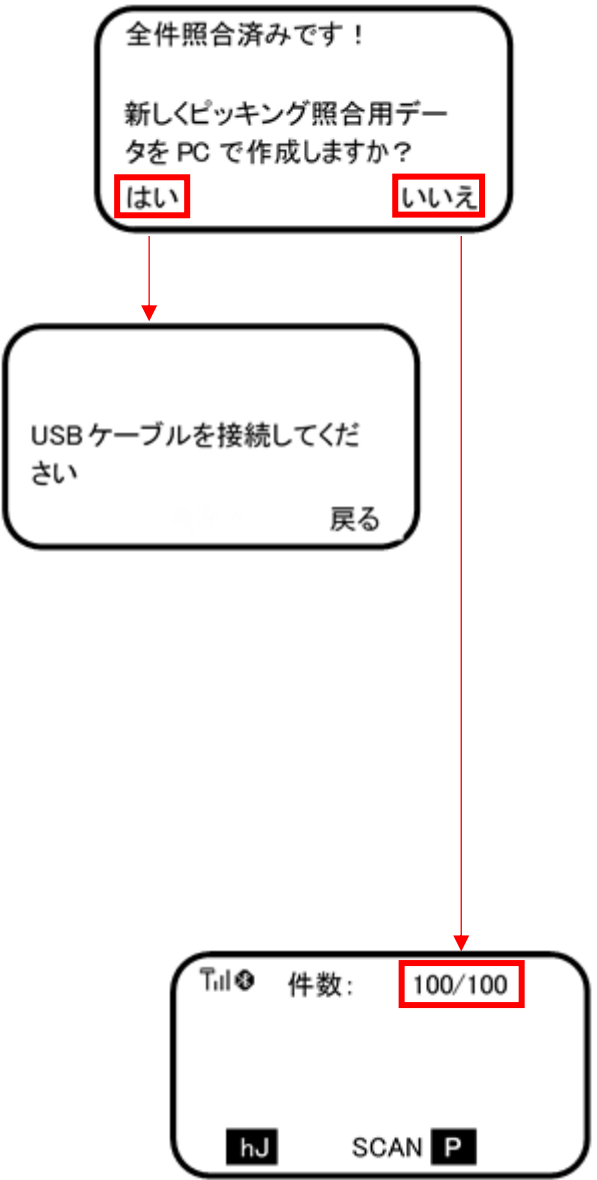


項番	説明
①	<p>照合モード設定画面を表示します</p>  <p>照合モード設定では次のことを行うことができます</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 照合方法 <ul style="list-style-type: none"> ・照合方法を、1対1、1対N、DB照合、ピッキング照合の何れかに切り替えることができます 2) 照合カラム設定 <ul style="list-style-type: none"> ・照合元および照合先の照合カラム(照合範囲)指定を行います
②	バーコードを読み取ります(※オートスキャン(連続照射)／ハンズフリー時は除きます)
③	押すごとに Bluetooth の ON／OFF を切り換えます
④	照合モードを終了しメインメニューに戻ります
⑤	<p>保存データ一覧画面を表示します</p> 
⑥	<p>スキャン方法がオートスキャン(連続照射)のときは【リターン】キーを除き他のキー操作を受けつけませんが、本キーを押した状態で他のキーを押すことで希望する操作を行うことができます</p>

(4) ピッキング照合の終了

すべてのピッキング照合を終了したときの操作は次の通りです。

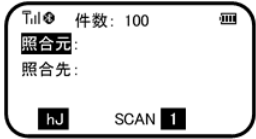

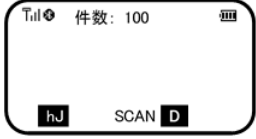


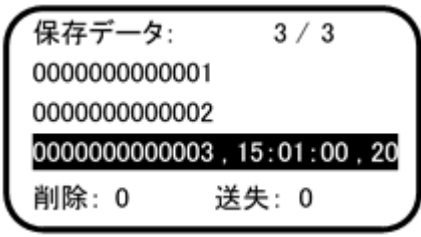
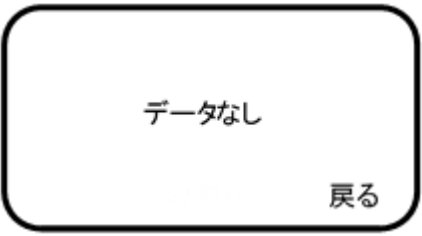
項番	説明	画面
1.	すべてのピッキング照合を終了すると、「全件照合しました！」のメッセージ表示後、全件照合済み画面を表示します	


<p>2.</p>	<p>・PCでピッキング照合用データを新規作成する 全件照合済み画面で、【左上】(はい)キーを押すと「USB ケーブルを接続してください」のメッセージを表示します 新しくピッキング照合を始めるには、USB ケーブルで PC に接続し MD100Manager でピッキング照合用データを作成してください</p> <p>※MD100Manager でピッキング照合用データを作成する方法については MD100Manager のマニュアルを参照してください</p> <p>・本体でピッキング照合用データを作成する 【右上】(いいえ)キーを押した後、本体でピッキング照合用データを作成してください</p> <p>※本体でピッキング照合用データを作成する方法については「<u>12 照合DB作成</u>」を参照してください</p> <p>・ピッキング照合用データを作成しない 【右上】(いいえ)キーを押すと、ピッキング照合が終了した状態で照合モード画面を表示します</p>	 <pre> graph TD A["全件照合済みです！ 新しくピッキング照合用データをPCで作成しますか？"] -- はい --> B["USBケーブルを接続してください 戻る"] A -- いいえ --> C["Til 件数: 100/100 hJ SCAN P"] </pre>
-----------	---	---

6.6 保存データ参照

6.6.1 保存データ一覧を表示する

保存データ一覧を表示するには、照合モード画面で次のように行います。

項番	説明	画面
1.	<p>照合モード画面で【←】キーを押すと、保存データ一覧画面を表示します</p> <p>※照合モード画面は設定中の照合モードにより異なります</p> <p>※次のメニュー操作でも保存データ一覧画面を表示することができます</p> <p>【4.ファイル操作】→【2.保存データ参照】</p>	<p>▼1対1照合のとき</p>  <p>▼1対N照合のとき</p>  <p>▼DB照合のとき</p>  <p>▼ピッキング照合のとき</p>  
2.	保存データ一覧画面を表示します	
3.	<p>※保存データが1件も存在しなかったときは「データなし」のメッセージを表示します</p> <p>【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、ひとつ前の画面に戻ります</p>	

項番	説明	画面
4.	保存データ一覧画面で【リターン】キーを押すと ひとつ前の画面に戻ります	 <p>The screenshot shows a screen with the title '保存データ: 3 / 3'. It lists three data entries: '00000000000001', '00000000000002', and '00000000000003, 15:01:00, 20'. At the bottom, it shows '削除: 0' and '送失: 0'. To the right of the screenshot is a diagram of a control pad with a central 'scan' button and four directional arrows. A red circle highlights the 'return' key (a blue circle with a white arrow) located below the pad.</p>

6.6.2 データの全体を表示する

操作方法については「[5.4.2 データの全体を表示する](#)」を参照してください。

7 送信設定

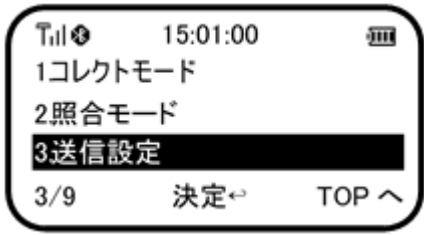
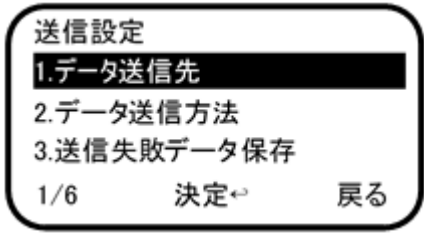
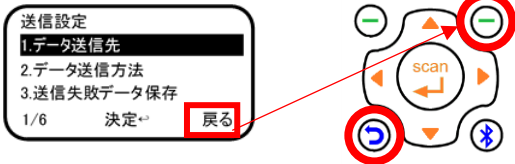
送信設定では、データ送信に関する次の設定を行うことができます。

項番	項目	説明
1.	データ送信先	<p>スキャンしたデータの送信先を設定します 送信先には次のものがあります</p> <p>(1) 本体のみ データを本体にのみ保存し Bluetooth 送信は行いません</p> <p>(2) Bluetooth のみ データを Bluetooth 送信のみ行い、本体への保存は行いません</p> <p>(3) 本体と Bluetooth データを本体に保存し且つ Bluetooth 送信も行います</p> <p>※操作方法については「7.2 データ送信先」を参照してください</p>
2.	データ送信方法	<p>スキャン時のデータ送信方法を設定します データ送信方法には次のものがあります</p> <p>(1) HID (2) SPP (3) 専用 dongle (HID) (4) 専用 dongle (SPP)</p> <p>※操作方法については「7.3 データ送信方法」を参照してください</p>
3.	送信失敗データ保存	<p>Bluetooth 送信に失敗データを本体に保存するかどうか(有効/無効)を設定します</p> <p>※操作方法については「7.4 送信失敗データ保存」を参照してください</p> <p>Bluetooth 送信に失敗したデータは、Bluetooth 接続後にまとめて送信することができます</p> <p>※操作方法については「9.4 保存データ送信」を参照してください</p>
4.	自動再接続	<p>Bluetooth の自動再接続を行うかどうか(有効/無効)を設定します</p> <p>※操作方法については「7.5 自動再接続」を参照してください</p>
5.	送信遅延	<p>送信遅延の時間を設定します 送信遅延項目には次のものがあります</p> <p>(1) 文字間 (2) コード間</p> <p>※操作方法については「7.6 送信遅延」を参照してください</p>

項番	項目	説明
6.	末端文字	<p>Bluetooth 送信時、データの末端に付加する文字を設定します 末端文字には次のものがあります</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 改行 (2) タブ (3) 空白 (4) なし(末端文字を付加しません) <p>※操作方法については「7.7 末端文字」を参照してください</p>

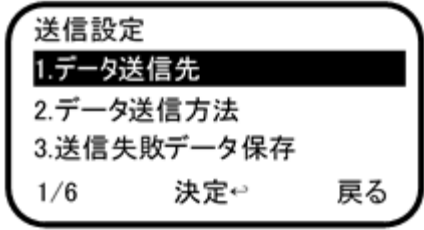


7.1 送信設定を開始する

送信設定を開始するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで「3. 送信設定」選択し、【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	送信設定画面を表示します	
3.	送信設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとメインメニューに戻ります	

7.2 データ送信先

スキャンしたデータの送信先（本体に保存／Bluetooth 送信）を設定するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	送信設定画面で「 1. データ送信先 」を選択後、【SCAN】（決定）キーを押し、データ送信先画面を表示します	
2.	<u>a) 本体のみに設定する</u> 「 1. 本体のみ 」を選択し、【SCAN】（決定）キーを押します	
3.	<u>b) Bluetooth のみに設定する</u> 「 2. Bluetooth のみ 」を選択し、【SCAN】（決定）キーを押します	
4.	<u>c) 本体と Bluetooth に設定する</u> 「 3. 本体と Bluetooth 」を選択し、【SCAN】（決定）キーを押します	

7.3 データ送信方法

Bluetooth 接続でデータ送信を行う方法を設定します。
データ送信には次の方法があります。

項番	方法 ※対象 OS	説明
1.	HID ※Win/Mac/iOS/Android	PC 内蔵等の Bluetooth モジュールを使用し HID キーボードとして接続します 専用アプリケーションを使用しなくても、送信先にキーボード入力としてデータを送信します ※設定方法については「 7.3.1 HID モード 」を参照してください ※漢字等の文字を含むバーコードは送信できません(文字化けして送信します)
2.	SPP ※Win	PC 内蔵等の Bluetooth モジュールを使用しシリアルポート通信として接続します シリアルポート通信アプリ(※)経由で、送信先にデータを送信します ※設定方法については「 7.3.2 SPP モード 」を参照してください ※漢字等の文字(Shift-JIS/UTF-8)を含んだバーコードの送信が可能です(本体と通信アプリで文字エンコードの設定が必要です)
3.	専用 dongle (HID) ※Win/Mac	別売の専用 Bluetooth モジュール(MD30BA)を使用し HID キーボードとして接続します 専用アプリケーションを使用しなくても、送信先にキーボード入力としてデータを送信します ※設定方法については「 7.3.3 専用 dongle モード 」を参照してください ※漢字等の文字を含むバーコードは送信できません(文字化けして送信します)
4.	専用 dongle (SPP) ※Win	別売の専用 Bluetooth モジュール(MD30BA)を使用しシリアルポート通信として接続します シリアルポート通信アプリ(※)経由で、送信先にデータを送信します ※設定方法については「 7.3.3 専用 dongle モード 」を参照してください ※漢字等の文字(Shift-JIS/UTF-8)を含んだバーコードの送信が可能です(本体と通信アプリで文字エンコードの設定が必要です)

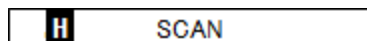
(※) Windows 用のシリアルポート通信アプリ(COM_Text)を製品添付 CD に同梱しています

7.3.1 HID モード

・送信方法を設定する(HID)

データ送信方法を「HID」にするには次のように行います。

※コレクトモードあるいは照合モードのスキャン画面の下部に以下のように「**H**」のアイコンが表示されているときは、すでに HID モードに設定されているため、以降の操作は必要ありません



項番	説明	画面
1.	送信設定画面で「2. データ送信方法」を選択後、【SCAN】(決定)キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
2.	データ送信方法画面で「1. HID」選択後【SCAN】(決定)キーを押し HID モードに設定します データ送信方法画面で「1. HID」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押すと、HID 設定画面を表示します	
3.	HID 設定画面では、送信オプションの設定を行うことができます ※送信オプションの設定については「 <u>・送信オプションの設定(HID)</u> 」を参照してください	
4.	データ送信方法画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと送信設定画面に戻ります	

・送信オプションの設定(HID)

「HID」送信オプションには次のものがあります。

- 1) キーボードレイアウト
- 2) 接続名変更
- 3) 送信失敗データ保存
- 4) 送信遅延(文字間)
- 5) 送信遅延(コード間)

HID 設定画面における各種送信オプションの設定方法を以降に記載します。

(1) キーボードレイアウト

キーボードレイアウトを設定するには次のように行います。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「1. HID」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押し、HID 設定画面を表示します	
2.	HID 設定画面で「1. キーボードレイアウト」を選択し【SCAN】(設定)キーを押します	
3.	a) <u>日本語版にする</u> 「1. 日本語版」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
	「日本語版」に設定すると、スキャン画面の下部に「J」のアイコンを表示します	
4.	b) <u>英語版にする</u> 「2. 英語版」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
	「英語版」に設定すると、スキャン画面の下部に「U」のアイコンを表示します	

(2) 接続名変更

Bluetooth 接続名を変更するには次のように行います。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「1. HID」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押し、HID 設定画面を表示します	
2.	HID 設定画面で「2. 接続名変更」を選択し【SCAN】(設定)キーを押します	
3.	接続名変更確認画面を表示します 【左上】(はい)キーを押すと、接続名入力画面を表示します 【右上】(いいえ)キーを押すと、HID 設定画面に戻ります	
4.	接続名入力画面を表示します	
5.	接続名入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字あるいは文字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します ※入力可能最大文字数は <u>10</u> です	

項番	説明	画面
6.	<p>a) 入力データを確定する</p> <p>接続名入力画面で【左上】(確定)キーを押します</p>	
7.	<p>再起動要求画面を表示します</p> <p>接続名変更を確定するために再起動を行ってください</p> <p>※再起動要求画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとHID設定画面に戻り、その他のオプション設定を行うことができますが、それらの設定終了後は必ず本体を再起動し接続名変更を確定してください</p>	
8.	<p>b) 最後に入力した文字を取り消す</p> <p>接続名入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に入力した文字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すと接続名入力を中止しHID設定画面に戻ります</p>	

(3) 送信失敗データ保存

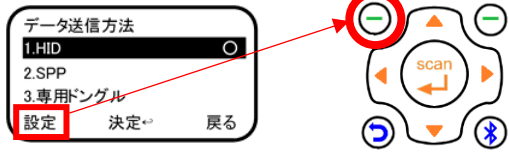
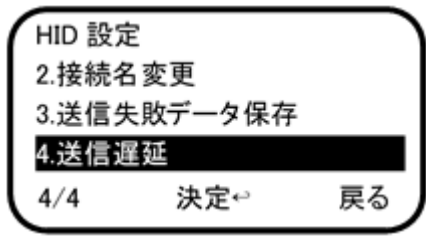
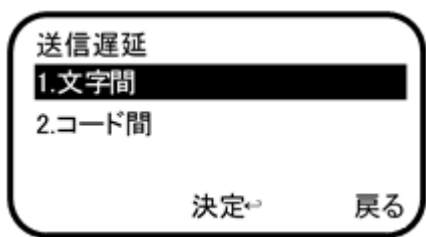
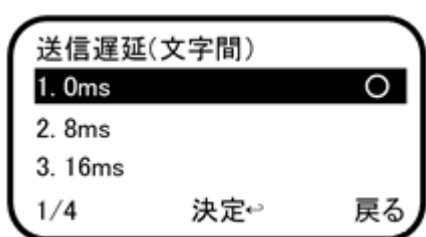
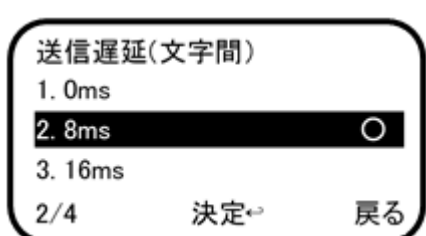
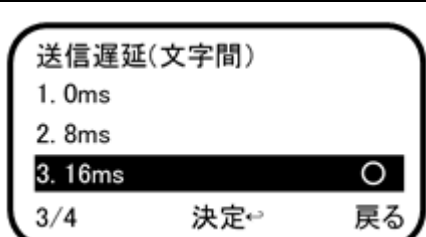
データ送信先が「Bluetooth のみ」のとき、Bluetooth 送信に失敗したデータの本体保存有無について設定するには次のように行います。

なお本体に保存したデータは Bluetooth 接続後に一括して送信することができます。
※保存データの送信については「9.4 保存データ送信」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「1. HID」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押し、HID 設定画面を表示します	
2.	HID 設定画面で「3. 切断時蓄積」を選択し【SCAN】(設定)キーを押します	
3.	<u>a) 無効にする</u> 「1. 無効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	<u>b) 有効にする</u> 「2. 有効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します 送信先が「Bluetooth のみ」のとき、送信失敗データ保存を「有効」に設定すると、コレクトモードあるいは照合モードのスキャン画面下部にある Bluetooth アイコンの上に横棒(ー)を付加します	

(5) 送信遅延（文字間）

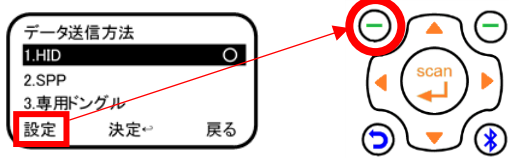
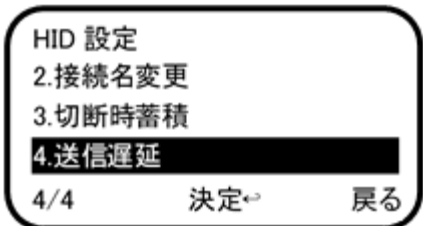
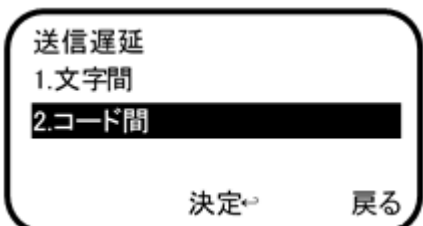


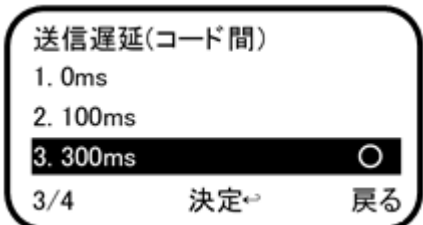
文字間における送信遅延を設定するには次のように行います。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「 1. HID 」を選択（反転）した状態で【左上】（設定）キーを押し、HID 設定画面を表示します	
2.	HID 設定画面で「 4. 送信遅延 」を選択後【SCAN】（設定）キーを押し、送信遅延画面を表示します	
3.	送信遅延画面で「 1. 文字間 」を選択後【SCAN】（設定）キーを押し送信遅延（文字間）画面を表示します	
4.	<u>a) 0ms にする</u> 「 1. 0ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
5.	<u>b) 8ms にする</u> 「 2. 8ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
6.	<u>c) 16ms にする</u> 「 3. 16ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	

項番	説明	画面
7.	<p>d) カスタム値にする</p> <p>「4. カスタム」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
8.	カスタム値入力画面を表示します	
9.	<p>カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します</p> <p>※指定可能なカスタム値は <u>0～99ms</u> です</p>	
10.	<p>e) カスタム値を確定する</p> <p>カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延(文字間)画面に戻ります</p>	
11.	<p>f) 最後に入力した数字を取り消す</p> <p>カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延(文字間)画面に戻ります</p>	

(6) 送信遅延（コード間）

コード間における送信遅延を設定するには次のように行います。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「 1. HID 」を選択（反転）した状態で【左上】（設定）キーを押し、HID 設定画面を表示します	
2.	HID 設定画面で「 4. 送信遅延 」を選択後【SCAN】（設定）キーを押し、送信遅延画面を表示します	
3.	送信遅延画面で「 2. コード間 」を選択後【SCAN】（設定）キーを押し送信遅延（コード間）画面を表示します	
4.	<u>a) 0ms にする</u> 「 1. 0ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
5.	<u>b) 100ms にする</u> 「 2. 100ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
6.	<u>c) 300ms にする</u> 「 3. 300ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	

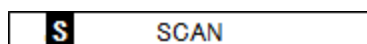
項番	説明	画面
7.	<p>d) カスタム値にする</p> <p>「4. カスタム」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
8.	カスタム値入力画面を表示します	
9.	<p>カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します</p> <p>※指定可能なカスタム値は <u>0～9999ms</u> です</p>	
10.	<p>e) カスタム値を確定する</p> <p>カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延(コード間)画面に戻ります</p>	
11.	<p>f) 最後に入力した数字を取り消す</p> <p>カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延(コード間)画面に戻ります</p>	

7.3.2 SPP モード

・送信方法を設定する(SPP)

データ送信方法を「SPP」にするには次のように行います。

※コレクトモードあるいは照合モードのスキャン画面の下部に以下のように「**S**」のアイコンが表示されているときは、すでに SPP モードに設定されているため、以降の操作は必要ありません



項番	説明	画面
1.	送信設定画面で「2. データ送信方法」を選択後、【SCAN】(決定)キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
2.	データ送信方法画面で「2. SPP」選択後【SCAN】(決定)キーを押し SPP モードに設定します データ送信方法画面で「2. SPP」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押すと、SPP 設定画面を表示します	
3.	SPP 設定画面では、送信オプションの設定を行います) ※送信オプションの設定については「 <u>・送信オプションの設定(SPP)</u> 」を参照してください	
4.	データ送信方法画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと送信設定画面に戻ります	

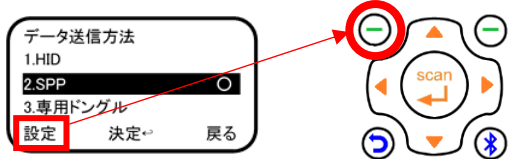
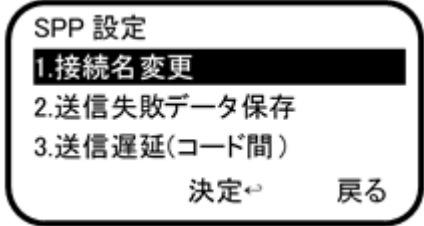
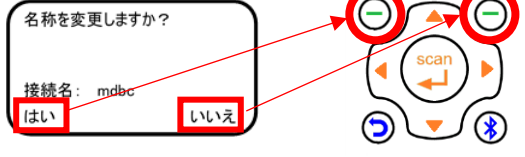

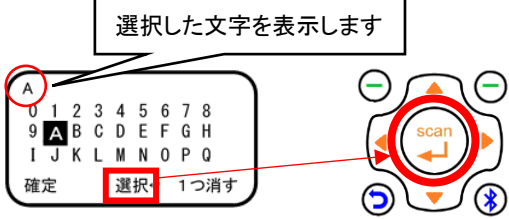
・送信オプションの設定(SPP)

「SPP」送信オプションには次のものがあります。

- 1) 接続名変更
- 2) 送信失敗データ保存
- 3) 送信遅延(コード間)

(1) 接続名変更

Bluetooth 接続名を変更するには次のように行います。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「2. SPP」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押し、SPP 設定画面を表示します	
2.	SPP 設定画面で「1. 接続名変更」を選択し【SCAN】(設定)キーを押します	
3.	接続名変更確認画面を表示します 【左上】(はい)キーを押すと、接続名入力画面を表示します 【右上】(いいえ)キーを押すと、SPP 設定画面に戻ります	
4.	接続名入力画面を表示します	
5.	接続名入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字あるいは文字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します ※入力可能最大文字数は 10 です	

項番	説明	画面
6.	<p>a) 入力データを確定する</p> <p>接続名入力画面で【左上】(確定)キーを押します</p>	
7.	<p>再起動要求画面を表示します</p> <p>接続名変更を確定するために再起動を行ってください</p> <p>※再起動要求画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとSPP設定画面に戻り、その他のオプション設定を行うことができますが、それらの設定終了後は必ず本体を再起動し接続名変更を確定してください</p>	
8.	<p>b) 最後に入力した文字を取り消す</p> <p>接続名入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に入力した文字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すと接続名入力を中止しSPP設定画面に戻ります</p>	

(2) 送信失敗データ保存

データ送信先が「Bluetooth のみ」のとき、Bluetooth 送信に失敗したデータの本体への保存有無を設定するには次のように行います。

なお本体に保存したデータは Bluetooth 接続後に一括して送信することができます。
※保存データの送信については「9.4 保存データ送信」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「2. SPP」を選択（反転）した状態で【左上】（設定）キーを押し、SPP 設定画面を表示します	
2.	SPP 設定画面で「2. 送信失敗データ保存」を選択し【SCAN】（設定）キーを押します	
3.	a) <u>無効にする</u> 「1. 無効」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
4.	b) <u>有効にする</u> 「2. 有効」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します 送信先が「Bluetooth のみ」のとき、送信失敗データ保存を「有効」に設定すると、コレクトモードあるいは照合モードのスキャン画面下部にある Bluetooth アイコンの上に横棒(ー)を付加します	

(3) 送信遅延（コード間）

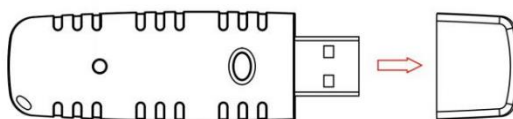
コード間における送信遅延を設定するには次のように行います。

項番	説明	画面
1.	データ送信方法画面で「 2. SPP 」を選択（反転）した状態で【左上】（設定）キーを押し、SPP 設定画面を表示します	
2.	SPP 設定画面で「 3. 送信遅延(コード間) 」を選択後【SCAN】（設定）キーを押し、送信遅延（コード間）画面を表示します	
3.	<u>a) 0ms にする</u> 「 1. 0ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
4.	<u>b) 100ms にする</u> 「 2. 100ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
5.	<u>c) 300ms にする</u> 「 3. 300ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	

項番	説明	画面
6.	<p>d) カスタム値にする</p> <p>「4. カスタム」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
7.	カスタム値入力画面を表示します	
8.	<p>カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します</p> <p>※指定可能なカスタム値は <u>0～9999ms</u> です</p>	
9.	<p>e) カスタム値を確定する</p> <p>カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延(コード間)画面に戻ります</p>	
10.	<p>f) 最後に入力した数字を取り消す</p> <p>カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延(コード間)画面に戻ります</p>	

7.3.3 専用ドングルモード

ここでは専用ドングル(MD30BA)使用時のモード設定について記載します。

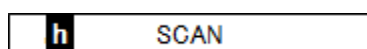


専用ドングル(MD30BA)

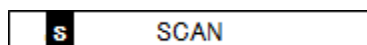
(1) 送信方法を専用ドングルに設定する

データ送信方法を「専用ドングル」にするには次のように行います。

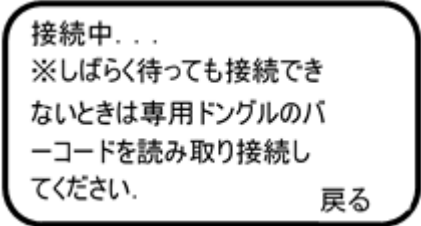
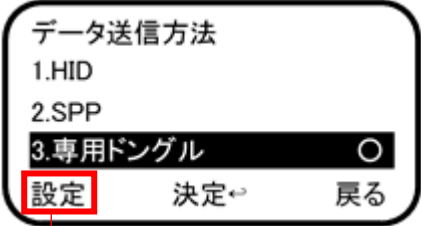
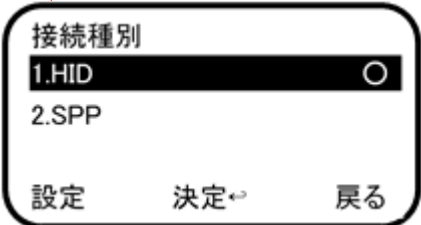
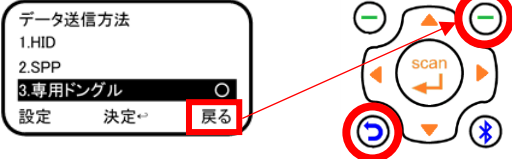
※コレクトモードあるいは照合モードのスキャン画面の下部に以下のように「**h**」または「**s**」(小文字の「s」)のアイコンが表示されているときは、すでに専用ドングルモードに設定されているため、以降の操作は必要ありません



または

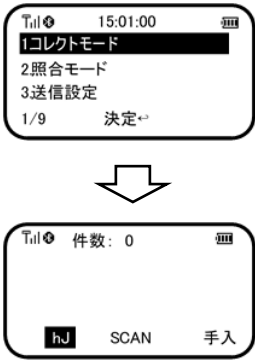

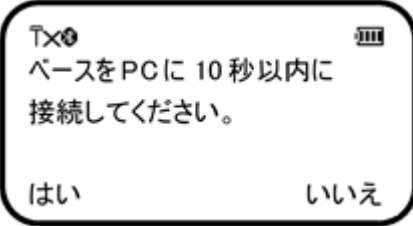



項番	説明	画面
1.	送信設定画面で「 2. データ送信方法 」を選択後、【SCAN】(決定)キーを押し、データ送信方法画面を表示します	<div> 送信設定 1.データ送信先 2.データ送信方法 3.送信失敗データ保存 2/6 決定↵ 戻る </div>
2.	データ送信方法画面で「 3. 専用ドングル 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し専用ドングルモードに設定します	<div> データ送信方法 1.HID 2.SPP 3.専用ドングル 決定↵ 戻る </div>
3.	<p>・<u>自動再接続が「無効」</u>のとき</p> <p>※自動再接続については「<u>7.5 自動再接続</u>」を参照してください</p> <p>この時点では専用ドングルに接続していません 接続するには、自動再接続を「有効」にするか、手動で接続する必要があります</p> <p>※手動で接続する方法については「<u>(2)専用ドングルに手動で接続する</u>」を参照してください</p>	<div> データ送信方法 1.HID 2.SPP 3.専用ドングル ○ 決定↵ 戻る </div>

項番	説明	画面
4.	<p>・<u>自動再接続が「有効」</u>のとき</p> <p>接続中を示す画面を表示します</p> <p>専用 dongle を PC に接続しているのに接続中を示す画面が消えないときは、手動で接続する必要があります</p> <p>※手動で接続する方法については「<u>(2)専用 dongle に手動で接続する</u>」を参照してください</p>	
5.	<p>専用 dongle に接続すると、データ送信方法画面に戻ります</p> <p>※専用 dongle に接続すると、【左上】(設定)キーが使用できるようになります</p> <p>データ送信方法画面で「3. 専用 dongle」を選択(反転)した状態で【左上】(設定)キーを押すと、接続種別(HID/SPP)の設定画面を表示します</p>	
6.	<p>接続種別(HID/SPP)の設定画面では、HID/SPP の切り替えや、送信オプションの設定を行うことができます</p> <p>※HID/SPP の切り替えについては「<u>(3)接続種別を変更(HID→SPP)する</u>」または「<u>(4)接続種別を変更(SPP→HID)する</u>」を参照してください</p> <p>※送信オプションの設定については「<u>7.3.4 専用 dongle (HID) の送信オプション設定</u>」または「<u>7.3.5 専用 dongle (SPP) の送信オプション設定</u>」を参照してください</p>	
7.	<p>データ送信方法画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと送信設定画面に戻ります</p>	

(2) 専用ドングルに手動で接続する

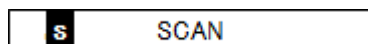
専用ドングルに手動で接続するには次のように行います。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで「 1. コレクトモード 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、スキャン画面を表示します	
2.	スキャン画面で、専用ドングル裏面のバーコードを読み取ります	 <p>@1116668888B9@</p> <p>裏面のバーコード(サンプル)</p>
3.	裏面のバーコードの読み取りが成功すると、PCのUSBポートに専用ドングル接続を促す画面を表示します 10 秒以内に専用ドングルを PC に接続してください	
4.	接続が成功するとスキャン画面の下部に「 h 」または「 s 」(小文字の「s」)のアイコンを表示します	

(3) 接続種別を変更（HID→SPP）する

データ送信方法を「SPP」にするには次のように行います。

※コレクトモードあるいは照合モードのスキャン画面の下部に以下のように「**s**」（小文字の「s」）のアイコンが表示されているときは、すでに専用 dongle SPP モードに設定されているため、以降の操作は必要ありません



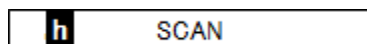
なお専用 dongle の接続種別変更は、専用 dongle に接続した状態でなければ行えません。
※専用 dongle に接続する方法については「(1)送信方法を専用 dongle に設定する」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	送信設定画面で「 2. データ送信方法 」を選択後、【SCAN】（決定）キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
2.	データ送信方法画面で「 3. 専用 dongle 」を選択（反転）した状態で、【左上】（設定）キーを押し、接続種別画面を表示します ※専用 dongle に接続した状態でないと、【左上】（設定）キーを押すことはできません（「設定」の文字は表示されません）	
3.	接続種別画面で「 2. SPP 」選択後【SCAN】（決定）キーを押し SPP モードに設定します	
4.	接続種別画面で【右上】（戻る）キーあるいは【リターン】キーを押すとデータ送信方法画面に戻ります	
5.	SPP モードに設定すると、コレクトモードあるいは照合モードのスキャン画面の下部に「 s 」（小文字の「s」）のアイコンを表示します	

(4) 接続種別を変更 (SPP→HID) する

データ送信方法を「HID」にするには次のように行います。

※コレクトモードあるいは照合モードのスキャン画面の下部に以下のように「h」のアイコンが表示されているときは、すでに専用ドングル HID モードに設定されているため、以降の操作は必要ありません



なお専用ドングルの接続種別変更は、専用ドングルに接続した状態でなければ行えません。
※専用ドングルに接続する方法については「(1)送信方法を専用ドングルに設定する」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	送信設定画面で「2. データ送信方法」を選択後、【SCAN】(決定)キーを押し、データ送信方法画面を表示します	
2.	データ送信方法画面で「3. 専用ドングル」を選択 (反転)した状態で、【左上】(設定)キーを押し、接続種別画面を表示します ※専用ドングルに接続した状態でないと、【左上】(設定)キーを押すことはできません(「設定」の文字は表示されません)	
3.	接続種別画面で「1. HID」選択後【SCAN】(決定)キーを押し HID モードに設定します	
4.	接続種別画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとデータ送信方法画面に戻ります	
5.	HID モードに設定すると、コレクトモードあるいは照合モードのスキャン画面の下部に「h」のアイコンを表示します	

7.3.4 専用 dongle (HID) の送信オプション設定

「専用 dongle (HID)」送信オプションには次のものがあります。

- 1) キーボードレイアウト
- 2) 送信ポートの速度
- 3) ALT+テンキー
- 4) 送信失敗データの保存
- 5) 送信遅延(コード間)

(1) 送信オプション設定を開始する

専用 dongle (HID) の送信オプション設定を開始するには次のように行います。

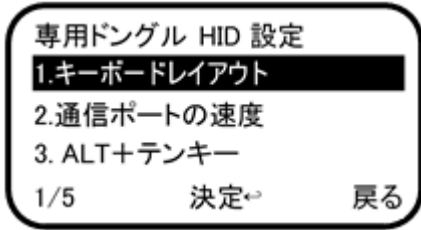
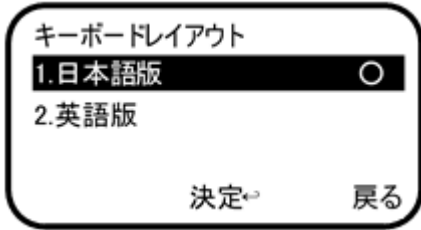
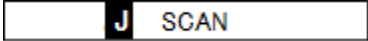
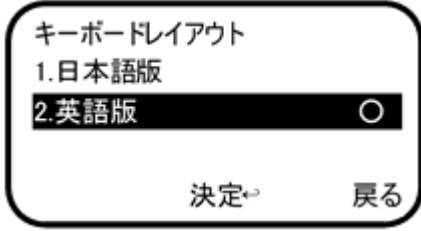
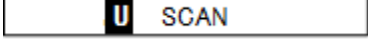
なお専用 dongle (HID) の送信オプション設定は、専用 dongle (HID) に接続した状態でなければ行えません。

※専用 dongle (HID) に接続した状態にするには「(4) 接続種別を変更 (SPP→HID) する」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	<p>ここでは専用 dongle (HID) で接続した状態であることを前提に説明します</p> <p>送信設定画面で「2. データ送信方法」を選択後、【SCAN】(決定) キーを押し、データ送信方法画面を表示します</p>	
2.	<p>データ送信方法画面で「3. 専用 dongle」を選択 (反転) した状態で、【左上】(設定) キーを押し、接続種別画面を表示します</p> <p>※専用 dongle に接続した状態でないと、【左上】(設定) キーを押すことはできません (「設定」の文字は表示されません)</p>	
3.	<p>接続種別画面で「1. HID」を選択 (反転) した状態で【左上】(設定) キーを押すと、専用 dongle HID 設定画面を表示します (送信オプションの設定を開始することができます)</p> <p>※HID 接続した状態でないと、【左上】(設定) キーを押すことはできません (「設定」の文字は表示されません)</p>	

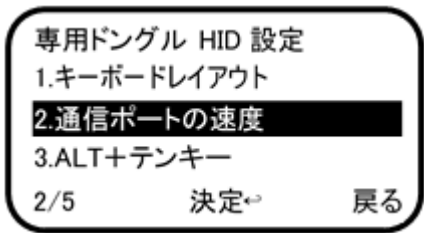
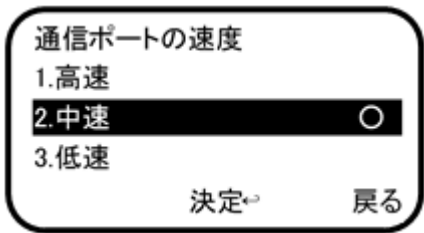
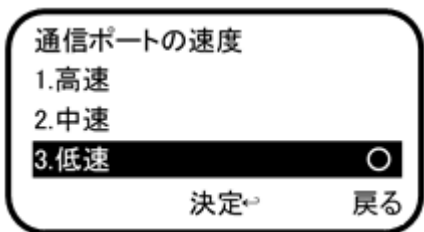
(2) キーボードレイアウト

キーボードレイアウトを設定するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	<p>専用 dongle HID 設定画面で「1. キーボードレイアウト」を選択し【SCAN】(設定)キーを押します</p> <p>※専用 dongle HID 設定画面を表示する方法は「(1)送信オプション設定を開始する」を参照してください</p>	
2.	<p>a) 日本語版にする</p> <p>「1. 日本語版」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>「日本語版」に設定すると、コレクトモードあるいは照合モードのスキャン画面の下部に「J」のアイコンを表示します</p>	 
3.	<p>b) 英語版にする</p> <p>「2. 英語版」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>「英語版」に設定すると、コレクトモードあるいは照合モードのスキャン画面の下部に「U」のアイコンを表示します</p>	 

(3) 通信ポートの速度

通信ポートの速度を設定するには、次のように行います。

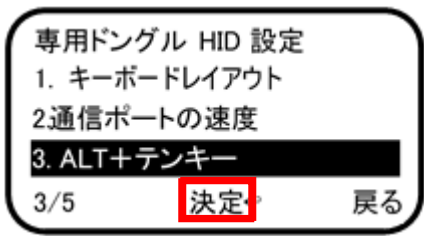
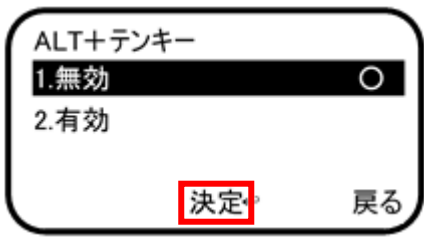
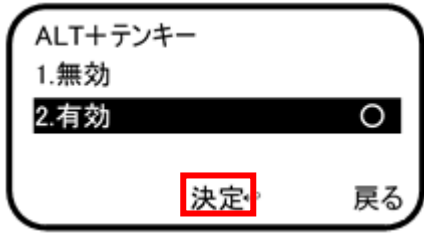
項番	説明	画面
1.	<p>専用 dongle HID 設定画面で「2. 通信ポートの速度」を選択後【SCAN】(設定)キーを押し、通信ポートの速度画面を表示します</p> <p>※専用 dongle HID 設定画面を表示する方法は「(1)送信オプション設定を開始する」を参照してください。</p>	
2.	<p>a) 高速にする</p> <p>「1. 高速」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p>b) 中速にする</p> <p>「2. 中速」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	<p>c) 低速にする</p> <p>「3. 低速」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	

(4) ALT+テンキー

本機能は Windows パソコンのみ有効です（パソコン側の固有の原因により動作しない場合があります）。

ALT+テンキーとは Windows がサポートするキーボードからの文字入力方法です。キーボードの ALT キーを押しながら入力したい文字コード（10 進数）をテンキー（キーボード右側の数字キー）から押し、ALT キーを離すと文字を入力できます。例えば、ALT キーを押しながらテンキーの 48 を押し ALT キーを離すと半角数字の「0」を入力できます。

ALT+テンキーを「有効」にすると IME が日本語入力の状態でも、例えばバーコードデータ ABC を全角のABC と入力することなく半角の ABC と入力できます。

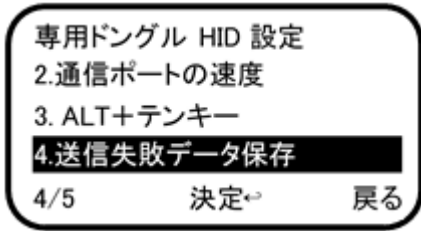
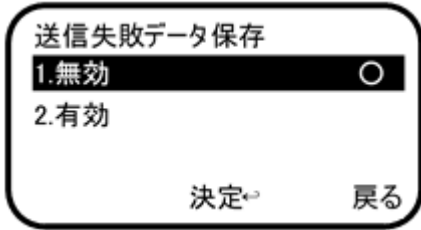
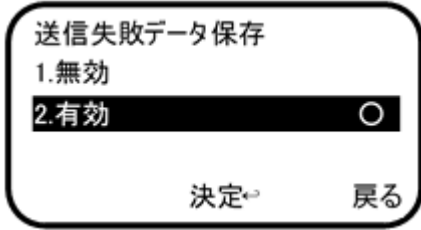
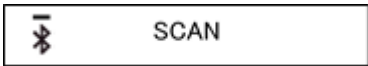
項番	説明	画面
1.	<p>専用 dongle HID 設定画面で「3. ALT+テンキー」を選択し【SCAN】（設定）キーを押し、ALT+テンキー画面を表示します</p> <p>※専用 dongle HID 設定画面を表示する方法は「(1)送信オプション設定を開始する」を参照してください。</p>	
2.	<p>a) <u>無効にする</u></p> <p>「1. 無効」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します</p>	
3.	<p>b) <u>有効にする</u></p> <p>「2. 有効」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します</p>	

(5) 送信失敗データ保存

データ送信先が「Bluetooth のみ」のとき、Bluetooth 送信に失敗したデータの本体への保存有無を設定するには次のように行います。

なお本体に保存したデータは Bluetooth 接続後に一括して送信することができます。

※保存データの送信については「9.4 保存データ送信」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	<p>専用 dongle HID 設定画面で「3. 送信失敗データ保存」を選択し【SCAN】(設定)キーを押し、送信失敗データ保存画面を表示します</p> <p>※専用 dongle HID 設定画面を表示する方法は「(1)送信オプション設定を開始する」を参照してください。</p>	
2.	<p>a) 無効にする</p> <p>「1. 無効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p>b) 有効にする</p> <p>「2. 有効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>送信先が「Bluetooth のみ」のとき、送信失敗データ保存を「有効」に設定すると、コレクトモードあるいは照合モードのスキャン画面下部にある Bluetooth アイコンの上に横棒(―)を付加します</p>	 

(6) 送信遅延（コード間）

コード間における送信遅延を設定するには次のように行います。

項番	説明	画面
1.	専用 dongle HID 設定画面で「 4. 送信遅延（コード間） 」を選択後【SCAN】（設定）キーを押し、送信遅延（コード間）画面を表示します ※専用 dongle HID 設定画面を表示する方法は「 (1)送信オプション設定を開始する 」を参照してください。	
2.	a) 0ms にする 「 1. 0ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
3.	b) 100ms にする 「 2. 100ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
4.	c) 300ms にする 「 3. 300ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
5.	d) カスタム値にする 「 4. カスタム 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
6.	カスタム値入力画面を表示します	

項番	説明	画面
7.	<p>カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します</p> <p>※指定可能なカスタム値は <u>0～9999ms</u> です</p>	
8.	<p>e) カスタム値を確定する</p> <p>カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延(コード間)画面に戻ります</p>	
9.	<p>f) 最後に入力した数字を取り消す</p> <p>カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延(コード間)画面に戻ります</p>	

7.3.5 専用 dongle (SPP) の送信オプション設定

「専用 dongle (SPP)」送信オプションには次のものがあります。

- 1) 送信失敗データ保存
- 2) 送信遅延 (コード間)

(1) 送信オプション設定を開始する

専用 dongle (SPP) の送信オプション設定を開始するには、次のように行います。

なお専用 dongle (SPP) の送信オプション設定は、専用 dongle (SPP) に接続した状態でなければ行えません。

※専用 dongle (SPP) に接続した状態にするには「(3) 接続種別を変更 (HID→SPP) する」を参照してください。

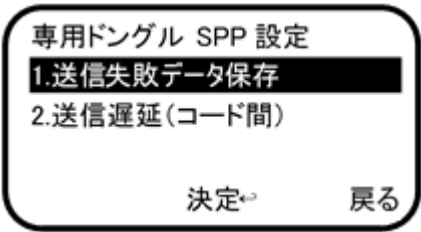
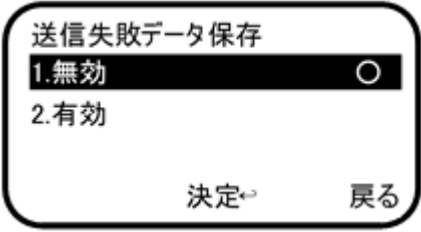
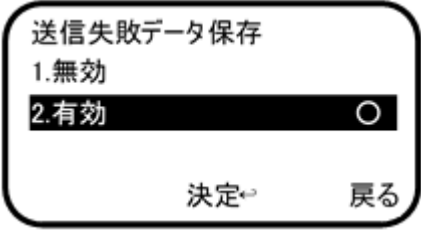
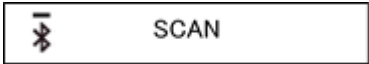
項番	説明	画面
1.	<p>ここでは専用 dongle (SPP) で接続した状態であることを前提に説明します</p> <p>送信設定画面で「2. データ送信方法」を選択後、【SCAN】(決定) キーを押し、データ送信方法画面を表示します</p>	
2.	<p>データ送信方法画面で「3. 専用 dongle」を選択 (反転) した状態で、【左上】(設定) キーを押し、接続種別画面を表示します</p> <p>※専用 dongle に接続した状態でないと、【左上】(設定) キーを押すことはできません (「設定」の文字は表示されません)</p>	
3.	<p>接続種別画面で「1. SPP」を選択 (反転) した状態で【左上】(設定) キーを押すと、専用 dongle SPP 設定画面を表示します (送信オプションの設定を開始することができます)</p> <p>※SPP 接続した状態でないと、【左上】(設定) キーを押すことはできません (「設定」の文字は表示されません)</p>	

(2) 送信失敗データ保存

データ送信先が「Bluetooth のみ」のとき、Bluetooth 送信に失敗したデータの本体への保存有無を設定するには次のように行います。

なお本体に保存したデータは Bluetooth 接続後に一括して送信することができます。

※保存データの送信については「9.4 保存データ送信」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	<p>専用 dongle SPP 設定画面で「1. 送信失敗データ保存」を選択し【SCAN】(設定)キーを押し、送信失敗データ保存画面を表示します</p> <p>※専用 dongle SPP 設定画面を表示する方法は「(1)送信オプション設定を開始する」を参照してください</p>	
2.	<p>a) 無効にする</p> <p>「1. 無効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p>b) 有効にする</p> <p>「2. 有効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>送信先が「Bluetooth のみ」のとき、送信失敗データ保存を「有効」に設定すると、コレクトモードあるいは照合モードのスキャン画面下部にある Bluetooth アイコンの上に横棒(一)を付加します</p>	 

(3) 送信遅延（コード間）

コード間における送信遅延を設定するには次のように行います。

項番	説明	画面
1.	専用ドングル SPP 設定画面で「 2. 送信遅延（コード間） 」を選択し【SCAN】（設定）キーを押し、送信遅延（コード間）画面を表示します ※専用ドングル SPP 設定画面を表示する方法は「 <u>(1)送信オプション設定を開始する</u> 」を参照してください	
2.	<u>a) 0ms にする</u> 「 1. 0ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
3.	<u>b) 100ms にする</u> 「 2. 100ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
4.	<u>c) 300ms にする</u> 「 3. 300ms 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
5.	<u>d) カスタム値にする</u> 「 4. カスタム 」を選択し【SCAN】（決定）キーを押します	
6.	カスタム値入力画面を表示します	

項番	説明	画面
7.	<p>カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します</p> <p>※指定可能なカスタム値は <u>0～9999ms</u> です</p>	
8.	<p>e) カスタム値を確定する</p> <p>カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延(コード間)画面に戻ります</p>	
9.	<p>f) 最後に入力した数字を取り消す</p> <p>カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延(コード間)画面に戻ります</p>	

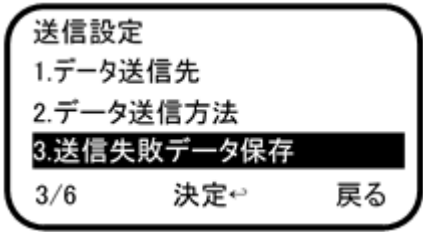
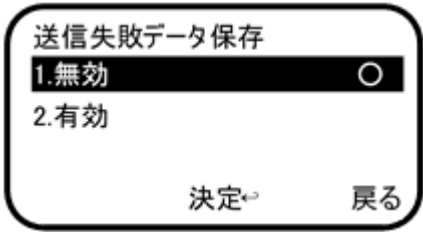
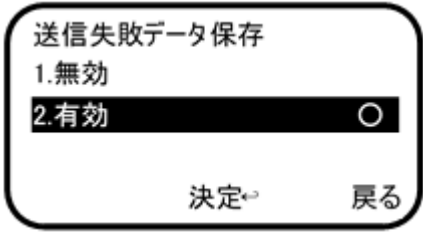
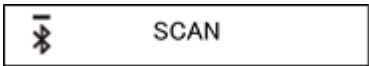
7.4 送信失敗データ保存

スキャンしたデータの送信先を設定するには次のように行います。

データ送信先が「Bluetooth のみ」のとき、Bluetooth 送信に失敗したデータの本体への保存有無を設定するには次のように行います。

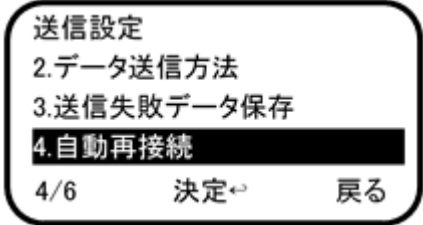
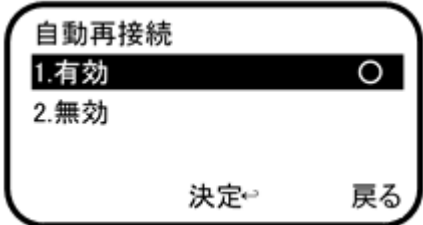
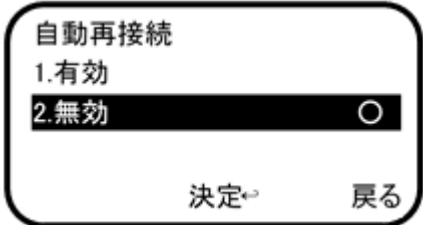
なお本体に保存したデータは Bluetooth 接続後に一括して送信することができます。

※保存データの送信については「9.4 保存データ送信」を参照してください。

項番	説明	画面
1.	送信設定画面で「3. 送信失敗データ保存」を選択後【SCAN】(決定)キーを押し、送信失敗データ保存画面を表示します	
2.	a) <u>無効にする</u> 「1. 無効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	b) <u>有効にする</u> 「2. 有効」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します 送信先が「Bluetooth のみ」のとき、送信失敗データ保存を「有効」に設定すると、コレクトモードあるいは照合モードのスキャン画面下部にある Bluetooth アイコンの上に横棒(―)を付加します	 

7.5 自動再接続

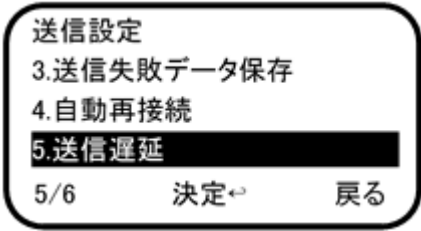
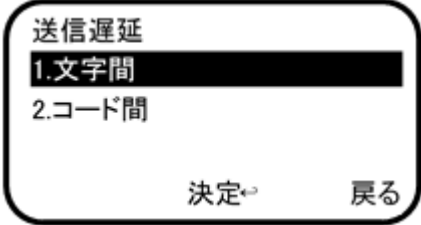
Bluetooth 切断状態からの自動再接続の「有効」／「無効」の設定は、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	送信設定画面で「 4. 自動再接続 」を選択後【SCAN】(決定)キーを押し、自動再接続画面を表示します	
1.	a) 有効にする 自動再接続画面で「 1. 有効 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	b) 無効にする 自動再接続画面で「 2. 無効 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

7.6 送信遅延

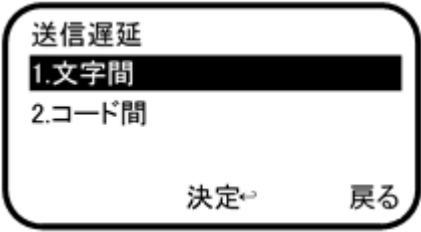


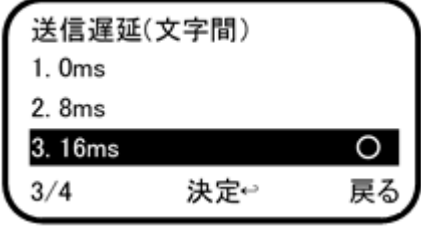
(1) 送信遅延メニュー表示

送信遅延メニューを表示するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	送信設定画面で「5. 送信遅延」を選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	送信遅延メニューを表示します	

(2) 送信遅延（文字間）

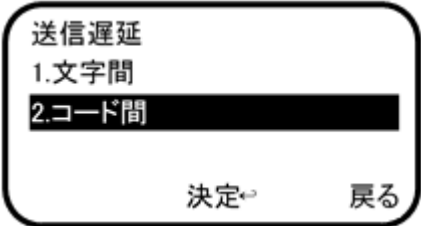



文字間における送信遅延を設定するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	送信遅延メニューで「 1. 文字間 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します ※送信遅延メニューの表示方法は「 <u>(1)送信遅延メニュー表示</u> 」を参照してください	
2.	<u>a) 0ms にする</u> 「 1. 0ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	<u>b) 8ms にする</u> 「 2. 8ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	<u>c) 16ms にする</u> 「 3. 16ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
5.	<p>d) カスタム値にする</p> <p>「4. カスタム」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
6.	カスタム値入力画面を表示します	
7.	<p>カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します</p> <p>※指定可能なカスタム値は <u>0～99ms</u> です</p>	
8.	<p>e) カスタム値を確定する</p> <p>カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延(文字間)画面に戻ります</p>	
9.	<p>f) 最後に入力した数字を取り消す</p> <p>カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延(文字間)画面に戻ります</p>	

(3) 送信遅延（コード間）

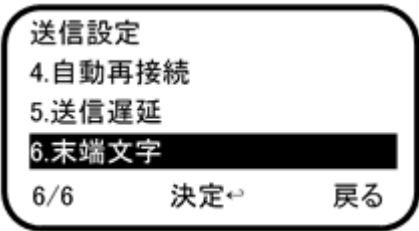
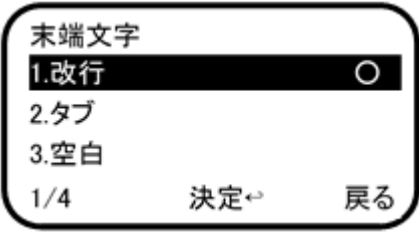
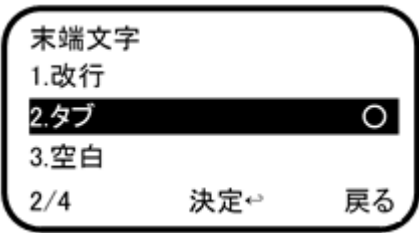
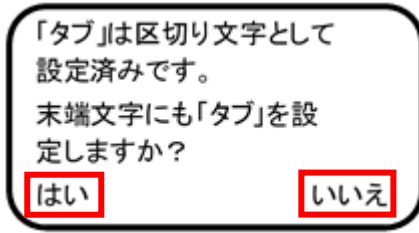
コード間における送信遅延を設定するには、次のように行います。

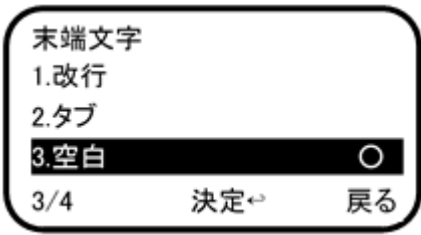
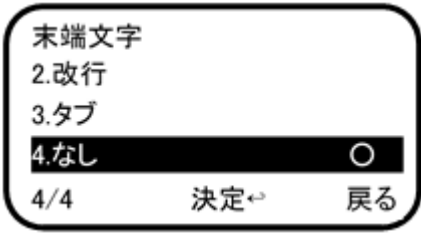
項番	説明	画面
1.	送信遅延メニューで「 2. コード間 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します ※送信遅延メニュー画面の表示方法は「 <u>(1)送信遅延メニュー表示</u> 」を参照してください	
2.	<u>a) 0ms にする</u> 「 1. 0ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	<u>b) 100ms にする</u> 「 2. 100ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	<u>c) 300ms にする</u> 「 3. 300ms 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します	

項番	説明	画面
5.	<p>d) カスタム値にする</p> <p>「4. カスタム」を選択し【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
6.	カスタム値入力画面を表示します	
7.	<p>カスタム値入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し入力します</p> <p>※指定可能なカスタム値は <u>0～9999ms</u> です</p>	
8.	<p>e) カスタム値を確定する</p> <p>カスタム値入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、カスタム値を確定し送信遅延(コード間)画面に戻ります</p>	
9.	<p>f) 最後に入力した数字を取り消す</p> <p>カスタム値入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すとカスタム値入力を中止し送信遅延(コード間)画面に戻ります</p>	

7.7 末端文字

Bluetooth 送信時、データの末端に付加する文字の指定は、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	送信設定画面で「 6. 末端文字 」を選択後【SCAN】(決定)キーを押し、末端文字画面を表示します	
2.	<p>a) 末端文字を「改行」にする</p> <p>末端文字設定画面で「1.改行」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※付加する改行コードは 0x0D0A です</p>	
3.	<p>b) 末端文字を「タブ」にする</p> <p>末端文字設定画面で「2.タブ」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※注意 区切り文字に「タブ」を設定しているときに、末端文字にも「タブ」を設定しようとすると、確認メッセージを表示します</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと「タブ」に設定します 【右上】(いいえ)キーを押すと末端文字の設定を中止します</p> <p>※区切り文字の設定については「<u>10.3.4 区切り文字</u>」を参照してください</p>	 

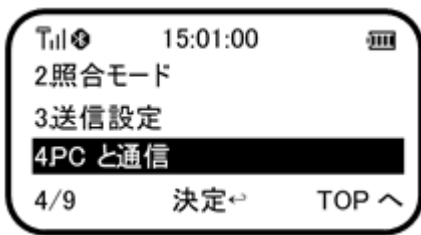
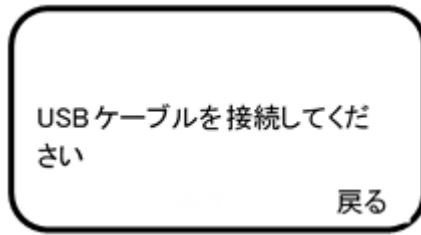
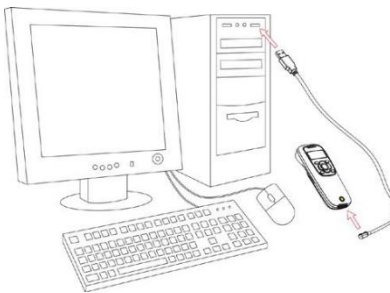
項番	説明	画面
4.	<p>c) 末端文字を「空白」にする</p> <p>末端文字設定画面で「3.空白」選択後【SCAN】（決定）キーを押します</p>	
5.	<p>d) 末端文字を付加しない</p> <p>末端文字設定画面で「4.なし」選択後【SCAN】（決定）キーを押します</p>	

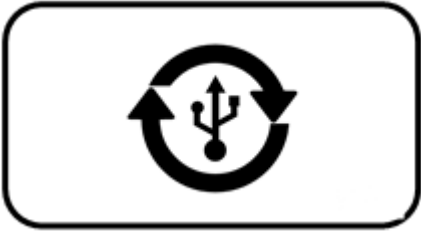
8 PC と通信

本体と PC を専用の USB ケーブルで接続し、別途 PC にインストール済みの MD100Manager を使用すると本体に格納している保存データを PC に出力することができます。また、MD100Manager で本体設定を変更することも可能です。

※MD100Manager については MD100Manager のマニュアルを参照してください

PC と通信を行うには、次のようにします。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで「4. PC と通信」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	USB ケーブル接続待ち画面を表示します 【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとメインメニューに戻ります	
3.	接続待ち画面が表示された状態で、専用の USB ケーブルを使い本体と PC を接続します MD100Manager を PC 側で起動しておく必要があります ※MD100Manager については、 MD100Manager のマニュアルを参照ください	

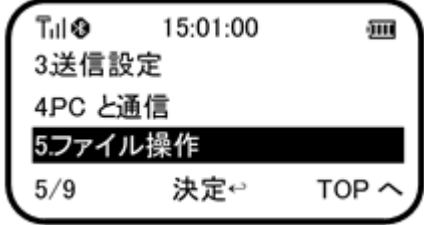
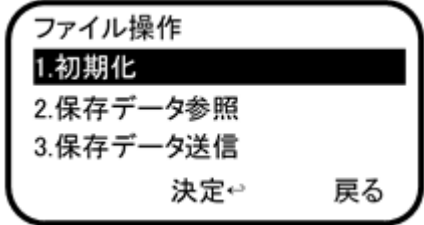
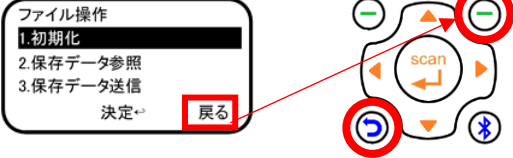
項番	説明	画面
4.	<p>USB 接続画面を表示します</p> <p>注意事項: 接続解除するには、必ず MD100Manager の【接続解除】ボタンを押し接続解除後に USB ケーブルを取り外してください USB ケーブルを取り外すとメインメニューに戻ります</p> <p>【接続解除】ボタンを押さずに USB ケーブルを取り外すと、本体に保存しているデータ(読み取りデータや設定内容)が壊れることがあるため絶対に行わないでください</p>	 <p>The image shows a black icon on a white background, enclosed in a rounded rectangle. The icon consists of a central USB symbol (a vertical line with three branches at the top) superimposed on a circular arrow, indicating a process of connection or disconnection.</p>

9 ファイル操作

ファイル操作では、ファイルの初期化と本体に保存しているデータの参照および Bluetooth 経由でのデータの送信を行うことができます。

9.1 ファイル操作を開始する

ファイル操作を開始するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで「5. ファイル操作」選択し、【SCAN】(決定)キーを押します	 The screen shows a menu with options: 3送信設定, 4PC と通信, 5ファイル操作 (highlighted), and 5/9 at the bottom. Navigation buttons '決定' and 'TOP' are visible.
2.	ファイル操作メニューを表示します	 The screen displays 'ファイル操作' with sub-options: 1.初期化 (highlighted), 2.保存データ参照, and 3.保存データ送信. Navigation buttons '決定' and '戻る' are at the bottom.
3.	ファイル操作メニューで【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとメインメニューに戻ります	 The diagram shows the 'ファイル操作' menu with the '戻る' button highlighted. A red arrow points from this button to a 'scan' button on a directional pad, which is also circled in red. Other buttons on the pad include a green circle, a blue circle, and a Bluetooth symbol.

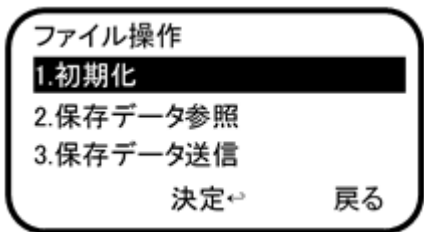
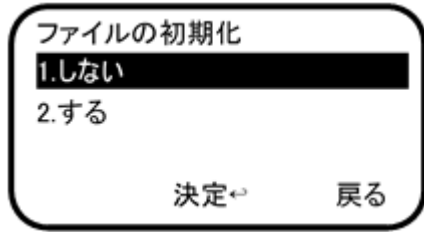
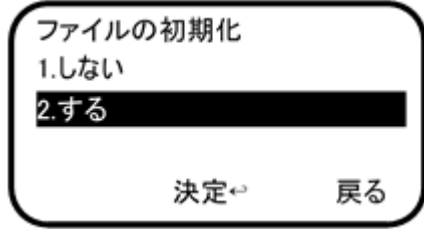
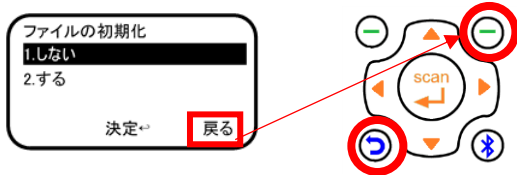
9.2 初期化

ファイルの初期化を行うと、本体に保存している次のデータをすべてクリアします。

※本体に保存しているデータが不要となったときは、安定運用を目的にその都度初期化を行うことを推奨します

- ・読み取りおよび照合結果データ(削除予約データ含む)
- ・二重読み取り判定用データ
- ・照合DB
- ・ピッキング照合用データ

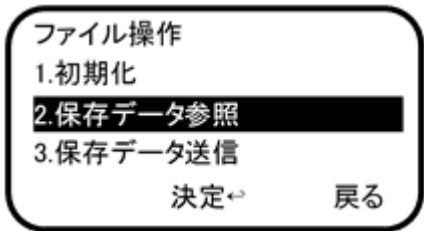
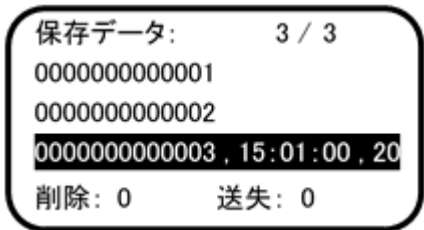
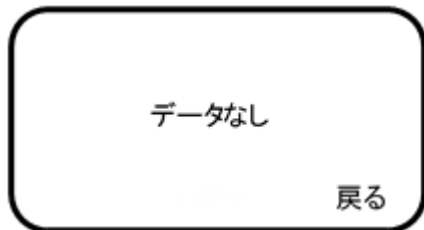

ファイルの初期化は、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	ファイル操作メニューで「 1. 初期化 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、ファイルの初期化画面を表示します	
2.	<p>・初期化を中止するとき</p> <p>ファイルの初期化画面で「1. しない」選択後【SCAN】(決定)キーを押します 初期化を行わずファイル操作メニューに戻ります</p>	
3.	<p>・初期化を行うとき</p> <p>ファイルの初期化画面で「2. する」選択後【SCAN】(決定)キーを押します 初期化が終了するとファイル操作メニューに戻ります</p>	
4.	ファイルの初期化画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとファイル操作メニューに戻ります	

9.3 保存データ参照

9.3.1 保存データ一覧を表示する

保存データ一覧を表示するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	ファイル操作メニューで「 2. 保存データ参照 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	保存データ一覧画面を表示します	
	<p>※ 保存データが1件も存在しなかったときは「データなし」のメッセージを表示します</p> <p>【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと、ファイル操作メニューに戻ります</p>	
3.	保存データ一覧画面で【リターン】キーを押すとひとつ前の画面に戻ります	

9.3.2 データの全体を表示する

操作方法については「[5.4.2 データの全体を表示する](#)」を参照してください。

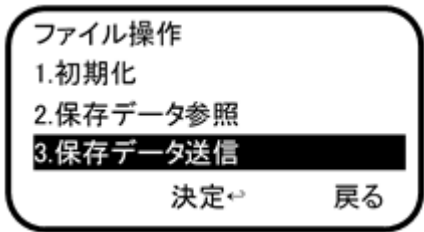
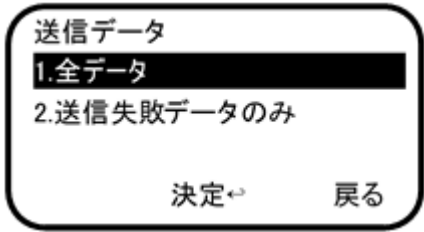

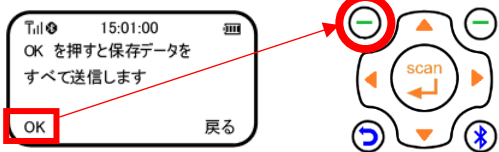
9.4 保存データ送信

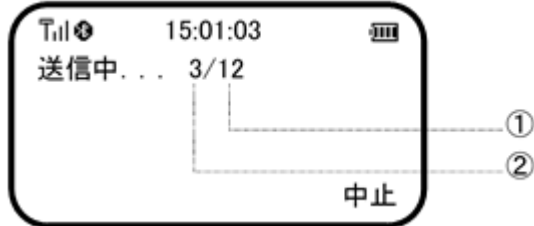
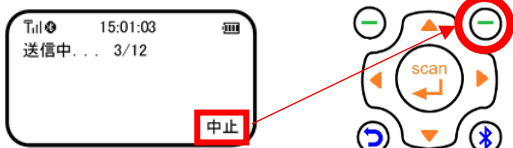
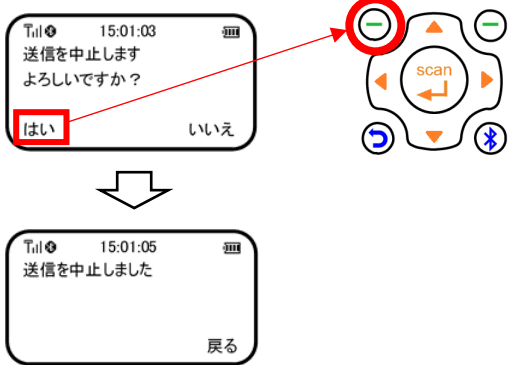
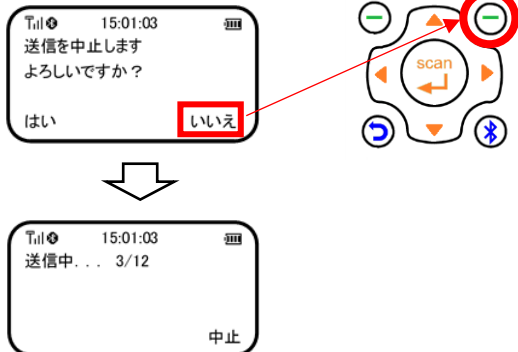
ここでは保存データを Bluetooth 経由で送信する方法について説明します。

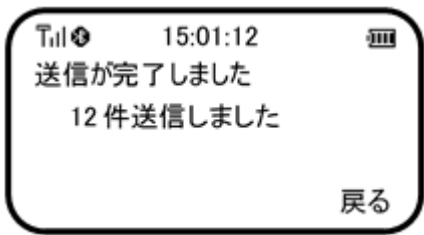
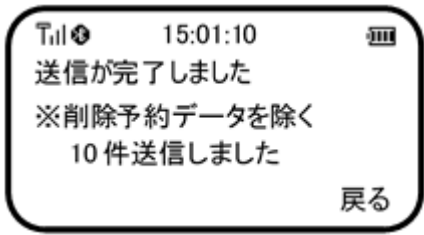
保存データを Bluetooth 経由で送信するには Bluetooth に接続した状態で行います。
送信対象とするデータは、本体に保存している全てのデータか送信失敗データのための 2 種類あります。
なお、削除予約しているデータは送信の対象外になります。

9.4.1 保存データを全て送信する

保存データを全て送信するには、次のように行います。

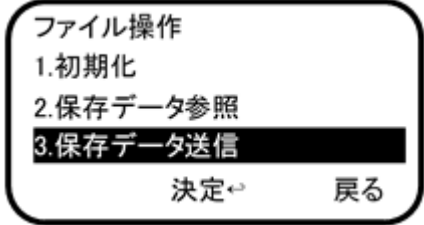
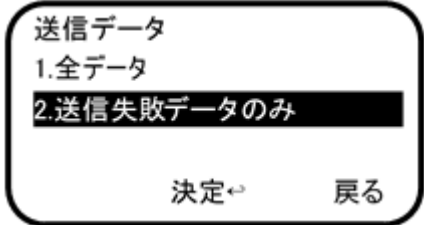

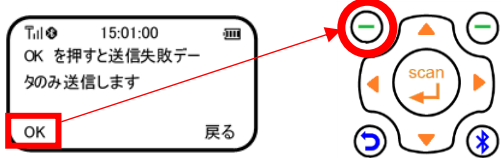
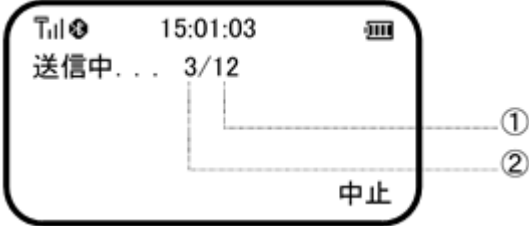
項番	説明	画面
1.	ファイル操作メニューで「 3. 保存データ送信 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、送信データメニューを表示します	
2.	送信データメニューで「 1. 全データ 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	<p>・Bluetooth に接続していないとき</p> <p>Bluetooth に接続していないときは、エラーメッセージ「Bluetooth 未接続です」を表示後、送信データメニューに戻ります</p>	
	<p>・Bluetooth に接続しているとき</p> <p>送信確認画面を表示します 【左上】(OK)キーを押すと、データを送信します</p>	

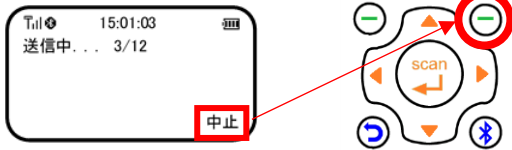
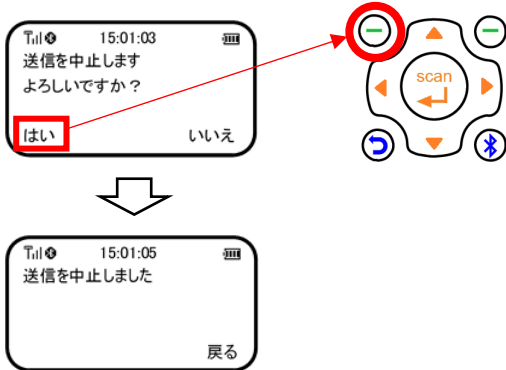
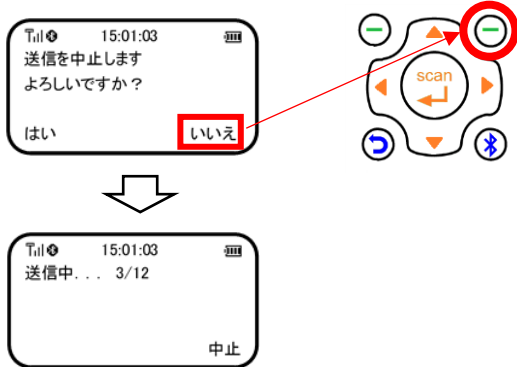
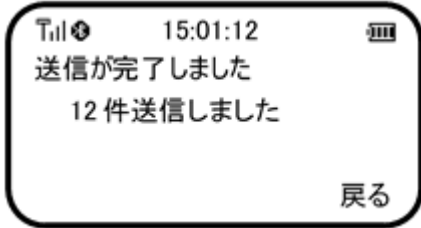
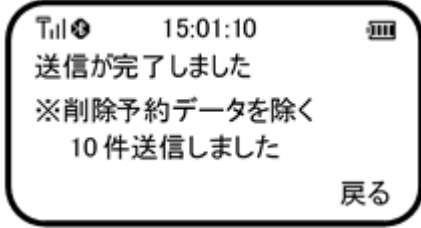
項番	説明	画面
4.	データ送信が始まると、データ送信中画面を表示します	 <p>①: 送信済みデータ件数 ②: 送信対象データ件数(※削除予約データ含む)</p>
5.	データ送信中画面で【右上】(中止)キーを押すと、送信中止確認画面を表示します	
6.	<p>・送信を中止する</p> <p>送信中止確認画面で【左上】(はい)キーを押すと送信を中止し、送信中止画面を表示します</p>	
	<p>・送信を継続する</p> <p>送信中止確認画面で【右上】(いいえ)キーを押すと、送信を再開します</p>	

項番	説明	画面
7.	<p>・送信完了(※削除予約データなしのとき)</p> <p>送信が完了すると、送信完了画面を表示します</p> <p>【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと送信データメニューに戻ります</p>	
	<p>・送信完了(※削除予約データありのとき)</p> <p>送信が完了すると、削除予約データが送信対象に含まれていた時の送信完了画面を表示します</p> <p>【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと送信データメニューに戻ります</p>	

9.4.2 送信失敗データのみ送信する

送信失敗データのみ送信するには、次のように行います。

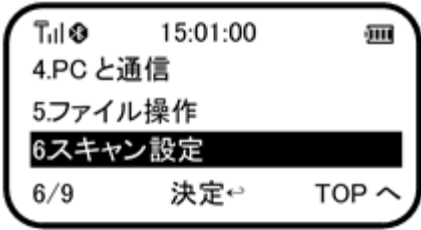
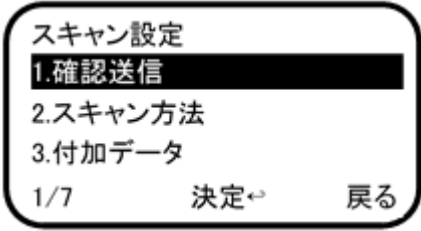
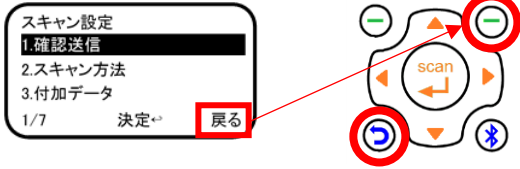
項番	説明	画面
1.	ファイル操作メニューで「3. 保存データ送信」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、送信データメニューを表示します	
2.	送信データメニューで「2. 送信失敗データのみ」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	<p><u>・Bluetooth に接続していないとき</u></p> <p>Bluetooth に接続していないときは、エラーメッセージ「Bluetooth 未接続です」を表示後、送信データメニューに戻ります</p>	
	<p><u>・Bluetooth に接続しているとき</u></p> <p>送信確認画面を表示します 【左上】(OK)キーを押すと、データを送信します</p>	
4.	データ送信が始まると、データ送信中画面を表示します	 <p>①: 送信済みデータ件数 ②: 送信対象データ件数(※削除予約データ含む)</p>

項番	説明	画面
5.	データ送信中画面で【右上】(中止)キーを押すと、送信中止確認画面を表示します	
6.	<p>・送信を中止する</p> <p>送信中止確認画面で【左上】(はい)キーを押すと送信を中止し、送信中止画面を表示します</p>	
	<p>・送信を継続する</p> <p>送信中止確認画面で【右上】(いいえ)キーを押すと、送信を再開します</p>	
7.	<p>・送信完了(※削除予約データなしのとき)</p> <p>送信が完了すると、送信完了画面を表示します</p> <p>【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと送信データメニューに戻ります</p>	
	<p>・送信完了(※削除予約データありのとき)</p> <p>送信が完了すると、削除予約データが送信対象に含まれていた時の送信完了画面を表示します</p> <p>【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと送信データメニューに戻ります</p>	

10 スキャン設定

スキャン設定では、バーコード読み取り時における各種設定を行うことができます。

スキャン設定メニューを表示するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで【↑】／【↓】キーを使用し「6. スキャン設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	スキャン設定メニューを表示します	
3.	スキャン設定メニューで【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとメインメニューに戻ります	

10.1 設定項目一覧

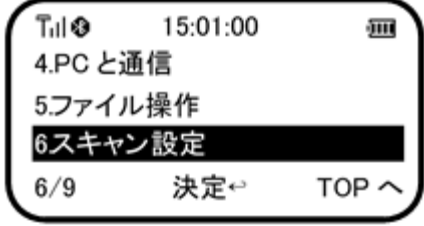
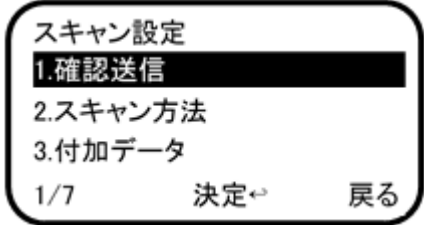
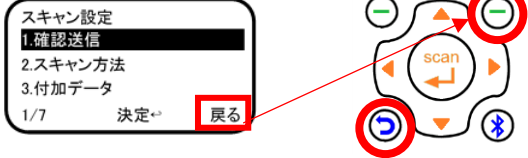
スキャン設定では次の項目を設定することができます。

項番	項目名	内容
1.	確認送信	確認送信を「有効」に設定すると、バーコード読み取り後に承認問い合わせを行うことができます ※【SCAN】(承認)キーを押すまで送信しません ※操作方法については「 10.3.1 確認送信 」を参照してください
2.	スキャン方法	スキャン方法を設定します 設定できるスキャン方法は次のとおりです ・トリガーモード ・グッドリード ・オートスキャン(1D モデルのみ対応) ・ハンズフリー(2D モデルのみ対応) ※操作方法については「 10.3.2 スキャン方法 」を参照してください
3.	付加データ	バーコードに付加するデータを設定します 設定できるデータは次のとおりです ・日付 ・時刻 ・本体番号 ・バーコードシンボル ・バーコードを「”」で囲む ・送信結果 ・DB関連データ ※操作方法については「 10.3.3 付加データ 」を参照してください
4.	区切り文字	データを付加するときに使用する区切り文字を設定します 設定できる区切り文字は次のとおりです ・カンマ ・タブ ・なし(区切り文字を使用しません) ※操作方法については「 10.3.4 区切り文字 」を参照してください
5.	末端文字	Bluetooth 送信時、データの末端に付加する文字を設定します 設定できる末端文字は次のとおりです ・改行 ・タブ ・空白 ・なし(末端文字を付加しません) ※操作方法については「 10.3.5 末端文字 」を参照してください

項番	項目名	内容
6.	コレクトモード設定	<p>コレクトモードに関する項目を設定します 設定できる項目は次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リポート保存・個数付加 ・データベース参照 ・二重読み取り禁止 <p>※操作方法については「10.3.6 コレクトモード設定」を参照してください</p>
7.	照合モード設定	<p>照合モードに関する項目を設定します 設定できる項目は次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照合方法 ・照合カラム設定 <p>※操作方法については「10.3.7 照合モード設定」を参照してください</p>

10.2 スキャン設定を開始する

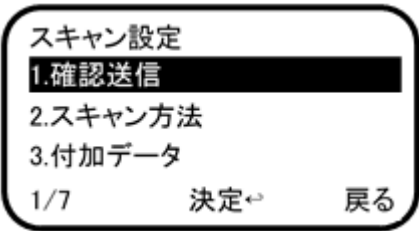
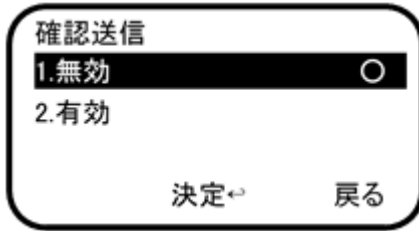
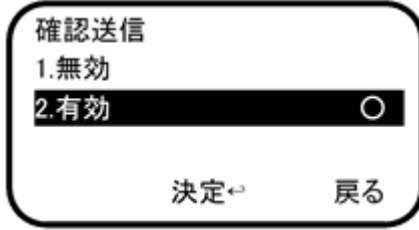
スキャン設定を開始するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで「6. スキャン設定」選択し、【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	スキャン設定画面を表示します	
3.	スキャン設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとメインメニューに戻ります	

10.3 項目毎の設定方法

10.3.1 確認送信

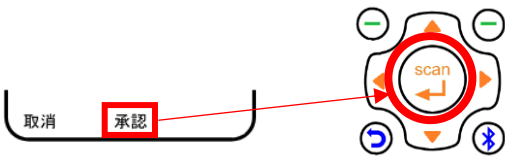
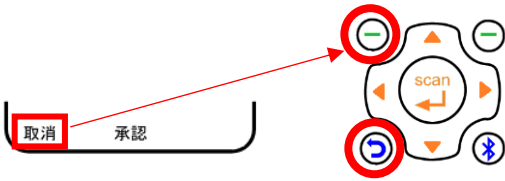
確認送信の「有効」／「無効」の設定は、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで「 1. 確認送信 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、確認送信画面を表示します	
2.	a) 無効にする 確認送信画面で「 1. 無効 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	b) 有効にする 確認送信画面で「 2. 有効 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

・承認操作方法

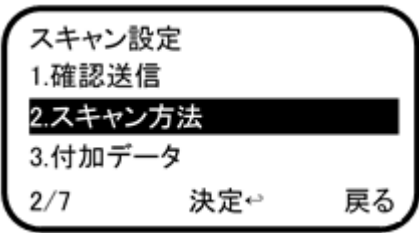
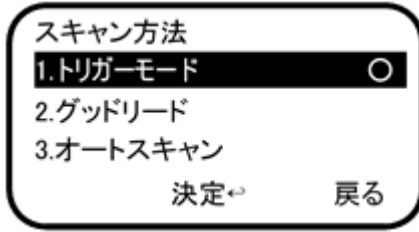
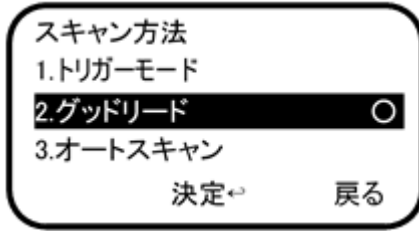
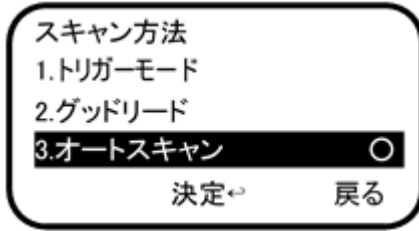
確認送信を「有効」に設定したときの承認操作は、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	確認送信が「有効」のときにバーコードを読み取ると、それぞれのモードにおいて承認確認画面を表示します	<div>▼コレクトのとき</div> <p>この画面は、Til アイコン、件数: 100、1234567890、および「取消」「承認」ボタンが表示されています。</p> <div>▼1対1／1対N照合(照合元)のとき</div> <p>この画面は、Til アイコン、件数: 100、照合元: 1234567890、照合先: (空白)、および「取消」「承認」ボタンが表示されています。</p> <div>▼1対1／1対N照合(照合先)のとき</div> <p>この画面は、Til アイコン、件数: 100、照合元: 1234567890、照合先: 1234567890、および「取消」「承認」ボタンが表示されています。</p> <div>▼DB照合のとき</div> <p>この画面は、Til アイコン、件数: 100、1234567890、DB登録データです、および「取消」「承認」ボタンが表示されています。</p> <div>▼ピッキング照合のとき</div> <p>この画面は、Til アイコン、件数: 10/100、1234567890、◆◆不一致◆◆、および「取消」「承認」ボタンが表示されています。</p>

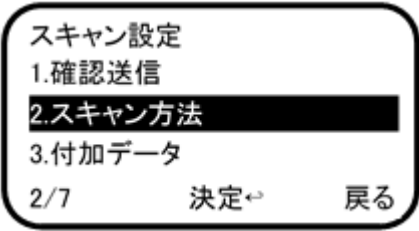
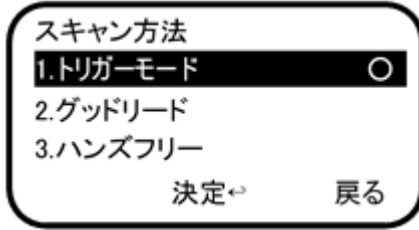
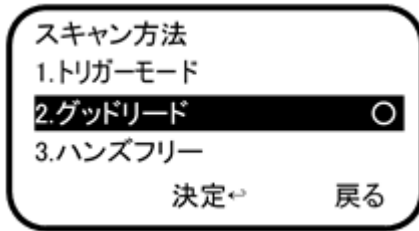
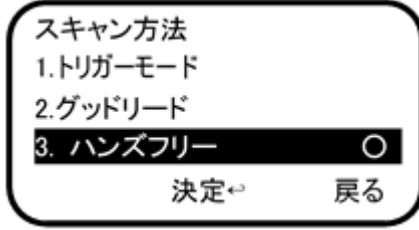
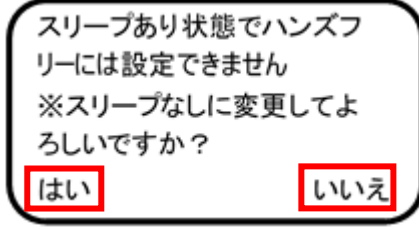
項番	説明	画面
2.	承認確認画面で【SCAN】(承認)キーを押すと、次のバーコード入力画面を表示します	 <p>The diagram shows a confirmation screen with a central 'scan' button and four directional arrow buttons (up, down, left, right). Below the screen, there are two buttons: '取消' (Cancel) and '承認' (Confirm). The '承認' button is highlighted with a red box, and a red arrow points from it to the 'scan' button on the screen.</p>
3.	承認確認画面で【右上】(取消)キーあるいは【リターン】キーを押すと、読み取ったバーコードを破棄します	 <p>The diagram shows the same confirmation screen as in item 2. Below the screen, there are two buttons: '取消' (Cancel) and '承認' (Confirm). The '取消' button is highlighted with a red box, and a red arrow points from it to the top-right directional arrow button on the screen. Additionally, the bottom-left directional arrow button is also circled in red.</p>

10.3.2 スキャン方法

(1) 1D モデルのとき

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで「 2. スキャン方法 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、スキャン方法画面を表示します	
2.	<u>a) トリガーモードにする</u> スキャン方法画面で「 1. トリガーモード 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	<u>b) グッドリードにする</u> スキャン方法画面で「 2. グッドリード 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	<u>c) オートスキャンにする</u> スキャン方法画面で「 3. オートスキャン 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	

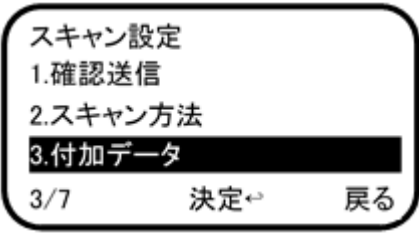
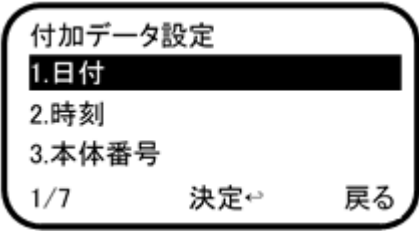
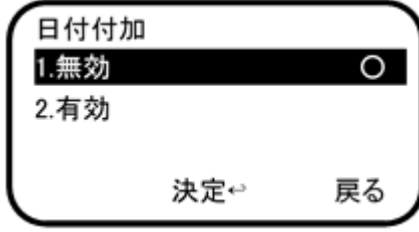
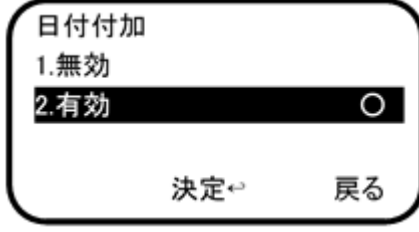
(2) 2D モデルのとき

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで「6. スキャン方法」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、スキャン方法画面を表示します	
2.	<p>a) トリガーモードにする</p> <p>スキャン方法画面で「1. トリガーモード」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p>b) グッドリードにする</p> <p>スキャン方法画面で「2. グッドリード」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	<p>c) ハンズフリーにする</p> <p>スキャン方法画面で「3. ハンズフリー」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※注意 ハンズフリーはスリープ「なし」の状態を設定可能です スリープ「なし」でないときはスリープ解除要求メッセージを表示します</p> <p>【左上】(はい)キーを押すとスリープ「なし」に変更後、ハンズフリーに設定します 【右上】(いいえ)キーを押すとハンズフリー設定を中止します</p>	 

10.3.3 付加データ

(1) 日付

日付付加の「有効」／「無効」設定は、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで「 3. 付加データ 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、付加データ設定画面を表示します	
2.	付加データ設定画面で「 1. 日付 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、日付付加画面を表示します	
3.	a) 無効にする 日付付加画面で「 1. 無効 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	b) 有効にする 日付付加画面で「 2. 有効 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します ※日付の記録順については「 <u>5.4.2 (4)各種付加データの記録順について</u> 」を参照してください	

(2) 時刻

時刻付加の「有効」／「無効」設定は、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで「3. 付加データ」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、付加データ設定画面を表示します	
2.	付加データ設定画面で「2. 時刻」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、時刻付加画面を表示します	
3.	<p>a) 無効にする</p> <p>時刻付加画面で「1. 無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	<p>b) 有効にする</p> <p>時刻付加画面で「2. 有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※時刻の記録順については「5.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください</p>	

(3) 本体番号

本体番号付加を指定することで、読み取ったバーコードデータに指定した本体番号を付加することができるようになります。

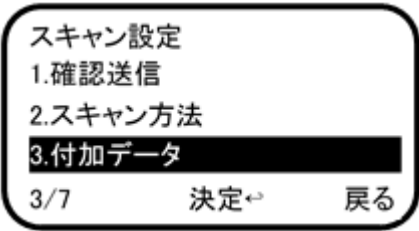
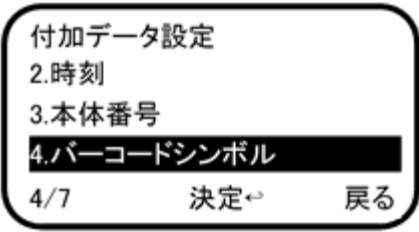
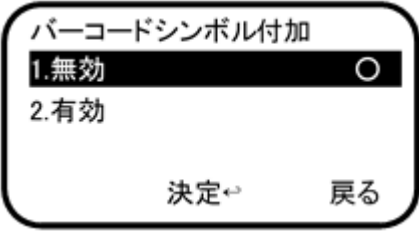
本体番号付加の「有効」／「無効」設定は、次のように行います。

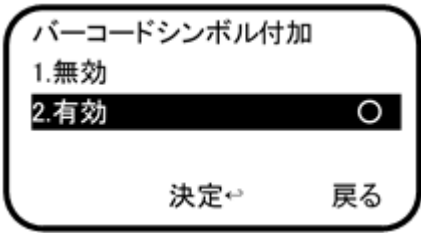
項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで「3. 付加データ」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、付加データ設定画面を表示します	
2.	付加データ設定画面で「3. 本体番号」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、本体番号付加画面を表示します	
3.	<u>a) 無効にする</u> 本体番号付加画面で「1. 無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	<u>b) 有効にする</u> 本体番号付加画面で「2. 有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します ※本体番号の記録順については「5.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください	

項番	説明	画面
5.	<p>本体番号入力画面で、【↑】／【↓】／【←】／【→】キーを使い該当する数字を選択後【SCAN】(選択)キーを押し、本体番号を指定します</p> <p>※指定可能な本体番号は <u>1～999</u> です</p>	
6.	<p>c) 本体番号を確定する</p> <p>本体番号入力画面で【左上】(確定)キーを押すと、本体番号を確定し本体番号付加画面に戻ります</p> <p>※先頭行の右端に確定した本体番号を表示します</p>	
7.	<p>d) 最後に入力した数字を取り消す</p> <p>本体番号入力画面で【右上】(1つ消す)キーを押すと、最後に指定した数字を取り消すことができます</p> <p>※【リターン】キーを押すと本体番号入力を中止し本体番号付加画面に戻ります</p>	

(4) バーコードシンボル

バーコードシンボル付加の「有効」／「無効」設定は、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで「3. 付加データ」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、付加データ設定画面を表示します	
2.	付加データ設定画面で「4. バーコードシンボル」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、時刻付加画面を表示します	
3.	<p><u>a) 無効にする</u></p> <p>バーコードシンボル付加画面で「1. 無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	

項番	説明	画面
4.	<p>b) 有効にする</p> <p>バーコードシンボル付加画面で【↑】／【↓】キーを使用し「2. 有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※バーコードシンボルの記録順については「<u>5.4.2 (4)各種付加データの記録順について</u>」を参照してください</p> <p>バーコードデータを手入力したときのバーコードシンボルは「NONE」となります</p> <p>※バーコードデータの手入力については「<u>5.2 読み取りデータを手入力する</u>」を参照してください</p>	

(5) バーコードを「”」（ダブルクォート）で囲む

バーコードデータを「”」（ダブルクォート）で囲む「有効」／「無効」設定は、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで「3. 付加データ」選択後【SCAN】（決定）キーを押し、付加データ設定画面を表示します	
2.	付加データ設定画面で「5. バーコードを「”」で囲む」選択後【SCAN】（決定）キーを押し、時刻付加画面を表示します	
3.	<p>a) 無効にする</p> <p>バーコードを「”」で囲む画面で「1. 無効」選択後【SCAN】（決定）キーを押します</p>	
4.	<p>b) 有効にする</p> <p>バーコードを「”」で囲む画面で「2. 有効」選択後【SCAN】（決定）キーを押します</p>	

(6) 送信結果

Bluetooth 経由での送信結果付加の「有効」／「無効」設定は、次のように行います。

送信に成功したときは「O」、失敗したときは「X」の文字を付加します。

なお送信先が「本体のみ」のときは必ず「O」を付加します。

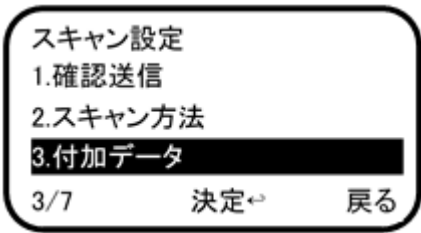
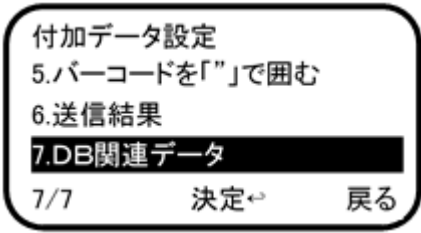
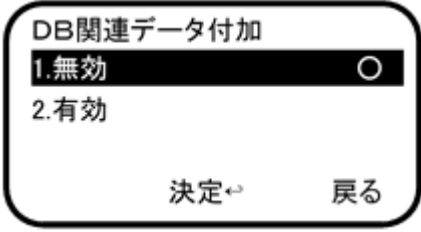
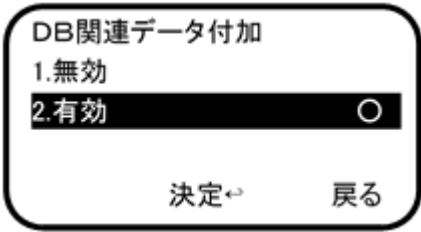
項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで「 3. 付加データ 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、付加データ設定画面を表示します	
2.	付加データ設定画面で「 6. 送信結果 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、送信結果付加画面を表示します	
3.	<p>a) 有効にする</p> <p>送信結果付加画面で「1. 有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	<p>b) 無効にする</p> <p>時刻付加画面で「2. 無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※送信結果の記録順については「5.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください</p>	

(7) DB関連データ

DB関連データ付加の「有効」/「無効」設定は、次のように行います。

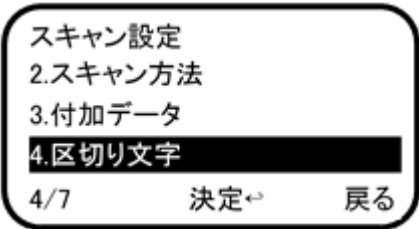
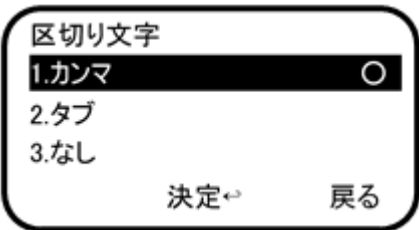
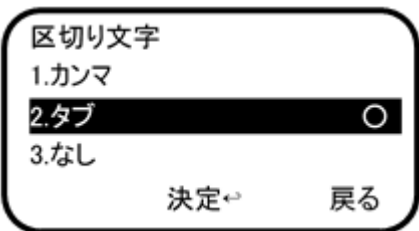
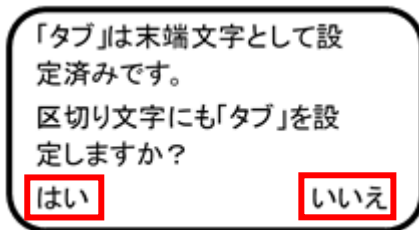
※本体で照合 DB に登録したバーコードの関連データは「DB 登録データです」固定になります

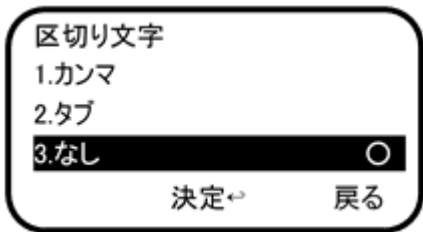
MD100Manager で照合 DB を作成したときの関連データは照合 DB 作成元ファイル(CSV)に定義された内容になります

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで「 3. 付加データ 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、付加データ設定画面を表示します	
2.	付加データ設定画面で「 7. DB関連データ 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、DB関連データ付加画面を表示します	
3.	<p>a) 無効にする</p> <p>DB関連データ付加画面で「1. 無効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	<p>b) 有効にする</p> <p>DB関連データ付加画面で「2. 有効」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※DB関連データの記録順については「5.4.2 (4)各種付加データの記録順について」を参照してください</p> <p>※照合 DB に未登録だったときは、DB 関連データとして「NONE」を付加します</p>	

10.3.4 区切り文字

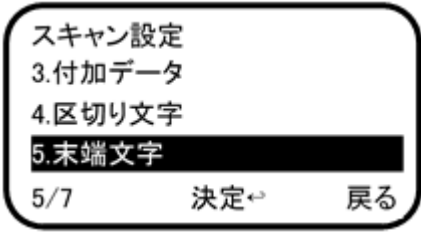
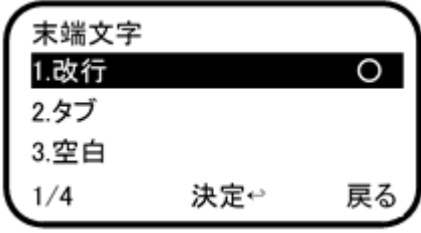
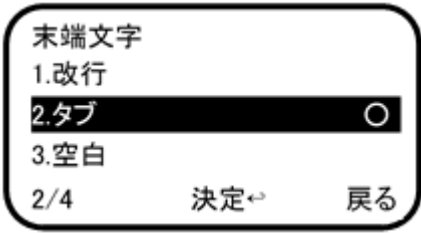
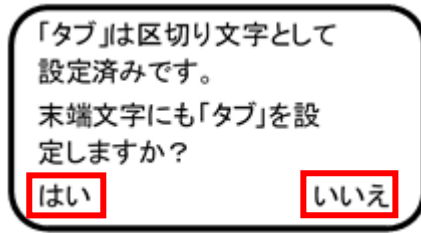
データ付加時に使用する区切り文字の指定は、次のように行います。

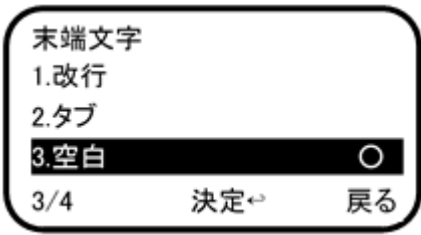
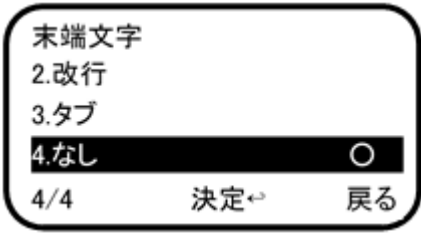
項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで「 4. 区切り文字 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、区切り文字画面を表示します	
2.	<p>a) <u>区切り文字を「カンマ」にする</u></p> <p>区切り文字画面で「1.カンマ」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p>b) <u>区切り文字を「タブ」にする</u></p> <p>区切り文字画面で「2.タブ」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※注意 末端文字に「タブ」を設定しているときに、区切り文字にも「タブ」を設定しようとすると、確認メッセージを表示します</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと「タブ」に設定します 【右上】(いいえ)キーを押すと区切り文字の設定を中止します</p> <p>※末端文字の設定については「10.3.5 末端文字」を参照してください</p>	 

項番	説明	画面
4.	<p>c) <u>区切り文字を付加しない</u></p> <p>区切り文字画面で「3.なし」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	

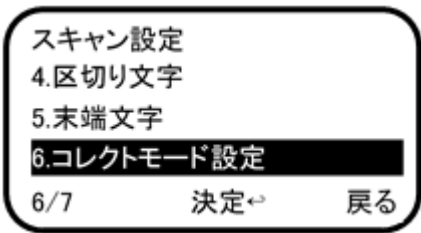
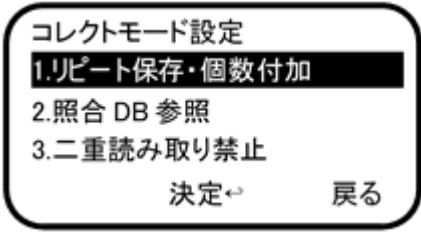
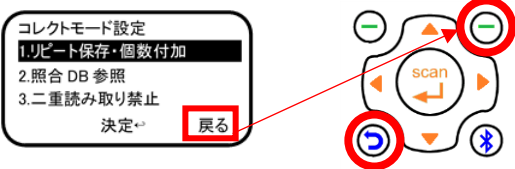
10.3.5 末端文字

Bluetooth 送信時、データの末端に付加する文字の指定は、次のように行います。

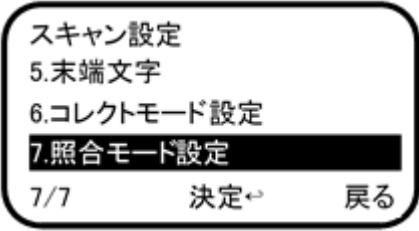
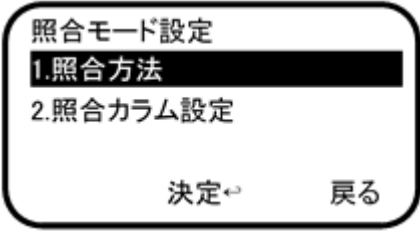
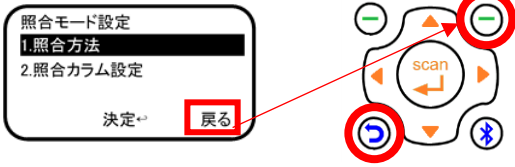
項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで「 5. 末端文字 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、末端文字画面を表示します	
2.	<p>a) 末端文字を「改行」にする</p> <p>末端文字設定画面で「1.改行」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※付加する改行コードは 0x0D0A です</p>	
3.	<p>b) 末端文字を「タブ」にする</p> <p>末端文字設定画面で「2.タブ」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※注意 区切り文字に「タブ」を設定しているときに、末端文字にも「タブ」を設定しようとする、確認メッセージを表示します</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと「タブ」に設定します 【右上】(いいえ)キーを押すと末端文字の設定を中止します</p> <p>※区切り文字の設定については「<u>10.3.4 区切り文字</u>」を参照してください</p>	 

項番	説明	画面
4.	<p>c) 末端文字を「空白」にする</p> <p>末端文字設定画面で「3.空白」選択後【SCAN】（決定）キーを押します</p>	
5.	<p>d) 末端文字を付加しない</p> <p>末端文字設定画面で「4.なし」選択後【SCAN】（決定）キーを押します</p>	

10.3.6 コレクトモード設定

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで「 6. コレクトモード設定 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、コレクトモード設定画面を表示します	
2.	<p>コレクトモード設定画面では次の設定を行うことができます</p> <p>1) リポート保存・個数付加 詳細については「<u>5.3.2 リポート保存・個数付加の設定を行う</u>」を参照してください</p> <p>2) データベース参照 詳細については「<u>5.3.3 照合DB参照の設定を行う</u>」を参照してください</p> <p>3) 二重読み取り禁止 詳細については「<u>5.3.4 二重読み取り禁止の設定を行う</u>」を参照してください</p>	
3.	コレクトモード設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります	

10.3.7 照合モード設定

項番	説明	画面
1.	スキャン設定メニューで「7. 照合モード設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、照合モード設定画面を表示します	
2.	<p>照合モード設定画面を表示します ここでは次の設定を行うことができます</p> <p>1) 照合方法 詳細については「<u>6.1.2 照合方法(1対1／1対N／DB／ピッキング)</u>を選択する」</p> <p>2) 照合カラム設定 詳細については「<u>6.1.3 照合カラム(照合範囲)</u>を設定する」を参照してください</p>	
3.	照合モード設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスキャン設定メニューに戻ります	

11 システム設定

システム設定では、本システムにおける各種設定を行うことができます。

11.1 設定項目一覧

システム設定では次の項目を設定することができます。

項番	項目名	内容
1.	スリープ	スリープ時間を設定します 設定できる時間は次のとおりです ・1分 ・5分 ・10分 ・なし(スリープしません) ※操作方法については「 11.3.1 スリープ設定 」を参照してください
2.	バックライト点灯時間	バックライト点灯時間を設定します 設定できる時間は次のとおりです ・10秒 ・30秒 ・60秒 ・常時点灯(バックライトを消灯しません) ※操作方法については「 11.3.2 バックライト点灯時間 」を参照してください
3.	ビープ音	ビープ音を設定します 設定できる値は次のとおりです ・大 ・中 ・小 ・なし(ビープ音は消音になります) ※操作方法については「 11.3.3 ビープ音設定 」を参照してください
4.	バイブ	バイブの「有効」/「無効」を設定します ※操作方法については「 11.3.4 バイブ設定 」を参照してください
5.	文字エンコード	バーコード読み取り時の文字エンコードを設定します 設定できる文字エンコードは次のとおりです ・Shift-JIS ・UTF-8 ※操作方法については「 11.3.5 文字エンコード 」を参照してください

項番	項目名	内容
6.	時刻・日付	<p>本機の時刻または日付を設定します</p> <p>※操作方法については「11.3.6 時刻・日付設定」を参照してください</p>
7.	初期化	<p>次の項目の初期化を行うことができます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体 ・Bluetooth ・専用 dongle <p>※操作方法については「11.3.7 初期化」を参照してください</p>

11.2 システム設定を開始する

システム設定を開始するには、次のように行います。

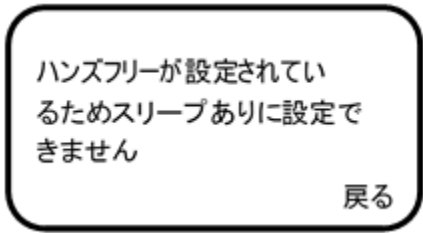
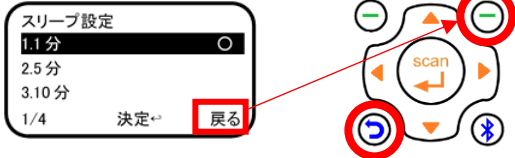
項番	説明	画面
1.	メインメニューで「7. システム設定」選択し、【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	システム設定メニューを表示します	
3.	システム設定メニューで【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとメインメニューに戻ります	

11.3 項目毎の設定方法

11.3.1 スリープ設定

スリープ開始までの時間を指定するには、次のように行います。

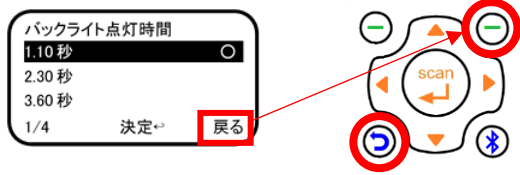
項番	説明	画面
1.	システム設定メニューで「 1. スリープ設定 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、スリープ設定画面を表示します	
2.	<p><u>a) 1分にする</u></p> <p>スリープ設定画面で「1. 1 分」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p><u>b) 5分にする</u></p> <p>スリープ設定画面で「2. 5 分」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	<p><u>c) 10分にする</u></p> <p>スリープ設定画面で「3. 10 分」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
5.	<p><u>d) なしにする</u></p> <p>スリープ設定画面で「4. なし」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	

項番	説明	画面
	<p>※注意</p> <p>スキャン方法が「ハンズフリー」のとき、スリープありの項目（1 分／5 分／10 分）は設定できません</p> <p>「ハンズフリー」が設定された状態でスリープありの項目を選択すると、設定不可のメッセージを表示します</p> <p>【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとスリープ設定画面に戻ります</p>	
6.	<p>スリープ設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとシステム設定メニューに戻ります</p>	

11.3.2 バックライト点灯時間

バックライト点灯時間を指定するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	システム設定メニューで「 2. バックライト点灯時間 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、バックライト点灯時間画面を表示します	
2.	<p><u>a) 10 秒にする</u></p> <p>バックライト点灯時間画面で「1. 10 秒」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
3.	<p><u>b) 30 秒にする</u></p> <p>バックライト点灯時間画面で「2. 30 秒」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
4.	<p><u>c) 60 秒にする</u></p> <p>バックライト点灯時間画面で「3. 60 秒」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	
5.	<p><u>d) 常時点灯にする</u></p> <p>バックライト点灯時間画面で「4. 常時点灯」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p>	

項番	説明	画面
6.	バックライト点灯時間画面で【右上】(戻る)キー あるいは【リターン】キーを押すとシステム設定メ ニューに戻ります	

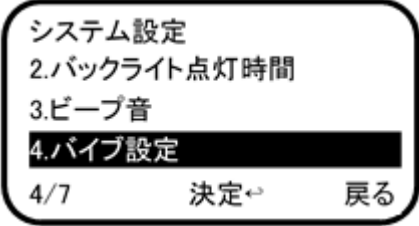
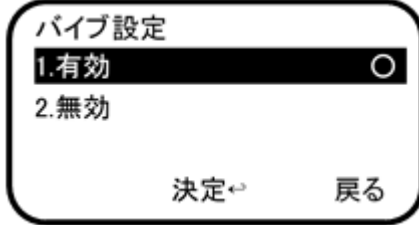
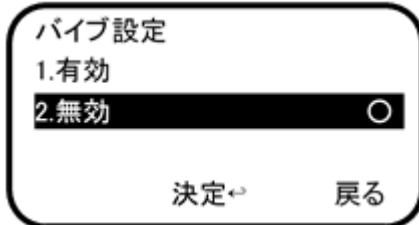
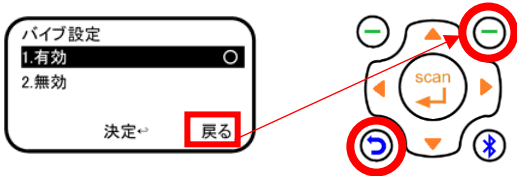
11.3.3 ビープ音設定

ビープ音の設定は、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	システム設定メニューで「 3. ビープ音 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、ビープ音設定画面を表示します	
2.	a) 大にする ビープ音設定画面で「 1. 大 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	b) 中にする ビープ音設定画面で「 2. 中 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	c) 小にする ビープ音設定画面で「 3. 小 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
5.	d) なしにする ビープ音設定画面で「 4. なし 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
6.	ビープ音設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとシステム設定メニューに戻ります	

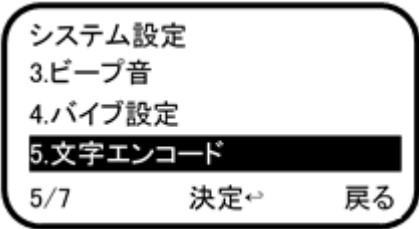

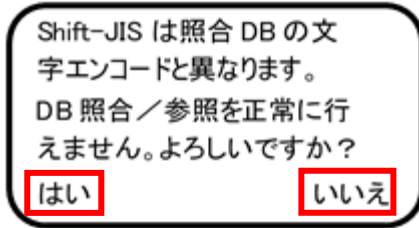
11.3.4 バイブ設定

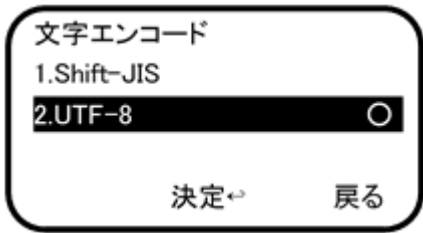
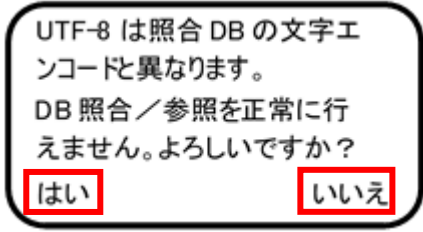
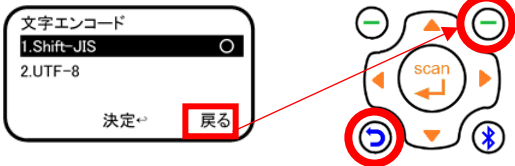
バイブの「有効」／「無効」の設定は、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	システム設定メニューで「 4. バイブ設定 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、バイブ設定画面を表示します	
2.	a) 有効にする バイブ設定画面で「 1. 有効 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
3.	b) 無効にする バイブ設定画面で「 2. 無効 」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
4.	バイブ設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとシステム設定メニューに戻ります	

11.3.5 文字エンコード

バーコード読み取り時の文字エンコードの設定は、次のように行います。

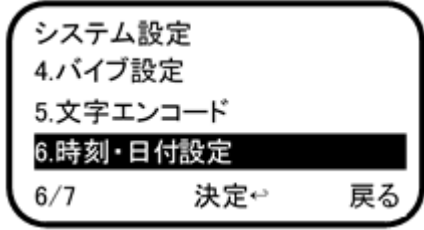
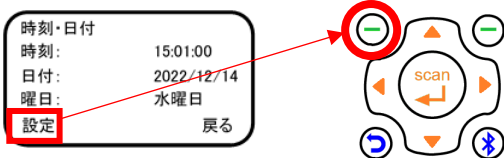
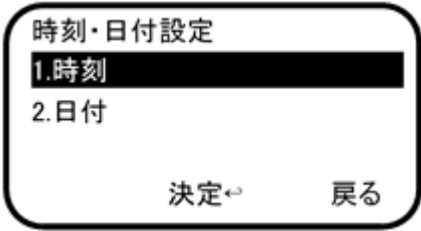
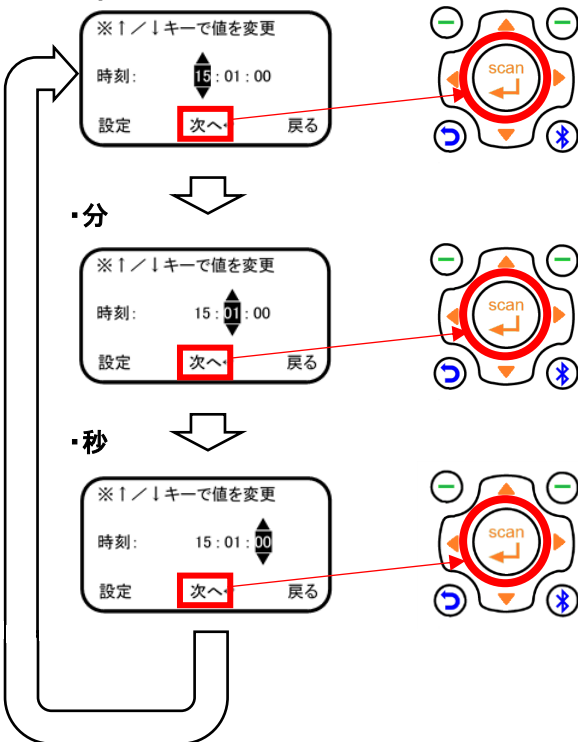
項番	説明	画面
1.	システム設定メニューで「5. 文字エンコード」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、文字エンコード画面を表示します	
2.	<p><u>a) Shift-JIS にする</u></p> <p>文字エンコード画面で「1. Shift-JIS」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※注意 Shift-JIS が照合DBの文字エンコードと異なるときは、確認メッセージを表示します</p> <p>※バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なると、漢字等を含むデータを正常に扱えません</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと「Shift-JIS」に設定します</p> <p>【右上】(いいえ)キーを押すと文字エンコードの設定を中止します</p> <p>※照合DBの文字エンコードについては「<u>12.1 照合DBの作成方法(追加／新規)を決める</u>」を参照してください</p>	 

項番	説明	画面
3.	<p>b) UTF-8 にする</p> <p>文字エンコード画面で「2. UTF-8」選択後【SCAN】(決定)キーを押します</p> <p>※注意 UTF-8 が照合DBの文字エンコードと異なるときは、確認メッセージを表示します</p> <p>※バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なると、漢字等を含むデータを正常に扱えません</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと「UTF-8」に設定します 【右上】(いいえ)キーを押すと文字エンコードの設定を中止します</p> <p>※照合DBの文字エンコードについては「<u>12.1 照合DBの作成方法(追加／新規)を決める</u>」を参照してください</p>	 
4.	<p>文字エンコード画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとシステム設定メニューに戻ります</p>	

11.3.6 時刻・日付設定

(1) 時刻を設定する

本体の時刻を設定するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	システム設定メニューで「6. 時刻・日付設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	時刻・日付画面を表示します ※現在の、時刻、日付、曜日表示します 【左上】(設定)キーを押すと、時刻・日付設定画面を表示します	
3.	時刻・日付設定画面で「1. 時刻」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、時刻設定画面を表示します	
4.	時刻設定画面で、【SCAN】(次へ)キーまたは【→】キーを押し、変更を行う項目(時/分/秒)を選択します ※キーを押す毎に「時→分→秒→時→分→秒…」と変更対象項目が移動します	<div> <div> <p>・時</p> <p>※↑/↓キーで値を変更</p> <p>時刻: 15:01:00</p> <p>設定 次へ 戻る</p> </div> <div> <p>・分</p> <p>※↑/↓キーで値を変更</p> <p>時刻: 15:01:00</p> <p>設定 次へ 戻る</p> </div> <div> <p>・秒</p> <p>※↑/↓キーで値を変更</p> <p>時刻: 15:01:00</p> <p>設定 次へ 戻る</p> </div> </div> 

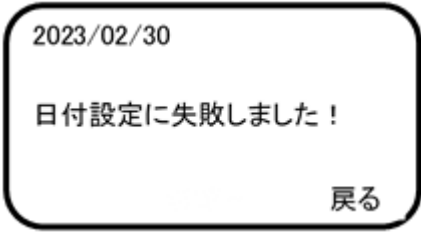

項番	説明	画面
5.	<p>時刻設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し値を変更します</p> <p>【↑】キーを押すと値が1増加し、【↓】キーを押すと値が1減少します</p> <p>※右図は「時」を変更する場合の例です</p>	<p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>時刻: 16:01:00</p> <p>設定 次へ 戻る</p> <p>【↑】キーを押すと 値が1増加します</p> <p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>時刻: 15:01:00</p> <p>設定 次へ 戻る</p> <p>【↓】キーを押すと 値が1減少します</p> <p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>時刻: 14:01:00</p> <p>設定 次へ 戻る</p>
6.	<p>【左上】(設定)キーを押すと、変更した値で時刻を設定し、時刻・日付画面に戻ります</p> <p>※時刻設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと時刻設定を中止し時刻・日付設定画面に戻ります</p>	<p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>時刻: 16:01:00</p> <p>設定 次へ 戻る</p> <p>時刻・日付</p> <p>時刻: 16:01:00</p> <p>日付: 2022/12/14</p> <p>曜日: 水曜日</p> <p>設定 戻る</p>
7.	<p>時刻・日付画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとシステム設定メニューに戻ります</p>	<p>時刻・日付</p> <p>時刻: 15:01:00</p> <p>日付: 2022/12/14</p> <p>曜日: 水曜日</p> <p>設定 戻る</p>

(2) 日付を設定する

本体の日付を設定するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	システム設定メニューで「6. 時刻・日付設定」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	時刻・日付画面を表示します ※現在の、時刻、日付、曜日表示します 【左上】(設定)キーを押すと、時刻・日付設定画面を表示します	
3.	時刻・日付設定画面で「2. 日付」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、日付設定画面を表示します	
4.	日付設定画面で、【SCAN】(次へ)キーまたは【→】キーを押し、変更を行う項目(年／月／日)を選択します ※キーを押す毎に「年→月→日→年→月→日…」と変更対象項目が移動します	

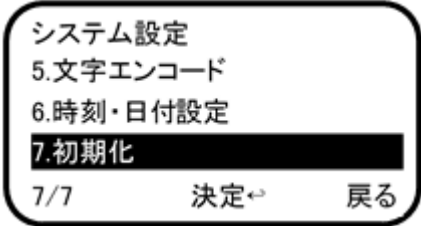
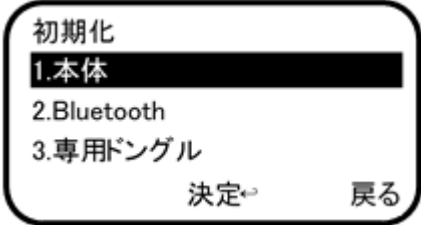
項番	説明	画面
5.	<p>日付設定画面で【↑】／【↓】キーを使用し値を変更します</p> <p>【↑】キーを押すと値が1増加し、【↓】キーを押すと値が1減少します</p> <p>※右図は「年」を変更する場合の例です</p>	<p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>日付: 2023/12/14</p> <p>設定 次へ↵ 戻る</p> <p>【↑】キーを押すと値が1増加します</p> <p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>日付: 2022/12/14</p> <p>設定 次へ↵ 戻る</p> <p>【↓】キーを押すと値が1減少します</p> <p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>日付: 2021/12/14</p> <p>設定 次へ↵ 戻る</p>
6.	<p>【左上】(設定)キーを押すと、変更した値で日付を設定し、時刻・日付画面に戻ります</p> <p>※日付設定画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと日付設定を中止し時刻・日付設定画面に戻ります</p>	<p>※↑／↓キーで値を変更</p> <p>日付: 2023/12/14</p> <p>設定 次へ↵ 戻る</p> <p>時刻・日付</p> <p>時刻: 15:01:00</p> <p>日付: 2023/12/14</p> <p>曜日: 火曜日</p> <p>設定 戻る</p>

項番	説明	画面
7.	<p>誤った日付で設定すると、設定に失敗した日付とエラーメッセージ「日付設定に失敗しました！」を表示します</p> <p>※【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すと日付設定を中止し時刻・日付設定画面に戻ります</p>	
8.	<p>時刻・日付画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとシステム設定メニューに戻ります</p>	

11.3.7 初期化

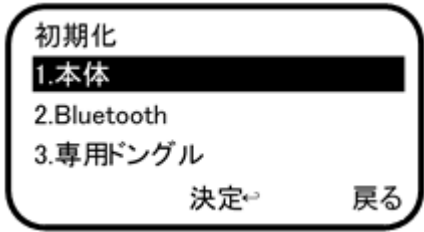
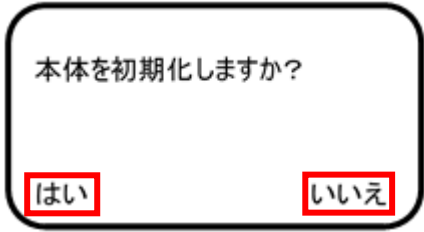
(1) 初期化メニュー表示

初期化メニューを表示するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	システム設定メニューで「7. 初期化」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	
2.	初期化メニューを表示します	

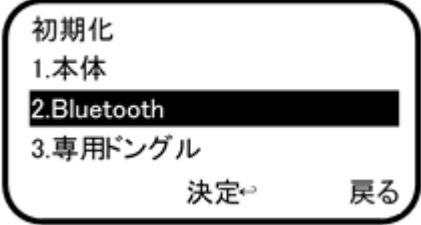
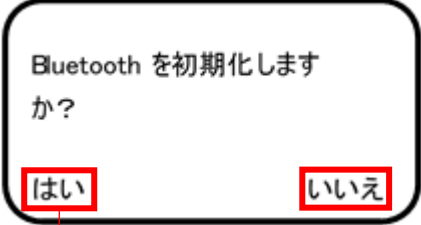
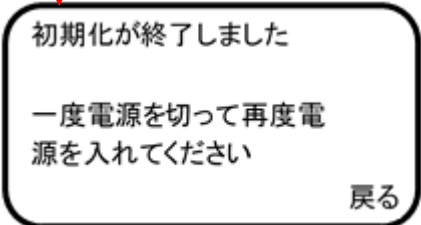
(2) 本体を初期化する

本体を初期化するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	初期化メニューで「1. 本体」選択後【SCAN】(決定)キーを押します	 <p>The screen shows the 'Initial Setup' menu. The first option, '1. 本体' (Main Unit), is highlighted with a black bar. Other options are '2. Bluetooth' and '3. 専用ドングル' (Dedicated Dongle). At the bottom right, there are two buttons: '決定' (Enter/Confirm) and '戻る' (Back).</p>
2.	<p>初期化確認画面を表示します</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと、初期化行います 初期化が終了すると初期化メニューに戻ります</p> <p>【右上】(いいえ)キーを押すと、初期化を中止し 初期化メニューに戻ります</p>	 <p>The screen asks '本体を初期化しますか?' (Do you want to initialize the main unit?). At the bottom, there are two buttons: 'はい' (Yes) on the left and 'いいえ' (No) on the right. Both buttons are highlighted with red boxes.</p>


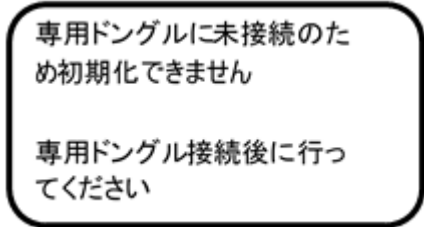
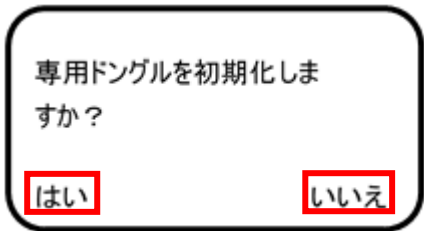
(3) Bluetooth を初期化する

Bluetooth を初期化するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	初期化メニューで「2. Bluetooth」選択後 【SCAN】(決定)キーを押します	 <p>初期化 1.本体 2. Bluetooth 3.専用ドングル 決定 戻る</p>
2.	初期化確認画面を表示します 【左上】(はい)キーを押すと、初期化行います 本体再起動要求画面を表示します 【右上】(いいえ)キーを押すと、初期化を中止し 初期化メニューに戻ります	 <p>Bluetooth を初期化しますか？ はい いいえ</p>
3.	初期化内容を本体に反映させるため、本体の電源キー長押しで一旦電源を切り、再度本体の電源キー長押しで電源を入れてください	 <p>初期化が終了しました 一度電源を切って再度電源を入れてください 戻る</p>

(4) 専用 dongle を初期化する

専用 dongle を初期化するには、次のように行います。
なお専用 dongle の初期化は、専用 dongle に接続した状態でなければ行えません。

項番	説明	画面
1.	初期化メニューで「 3. 専用 dongle 」選択後 【SCAN】(決定)キーを押します	 <p>初期化 1. 本体 2. Bluetooth 3. 専用 dongle 決定 戻る</p>
2.	<p>・専用 dongle に未接続だったとき</p> <p>専用 dongle に接続後に初期化するよう要求メッセージを数秒表示後、初期化メニューに戻ります</p> <p>専用 dongle に接続後、再度初期化操作を行ってください</p> <p>※専用 dongle に手動で接続する方法については「7.3.3 専用 dongle モード (2) 専用 dongle に手動で接続する」を参照してください</p>	 <p>専用 dongle に未接続のため初期化できません</p> <p>専用 dongle 接続後に行ってください</p>
3.	<p>・専用 dongle に接続していたとき</p> <p>初期化確認画面を表示します</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと、初期化行います 初期化が終了すると初期化メニューに戻ります</p> <p>【右上】(いいえ)キーを押すと、初期化を中止し 初期化メニューに戻ります</p>	 <p>専用 dongle を初期化しますか？</p> <p>はい いいえ</p>

12 照合DB作成

照合DBは、コレクトモード時に「照合DB参照」を「有効」としたときや、DB照合あるいはピッキング照合を行うときに使用します。

照合DBは既存照合DBにデータを追加する方法と新規に作成する方法とがあります。また照合DBを本機で作成する方法と、MD100Manager を使用し作成する方法があります。

ここでは本機で照合DBを作成する方法について記述します。

※MD100Manager を使用し照合DBを作成する方法については、MD100Manager のマニュアルを参照してください

12.1 照合DBの作成方法(追加／新規)を決める

照合DBの作成方法(追加または新規)を決めるには、次のように行います

※注意事項:


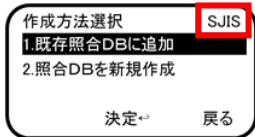
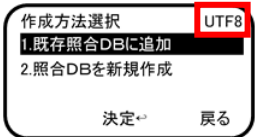
照合DBは文字エンコード「Shift-JIS」と「UTF-8」に対応しますが、格納できるデータは「Shift-JIS」あるいは「UTF-8」の何れかのデータになります。どちらのデータを格納するかは照合DBを新規作成するときにユーザーが指定します。

またピッキング照合用データの作成についても照合DBを新規作成するときにユーザーが指定します。

照合DBの新規作成については「[12.1.2 照合DBを新規に作成する](#)」を参照してください。

12.1.1 照合DBを追加で作成する

既存の照合DBにデータを追加する方法を選択するには、次のように行います。


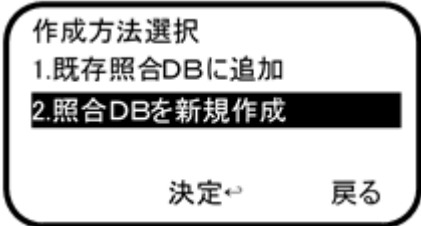
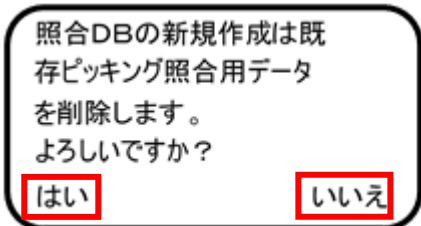
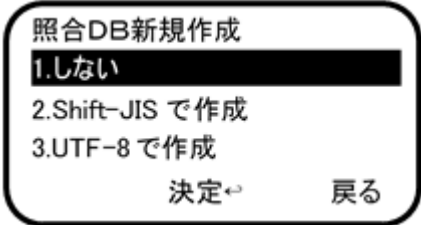
項番	説明	画面
1.	メインメニューで「8. 照合DB作成」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、作成方法選択画面を表示します	
2.	作成方法選択画面を表示します 既存の照合DBを「Shift-JIS」で作成していたときは画面右上に「SJIS」と表示し、「UTF-8」で作成していたときは画面右上に「UTF8」と表示します ※照合DB未作成(あるいはデータ未登録)のときは「SJIS」あるいは「UTF8」表示はありません	<div>・Shift-JIS のとき</div>  <div>・UTF-8 のとき</div> 

項番	説明	画面
3.	<p>a) 照合DB未作成(あるいはデータ未登録)のとき</p> <p>作成方法選択画面で「1. 既存照合DBに追加」を選択し【SCAN】(決定)キーを押すと、照合DBの新規作成を行う旨を説明する画面を表示します</p> <p>【右上】(OK)キーを押すと表示する照合DB新規作成画面で、照合DBの新規作成を行ってください</p> <p>※照合DBの新規作成については「<u>12.1.2 照合DBを新規に作成する</u>」を参照してください</p>	
4.	<p>b) 照合DB作成済みでピックアップ照合用データが存在しないとき</p> <p>作成方法選択画面で「1. 既存照合DBに追加」を選択し【SCAN】(決定)キーを押すと、照合DB作成画面を表示します</p> <p>※照合DBへのデータ登録操作については「<u>12.2 照合DBにデータを登録する</u>」を参照してください</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>・Shift-JIS のとき</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>・UTF-8 のとき</p> </div> </div>

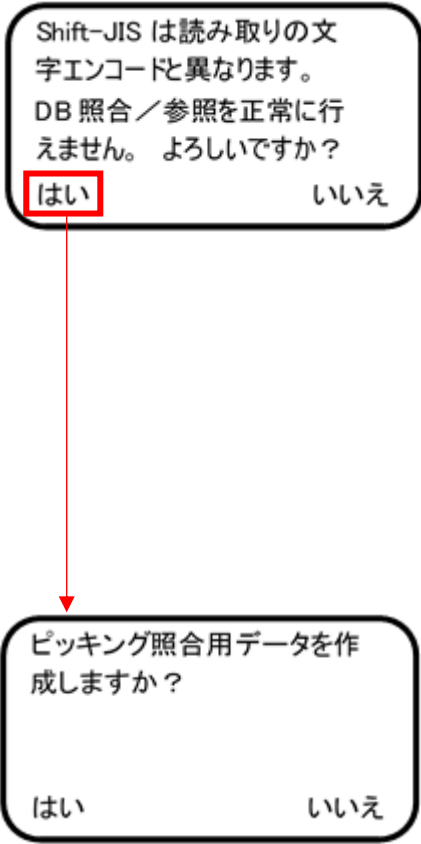
項番	説明	画面
5.	<p>c) 照合DB作成済みでピックアップ照合用データも存在するとき</p> <p>作成方法選択画面で「1. 既存照合DBに追加」を選択し【SCAN】(決定)キーを押すと、照合DB作成画面を表示します</p> <p>※ピックアップ照合用データが存在するときは、照合DB作成画面右上に表示する「<u>SJIS</u>」または「<u>UTF8</u>」の文字に下線がつきます</p> <p>※照合DBあるいはピックアップ照合用データへのデータ登録操作については「<u>12.2 照合DBにデータを登録する</u>」を参照してください</p>	<div> <div> <p>・Shift-JIS のとき</p> </div> <div> <p>・UTF-8 のとき</p> </div> </div>

12.1.2 照合DBを新規に作成する

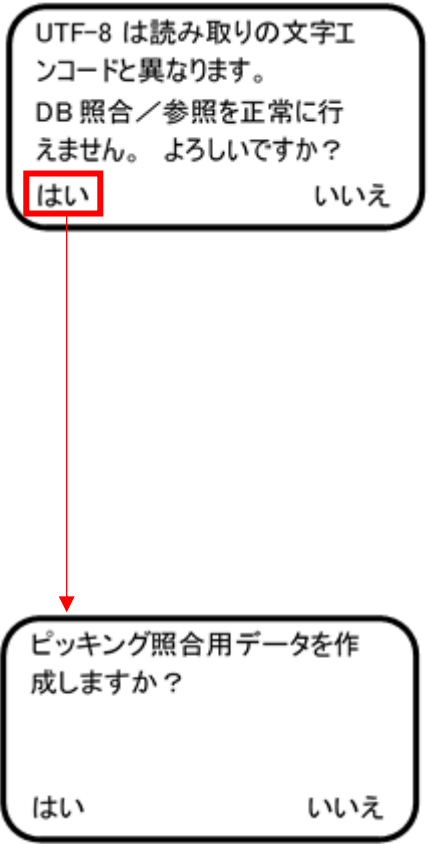
照合DBを新規に作成する方法を選択するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで「 8. 照合DB作成 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、作成方法選択画面を表示します	
2.	作成方法選択画面で「 2. 照合DBを新規作成 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押し、照合DB新規作成メニューを表示します	
	<p>※注意 データが登録されたピッキング照合用データが存在すると、ピッキング照合用データ削除の確認メッセージを表示します</p> <p>【右上】(いいえ)キーを押すと新規作成を行わず、作成方法選択画面に戻ります</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと照合DB新規作成メニューを表示します</p>	
3.	照合DB新規作成メニューで「 1. しない 」を選択し【SCAN】(決定)キーを押すと、新規作成を行わず、作成方法選択画面に戻ります	

項番	説明	画面
4.	<p>a) 照合DBの文字エンコードを「Shift-JIS」で新規作成する</p> <p>照合DB新規作成メニューで「2. Shift-JIS で作成」を選択し【SCAN】(決定)キーを押すと、ピッキング照合用データ作成確認画面を表示します</p> <p>① ピッキング照合を行うとき 【左上】(はい)キーを押すと、ピッキング照合用データの初期化を行います</p> <p>初期化が終了すると照合DB作成画面を表示します</p> <p>② ピッキング照合を行わないとき 【右上】(いいえ)キーを押すと、照合DB作成画面を表示します</p> <p>※照合DBあるいはピッキング照合用データへのデータ登録操作については「<u>12.2 照合DBにデータを登録する</u>」を参照してください</p>	<pre> graph TD A["照合DB新規作成 1.しない 2.Shift-JIS で作成 3.UTF-8 で作成 決定 戻る"] --> B["ピッキング照合用データを作成しますか？ ① はい ② いいえ"] B -- ① はい --> C["ピッキングデータ初期化中 30%"] B -- ② いいえ --> E["照合DB作成 完了 SCAN SJIS"] C --> E E --> F["SJIS"] </pre>

項番	説明	画面
	<p>・読み取り時の文字エンコード「UTF-8」の時</p> <p>バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なる設定のとき「2. Shift-JIS で作成」を選択すると、確認メッセージを表示します</p> <p>※バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なると、漢字等を含むデータを正常に扱えません</p> <p>※読み取り時の文字エンコードについては「<u>11.3.5 文字エンコード</u>」を参照してください</p> <p>【右上】(いいえ)キーを押すと新規作成を行わず、照合DB新規作成メニューに戻ります</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと、ピッキング照合用データ作成確認画面を表示します</p> <p>※照合DBあるいはピッキング照合用データへのデータ登録操作については「<u>12.2 照合DBにデータを登録する</u>」を参照してください</p>	 <p>Shift-JIS は読み取りの文字エンコードと異なります。 DB 照合／参照を正常に行えません。よろしいですか？</p> <p>はい いいえ</p> <p>ピッキング照合用データを作成しますか？</p> <p>はい いいえ</p>

項番	説明	画面
5.	<p>b) 照合DBの文字エンコードを「UTF-8」で新規作成する</p> <p>照合DB新規作成メニューで「3. UTF-8 で作成」を選択し【SCAN】(決定)キーを押すと、ピッキング照合用データ作成確認画面を表示します</p> <p>① ピッキング照合を行うとき 【左上】(はい)キーを押すと、ピッキング照合用データの初期化を行います</p> <p>初期化が終了すると照合DB作成画面を表示します</p> <p>② ピッキング照合を行わないとき 【右上】(いいえ)キーを押すと、照合DB作成画面を表示します</p> <p>※照合DBあるいはピッキング照合用データへのデータ登録操作については「<u>12.2 照合DBにデータを登録する</u>」を参照してください</p>	<pre> graph TD A["照合DB新規作成 1.しない 2.Shift-JIS で作成 3.UTF-8 で作成"] -- 決定 --> B["ピッキング照合用データを作成しますか？ ① はい ② いいえ"] B -- ① はい --> C["ピッキングデータ初期化中 30%"] B -- ② いいえ --> D["照合DB作成 完了 SCAN"] C --> D D -- UTF8 --> E["UTF8"] </pre>

項番	説明	画面
	<p>・<u>読み取り時の文字エンコード「Shift-JIS」の時</u></p> <p>バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なる設定のとき「3. UTF-8 で作成」を選択すると、確認メッセージを表示します</p> <p>※バーコード読み取り時と照合DBの文字エンコードが異なると、漢字等を含むデータを正常に扱えません</p> <p>※読み取り時の文字エンコードについては「<u>11.3.5 文字エンコード</u>」を参照してください</p> <p>【右上】(いいえ)キーを押すと新規作成を行わず、照合DB新規作成メニューに戻ります</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと、ピッキング照合用データ作成確認画面を表示します</p> <p>※照合DBあるいはピッキング照合用データへのデータ登録操作については「<u>12.2 照合DBにデータを登録する</u>」を参照してください</p>	 <p>UTF-8 は読み取りの文字エンコードと異なります。 DB 照合／参照を正常に行えません。よろしいですか？</p> <p>はい いいえ</p> <p>ピッキング照合用データを作成しますか？</p> <p>はい いいえ</p>

12.2 照合DBにデータを登録する

照合DBの作成方法を決めた後は、次の操作で照合DBにデータを登録します。

※下記で使用している照合DB作成画面は文字エンコード「Shift-JIS」の照合DBの場合です


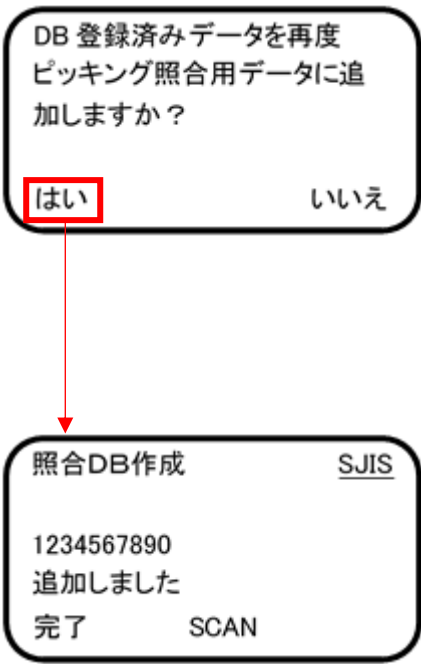
項番	説明	画面
1.	照合DB作成画面で【SCAN】キーを押し、照合DBに登録するバーコードを読み取ります	
2.	登録が正常に終了すると画面に「登録しました」のメッセージを表示します	
3.	登録済みのバーコードを読み取ると画面に「登録済みです」のメッセージを表示します	
4.	照合DB作成画面で【左上】(完了)キーを押すと照合DB作成を終了します ※【左上】(完了)キーを押すまで続けてデータを登録することができます	
5.	DB照合時にデータと一致すると照合結果メッセージを表示します ※本体で登録したデータであれば照合結果メッセージを「DB登録データです」と表示します	

・ ピッキング照合用データの追加について

照合DBをピッキング照合用データ作成指定で作成すれば、照合DBにデータを登録する毎にピッキング照合用データの追加を自動で行います

また照合DBに登録済みデータを再度読み取ると、同一データをピッキング照合用データとして複数個追加することができます。同一データを複数個ピッキング照合用データとして追加するには、次のように行います。


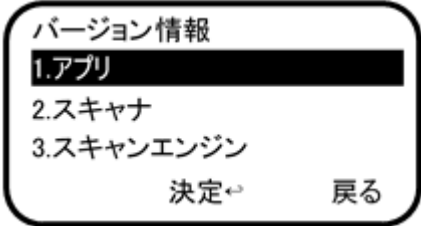
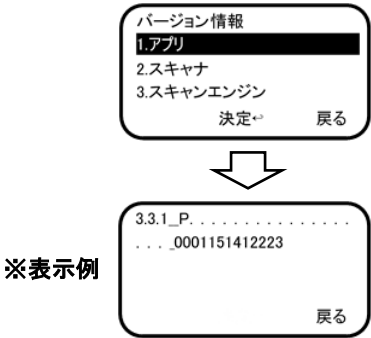
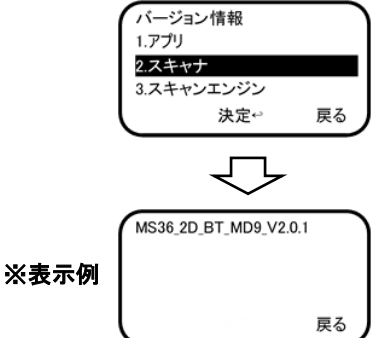
※下記で使用している照合DB作成画面は文字エンコード「Shift-JIS」の照合DBの場合です


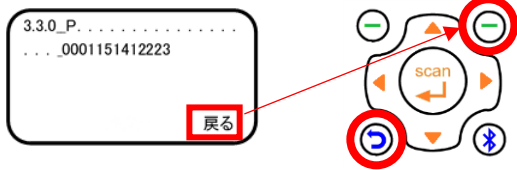
項番	説明	画面
1.	<p>ピッキング照合用データとして複数個追加したいバーコードを読み取ります</p> <p>画面に「登録済みです」のメッセージを表示します</p> <p>※ピッキング照合用データとして未登録（照合DBに未登録）であれば「登録しました」のメッセージを表示します</p>	
2.	<p>「登録しました」のメッセージ表示後、しばらくするとピッキング照合用データ追加の確認画面に切り替わります</p> <p>【左上】(はい)キーを押すと、読み取りデータをピッキング照合用データに追加します</p> <p>【右上】(いいえ)キーを押すと、追加を行いません</p> <p>追加が完了すると、画面に「追加しました」のメッセージを表示します</p>	

13 バージョン情報

本体格納している、アプリ、スキャナ、スキャンエンジン、のバージョン情報を調べることができます。
通常はバージョン情報を意識する必要はありませんが、本体動作問合せ時等で必要になることがあります。

バージョン情報を表示するには、次のように行います。

項番	説明	画面
1.	メインメニューで「 9. バージョン情報 」選択後【SCAN】(決定)キーを押し、バージョン情報メニューを表示します	
2.	バージョン情報メニューを表示します ※【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとメインメニューに戻ります	
3.	<u>a) アプリのバージョンを調べる</u> バージョン情報メニューで「 1. アプリ 」選択後【SCAN】(決定)キーを押すと、バージョン情報画面を表示します	 <p>※表示例</p>
4.	<u>b) スキャナのバージョンを調べる</u> バージョン情報メニューで「 2. スキャナ 」選択後【SCAN】(決定)キーを押すと、バージョン情報画面を表示します	 <p>※表示例</p>

項番	説明	画面
5.	<p>c) <u>スキャンエンジンのバージョンを調べる</u></p> <p>バージョン情報メニューで「3. スキャンエンジン」選択後【SCAN】(決定)キーを押すと、バージョン情報画面を表示します</p>	 <p>バージョン情報 1. アプリ 2. スキャナ 3. スキャンエンジン 決定 ← 戻る</p> <p>※表示例</p> <p>ME5800_APP_V1.6.2_Release/S1.5.1019.1/A2.6.257.0 戻る</p>
6.	<p>バージョン情報画面で【右上】(戻る)キーあるいは【リターン】キーを押すとバージョン情報メニューに戻ります</p>	 <p>3.3.0_P._0001151412223 戻る</p> <p>scan</p>